

科目名	21FT/卒業進級制作		002
授業概要	学んだ知識・技術の集大成として作品制作を行う。世の中のトレンドを理解し自身が解決するテーマを設定し制作を行い発表する。	担当教員	岩本
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生デザイン系学生		
達成目標	課題解決型の企画が行え、目的を達成できるソリューションの開発、デザインの展開が行えること。またそれらを卒業進級制作発表会で発表を行うことを目標とする。		
前提条件			
教室外学習	有り		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 テーマ性	30 %
	2 プレゼンテーション	30 %
	3 作品	40 %
	4	
評価観点	企画審査・中間審査・最終審査・発表会での発表を通じ、いかに課題解決が行える作品に仕上がっているかを観点に評価する。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	企画制作	
3	企画制作	
4	企画制作	
5	企画制作	
6	企画審査	
7	作品制作	
8	作品制作	
9	作品制作	
10	作品制作	
11	作品制作	
12	作品制作	
13	作品制作	
14	作品制作	
15	作品制作	

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21FT/卒業進級制作		003
授業概要	ハード制御による製作物の作成	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	自らの企画で作品を制作		
前提条件	机上論でないものづくり		
教室外学習	雑貨卸問屋見学		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 完成したか、失敗の場合その経緯を確実に説明できるか	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	自分のアイデアで作品の作成	
特記事項	独自性と完成度	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	既成機器の分解法	特殊ドライバの使い方説明
3	分解による部品収集	作品制作の部品収集
4	部品知識	部品の実物を知る
5	部品知識習得	日本橋パーツショップ見学
6	卒業進級製作テーマ確定	何を作るかテーマを選定
7	類似製作品詮索	類似品の存在を検索
8	卒業進級製作	実作業
9	卒業進級製作	実作業
10	卒業進級製作	実作業
11	卒業進級製作	実作業
12	卒業進級製作	実作業
13	卒業進級製作	実作業
14	卒業進級製作	実作業
15	作品中間評価	中間講評

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/卒業進級制作		004
授業概要	年間の成果発表のため作品制作を行う	担当教員	百海
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	グループワークや、企画立案、プレゼンテーションなど、就職時に必要となる力を身につける。		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 最終審査に合格する事	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	出席率80%以上で、作品制作を完了させる	
特記事項	インターン等の正当な理由で作品制作を免除される事がある	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	チーム編成	学生同士で話しあってチームを編成する
2	企画	学生同士で話し合っ制作する内容を具体化する
3	企画審査準備	企画内容をドキュメント化する
4	企画審査準備	問題点の洗い出しを行う
5	企画審査準備	企画審査用の企画書/PPT持参/スケジュールを作成する
6	企画審査	企画のプレゼンテーションを行う
7	企画審査	企画のプレゼンテーションを行う
8	制作	作品制作をチームで行う
9	制作	作品制作をチームで行う
10	制作	作品制作をチームで行う
11	制作	作品制作をチームで行う
12	制作	作品制作をチームで行う
13	制作	作品制作をチームで行う
14	制作	作品制作をチームで行う
15	制作	作品制作をチームで行う

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21FT/卒業進級制作		005
授業概要	卒業進級制作	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻学生		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に制作に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	卒業進級制作1	卒業進級制作の作業
2	卒業進級制作2	卒業進級制作の作業
3	卒業進級制作3	卒業進級制作の作業
4	卒業進級制作4	卒業進級制作の作業
5	卒業進級制作5	卒業進級制作の作業
6	卒業進級制作6	卒業進級制作の作業
7	卒業進級制作7	卒業進級制作の作業
8	卒業進級制作8	卒業進級制作の作業
9	卒業進級制作9	卒業進級制作の作業
10	卒業進級制作10	卒業進級制作の作業
11	卒業進級制作11	卒業進級制作の作業
12	卒業進級制作12	卒業進級制作の作業
13	卒業進級制作13	卒業進級制作の作業
14	卒業進級制作14	卒業進級制作の作業
15	卒業進級制作15	卒業進級制作の作業

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/開発言語実践 I		006
授業概要	開発に必要な様々な知識とノウハウを習得する	担当教員	百海
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上x		
達成目標	エンジニアとしての基礎知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 3) 第三者から見て解りやすい	100 %
	2 3 4	
	評価観点	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。
特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	MySQL のセットアップ	XAMPP内のMySQLの基本設定とConnector/ODBCをインストール(x86とx64)
2	コマンドプロンプト	開発に必要な最低限のコマンドの習得
3	授業内容レポート環境セットアップ	さくらのブログに個人ブログを作成して、記事作成環境を構築する
4	レジストリ	regedit によって、Windows におけるレジストリの正しい認識を得る
5	PowerShell と C#	PowerShell の扱いと C# 言語文字列によるアプリケーション作成
6	Oracle PL/SQL	簡単な Function と プロシージャの作成
7	Excel VBA	VBA を用いて、Excel のセルにアクセスする
8	バッチファイル	バッチファイル内で処理をコントロールする
9	HTML アプリケーション	JavaScript で、COM( ActiveX ) 経由のアプリケーションを作成する
10	Windows	Windows 環境の重要な部分の把握
11	Android Studio	基本的な設定と使用方法
12	Android Studio : ボタンとイベント	5種類のイベント利用方法を知る
13	Android Studio : 非同期処理	インターネットにアクセスする為の AsyncTask クラスの利用方法
14	Android Studio : インターネットアクセス	Okhttp と Gson でインターネットからデータを取得する
15	インターネットエクスプローラ	IE11 を使う上で重要な技術情報の習得

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/開発言語実践 I		007
授業概要	通信でサーバにアクセスして動作するアプリケーションの作成		担当教員 百海
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	言語基礎の理解		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 3) 第三者から見て解りやすい	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。	
特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Google Chrome と IE11	ブラウザの理解
2	HTML5 と JSON	画面作成
3	jQuery の環境	ブラウザ上のプログラミング
4	jQuery の基本メソッド	jQuery の仕様
5	JSON データでテーブル表示	JSON の扱い方
6	jQuery で新しい要素を作成	動的な画面作成
7	each メソッド	オブジェクトのプロパティ処理
8	ブックマークレット	ブラウザに登録される特殊な JavaScript プログラム
9	jQuery API ドキュメント	英文ドキュメントの扱い方
10	FORM の機能	HTML による通信定義
11	“jQuery + フォームデータの検証”	検証 API の利用
12	jQuery + Ajax	Ajax 通信経由でサーバのデータを取得する
13	入力画面と PHP との連携	PHP による画面の埋め込み
14	Bootstrap による画面カスタマイズ	定義済のクラスを使用した画面デザイン
15	正規表現	検証 API で用いられる基本的に正規表現

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/データベース設計 I		008
授業概要	SQL とデータベース運用知識の習得		担当教員 百海
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	データベース運用基礎知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 6) 第三者から見て解りやすい	100 %
	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。	
	特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	SQL Server インストール	システムに使用されるデータベースをインストールする
2	データベースの構築	システムを実行するのに必要な最低限のデータベース環境を作成する
3	アプリケーション用データベース環境の作成	SQLServer 用の別名を作成し、PHP 用の ODBC の DSN を作成して動作確認する
4	Oracle 環境作成	スキーマを作成して、データを投入する
5	データベース操作環境	SQLの窓の使用方法を確認する
6	SQLの基礎 (1)	条件の書き方
7	SQLの基礎 (2)	別名・左外部結合・distinct・NULL演算
8	Oracle のバックアップ	ディレクトリオブジェクト・expdp によるバックアップと、impdp による create 文取得
9	SQLの基礎 (3)	3つのテーブル結合・仮想表
10	Oracle SQL	Dual 表・インラインビュー・結合・副問い合わせ
11	Oracle 関数	NVL・TO_CHAR等、代表的な関数
12	特殊な SQL	CASE 式・自己結合・変換関数
13	グループ関数	目的に応じたデータのグルーピング
14	Oracle 擬似列	擬似列を利用した SQL
15	Microsoft Access で SQL を取得	UI でテーブルを結合して、SQL を作成する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/システムUI研究・設計 I		009
授業概要	業務WEBアプリケーションを通じた設計の基礎知識の習得	担当教員	百海
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	設計基礎知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 3) 第三者から見て解りやすい	100 %
	1 2 3 4	
	評価観点	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。
特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	IIS 環境のセットアップ	システムが使用する WEB サーバの導入
2	IIS で動作する PHP 環境の作成	php.ini を正しく設定して動作確認を行う
3	学生情報( アプリ ) の実行	学生情報( PHP ) で、架空の学生画像と情報を表示する
4	IE11 のセキュリティ設定	システムを動作させるのに必要な IE11 の知識を知る
5	本番環境	既に稼働していた URL を動作させる為に HIOSTS を書き換えて検証する
6	メニューシステム	システムのメニューシステムを動作させて、システム全体を把握する
7	時間割期間登録	出欠管理の中核データである時間割期間データの処理内容を知る
8	クラス名登録とクラスメンバ登録	学生情報で表示するクラスとクラスメンバをテストデータとして追加作成する
9	科目登録と科目メンバ登録	出欠管理を動作させる為の時間割データの元となる科目と科目メンバを作成する
10	科目別時間割登録	科目を時間割に適合させて、出欠入力可能な状態にする
11	出欠入力	授業の出欠情報を科目別に登録して一定期間のデータを作成する
12	成績入力	科目別と学生別で出席率の確認を行って成績入力を行う
13	“休日メンテナンス”	休日を登録して出欠入力の対象外になるよう設定する
14	クラスメンバ表と科目メンバ表	IE11 を使用した( VBscript ) Excel の印刷処理について知る
15	業務フロー	業務の流れとアプリケーションの関係を知る

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/GMS講座		010
授業概要	WordPress の構築・運用の為の実習		担当教員 百海・八木
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理ネットワーク専攻		
達成目標	WordPress で顧客のサイトを作成する		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 開発作品	100 %
	2	
	3	
評価観点	ユーザ目線でのサイト構築を作成側の立場で学ぶ。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	WordPress 基本インストール	WordPRes の環境を知る
2	プラグイン：ファイルマネージャ	インストールとディスクのアクセス方法の実習
3	テーマ：テンプレートの導入	トップページ、固定ページ、記事ページの確認
4	ヘッダーとフッターの共通化	header.php、footer.php の理解
5	固定ページの管理	スラッグと固定ページ
6	カテゴリの管理	カテゴリによる記事ページの選択
7	固定ページ：お知らせページ	What's New Generator でお知らせページを作成する
8	固定ページ：よくある質問ページ	Ultimate FAQ でよくある質問ページを作成する
9	固定ページ：サイトマップ	Font Awesome を使用してサイトマップに記号フォントを利用する
10	固定ページ：アクセス	Google MAP を利用して地図を埋め込む
11	固定ページ：会社概要	TablePress を使用して会社概要ページを作成する
12	固定ページ：お問い合わせ	PHP を使用してお問い合わせページを作成する
13	メニューとカテゴリページ	カテゴリ毎の記事をメニューから選択して表示させる
14	サイト作成	自由なテーマのサイトを作成する
15	発表	作成したサイトをプレゼンテーションする

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21FT/DirectX11基礎A I		011
授業概要	DirectX11を用いて3Dゲームプログラムの技術及び知識の向上	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	DirectX11を使用した3Dシューティングゲームの作成		
前提条件	ゲームプログラム基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	三角形の表示	WindowsAPIによるウィンドウ作成、DirectXの環境設定
2	三角形の表示	Direct3Dの初期設定
3	三角形の表示	レンダリング(画面表示)、頂点シェーダ、ピクセルシェーダ
4	三角形の表示	カメラの位置と注視点、シェーダによる動的カラー操作
5	爆発の表示	テクスチャによるアニメーション
6	陰影と光沢	シェーダによる陰影、光沢
7	メッシュの表示	メッシュの表示、テクスチャ対応
8	メッシュの表示	レンダリング関数の追加
9	メッシュコードの汎用化	ワールド行列
10	バウンディングスフィア	バウンディングスフィアによる衝突判定
11	ちょこっとSTG	バウンディングスフィアを使用して、自機と敵機の衝突判定を実装
12	ポイントスプライト	ポイントスプライトの作成
13	バウンディングボックス	バウンディングボックスによる衝突判定
14	課題制作1	課題制作
15	課題制作3	課題制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲームプログラム実習A I		012
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラム基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲームプログラム実践C I		014
授業概要	プログラム実習	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラム基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/システム開発実習 I		015
授業概要	サーバ側で動作するアプリケーションの作成	担当教員	百海
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	言語基礎の理解		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 3) 第三者から見て解りやすい	100 %
	2 3 4	
	評価観点	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。
特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	PHP 実行環境作成	PHP5 をダウンロードして、Anhttpd と共に使用できるようにして動作確認を行う
2	PHP メール送信処理	mb_send_mail を使用してローカルの fake sendmail for windows でメール送信を実装する
3	PHP データベース問合せ処理( MySQL )	mysqli を使用して、MySQL よりデータを問合せる WEB アプリを作成する
4	PHP 簡易掲示板	JSON フォーマットの文字列を掲示板より書き出す
5	PHP データベース更新処理( MySQL )	画面に表示した値をFORM から入力した値を受け取ってデータを更新する WEB アプリを作成する
6	Ruby の要点	ブロック・例外処理・埋め込み・その他( PHP と Ruby の比較 )
7	Ruby での WEBアプリケーション	Ruby で MySQL よりデータを問合せる WEB アプリを作成する( WEB アプリテンプレートあり )
8	Python の要点	タプル・リスト・dict・その他( 言語的デザインの特徴と要点 )
9	Python での WEBアプリケーション	Python で MySQL よりデータを問合せる WEB アプリを作成する( WEB アプリテンプレートあり )
10	PHP・Ruby・Python の標準化(1)	MVC の概念の元、変数・メソッド・CGI・HEAD キュメントの情報を整理する
11	PHP・Ruby・Python の標準化(2)	MVC の処理部分の意味を整理し、データベースの扱いをおのおのまとめる
12	TOMCAT & JSP	TOMCAT の設定と動作確認( Pleiades 内の XAMP を使用 )
13	JSP(1)	基本メソッドのテストと Java へ変換されるコードの確認
14	JSP(2)	入力値の処理と、TOMCAT への設定
15	JSP(3)	JSP を使用して、FORM より入力した値で MySQL に更新する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/Unity基礎 I		017
授業概要	Unityを用いてツールのオペレーションの知識の向上、およびC#の知識向上		担当教員 中野
			開校時期 前期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	Unityを使用したゲームの制作		
前提条件	ゲームプログラム基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題の提出	50 %
	2	作品へのこだわり	30 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、Unityのインストール、Unityでできることを知る
2	Unityの基本的な操作1	Unityエディターの画面構成と基本的な操作方法
3	Unityの基本的な操作2	プロジェクトの作成、オブジェクトの作成と制御
4	Unityの基本的な操作3	重力の設定、ゲームのアレンジ
5	2Dゲーム制作1	スプライトの作成、ステージの配置
6	2Dゲーム制作2	プレイヤーの配置、プレイヤーの操作
7	2Dゲーム制作3	2Dオブジェクトの当り判定
8	2Dゲーム制作4	Prefabの作成
9	2Dゲーム制作5	ゲームの改良
10	課題制作1	課題制作
11	課題制作2	課題制作
12	課題制作の発表	課題制作の発表
13	ゲームのUIの制御	UIオブジェクト・ボタンの作成、スクリプトによるクリック操作の制御
14	ゲームのUIの制御	タイトル画面の作成、シーン移動作成
15	スマートフォン対応	スマートフォン対応設定方法

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/Unity実践 I		018
授業概要	Unity自習	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	Unity基礎の履修状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Unity実習1	課題・個人作品の制作
2	Unity実習2	課題・個人作品の制作
3	Unity実習3	課題・個人作品の制作
4	Unity実習4	課題・個人作品の制作
5	Unity実習5	課題・個人作品の制作
6	Unity実習6	課題・個人作品の制作
7	Unity実習7	課題・個人作品の制作
8	Unity実習8	課題・個人作品の制作
9	Unity実習9	課題・個人作品の制作
10	Unity実習10	課題・個人作品の制作
11	Unity実習11	課題・個人作品の制作
12	Unity実習12	課題・個人作品の制作
13	Unity実習13	課題・個人作品の制作
14	Unity実習14	課題・個人作品の制作
15	Unity実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲームプログラム実践A I		019
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/DirectX11基礎B I		020
授業概要	DirectX11を用いて3Dゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	DirectX11を使用した3Dゲームの作成		
前提条件	ゲームプログラム基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	三角形の表示	DirectXの環境設定
2	三角形の表示	Direct3Dの初期設定
3	三角形の表示	プリミティブの作成、表示
4	板ポリとテクスチャ	板ポリの表示、テクスチャ対応
5	ビルボード	ビルボード
6	メッシュの表示	メッシュ(Xファイル)の読み込み
7	メッシュの表示	メッシュの陰影処理(頂点シェーダ演算、ピクセルシェーダ演算)
8	メッシュコードの汎用化	マテリアル情報の反映、テクスチャ有無の対応
9	メッシュの複数表示	メッシュの複数読込、複数表示
10	スプライトの表示	スプライトクラスの作成、表示、アニメーション
11	デバッグテクニック	デバッグテキストの表示、フレームレートの表示
12	パーティクル	煙の表現、パーティクルを自然に透過させる
13	自機の移動	TPS風な自機の移動処理
14	課題制作2	課題制作
15	課題制作の発表	課題制作の発表

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲームプログラム実践B I		021
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲームプログラム実習B I		022
授業概要	プログラム実習	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 作品制作に真剣に取り組んでいる「合」	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の作成
2	プログラム実習2	課題・個人作品の作成
3	プログラム実習3	課題・個人作品の作成
4	プログラム実習4	課題・個人作品の作成
5	プログラム実習5	課題・個人作品の作成
6	プログラム実習6	課題・個人作品の作成
7	プログラム実習7	課題・個人作品の作成
8	プログラム実習8	課題・個人作品の作成
9	プログラム実習9	課題・個人作品の作成
10	プログラム実習10	課題・個人作品の作成
11	プログラム実習11	課題・個人作品の作成
12	プログラム実習12	課題・個人作品の作成
13	プログラム実習13	課題・個人作品の作成
14	プログラム実習14	課題・個人作品の作成
15	プログラム実習15	課題・個人作品の作成

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/ゲームプログラム実践D I		023
授業概要	プログラム実習	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 作品制作に真剣に取り組んでいる「合」	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の作成
2	プログラム実習2	課題・個人作品の作成
3	プログラム実習3	課題・個人作品の作成
4	プログラム実習4	課題・個人作品の作成
5	プログラム実習5	課題・個人作品の作成
6	プログラム実習6	課題・個人作品の作成
7	プログラム実習7	課題・個人作品の作成
8	プログラム実習8	課題・個人作品の作成
9	プログラム実習9	課題・個人作品の作成
10	プログラム実習10	課題・個人作品の作成
11	プログラム実習11	課題・個人作品の作成
12	プログラム実習12	課題・個人作品の作成
13	プログラム実習13	課題・個人作品の作成
14	プログラム実習14	課題・個人作品の作成
15	プログラム実習15	課題・個人作品の作成

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/デッサン上級 I		024	
授業概要	モノの形を理解し、正確に描けるようになる		担当教員	坂東
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース			
達成目標	静物デッサン、人物デッサン、背景などの奥行の図法を理解する			
前提条件	なし			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	形の理解	30 %
	2	陰影	30 %
	3	質感、奥行、その他	30 %
	4	授業態度	10 %
評価観点	形、陰影、質感、奥行 この4本柱の理解と表現力で評価		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	石膏デッサン	石膏デッサン
2	石膏デッサン	石膏デッサン
3	石膏デッサン	石膏デッサン
4	石膏デッサン	石膏デッサン
5	背景描写	背景を描く
6	背景描写	背景を描く
7	背景描写	背景を描く
8	背景描写	近未来風景を描く
9	背景描写	近未来風景を描く
10	背景描写	近未来風景を描く
11	背景描写	近未来風景を描く
12	背景描写	ファンタジー風景を描く
13	背景描写	ファンタジー風景を描く
14	背景描写	ファンタジー風景を描く
15	背景描写	ファンタジー風景を描く

※実務家教員授業（担当教員職歴：デザイナー）

科目名	21FT/アナログイラスト上級 I		025
授業概要	人物のバランス等のキャラクターデザインの要素、画面上での背景やキャラクター等の構図について学ぶ	担当教員	秦野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	人間や動物のキャラクターデザインや、イラスト全般について理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 デザインや構図などのアイデア出しをその都度チェック	30 %
	2 用紙にペン入れまでした完成原稿を描き提出し、採点。	60 %
	3 授業への取り組み、能動的態度等	10 %
	4	
評価観点	人物や動物などの形を描くデッサン力、大まかに案を考え出すアイデア力、丁寧に作品を描く仕上げ力、の3点からくる総合力を評価。	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	キャラクターデザイン	キャラクターを描くコツのレクチャー
2	人体構造	全身のバランスを描く
3	人体構造	体のパーツを理解し、素体を描く
4	人体構造	色々な角度で人物を描く
5	体の部分を理解する	顔の色々な角度を描く
6	体の部分を理解する	手足を描く
7	作品制作	自由なテーマでイラスト制作
8	作品制作	自由なテーマでイラスト制作
9	作品制作	ヴィネット イラスト制作
10	作品制作	ヴィネット イラスト制作
11	体の部分を理解する	顔のバランスを描く
12	構図練習	色々なポーズのパターンを描く
13	作品制作	アクションポーズイラスト
14	作品制作	アクションポーズイラスト
15	作品制作	アクションポーズイラスト

※実務家教員授業（担当教員職歴:看板描画、漫画家）

科目名	21FT/システム開発実習 I		026
授業概要	Windows で動作するフォームアプリケーション作成	担当教員	百海
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	言語基礎の理解		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1) 内容の正確さ 2) 日本語の表現 3) 第三者から見て解りやすい	100 %
	記事作成で授業の内容をまとめ、技術ドキュメントを作成して提出してもらう。	
	特記事項	記事は日々の作成、ドキュメント提出は前期末

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Pleiades( Eclipse )	総合的な開発環境である 64bit Ultimate Full Edition のインストール
2	WindowBuilder とMySQL Connector/J	Java 用 Window プログラミング環境と JDBC driver for MySQL をインストールして使用
3	コンソールアプリケーション	Visual Studio C# と Java のコンソールアプリケーションの作成
4	C# でWEBアプリケーション	C# の exe を WEBアプリとして Anhttpd に登録して使う
5	C# でメール送受信	TKMP.DLL を使用してメール送受信を行う
6	C# : DataGtidView	DataGtidView を使用して一覧データを表示する
7	C# : DataGridView + MySQL( ODBC )	DataGtidView を使用して MySQL のテーブルデータを表示する
8	C# : インターネットアクセス	インターネットのデータを取得して表示する
9	Java : WindowBuilder + MySQL	WindowBuilder のテーブルコントロールでMySQL のテーブルデータを表示する
10	Java : Okhttp でインターネットアクセス	Okhttp を使用してインターネットから取得したデータを扱う
11	Java : Google Gson + JSON データ	Google Gson を使用してインターネット上にある JSON データを取得して内容を表示する
12	Java : ダイアログ	ダイアログを使用して複数画面で機能を追加する
13	C# : DataGridView ドキュメント	DataGridView を使用する為の詳細な Microsoft ドキュメントを確認する
14	C# : JSON の扱い( Json.NET )	Json.NET を使用して、インターネット上にある JSON データを取得する
15	機能の結合	インターネット上にある JSON データを取得して、DataGridView に一覧として表示する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/デジタルイラスト応用 I		027
授業概要	自身の制作したイラストを着色。	担当教員	山田 真歩
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	丁寧に塗りりきり、完成させる		
前提条件	Photoshopを使用できること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	おさらい	アニメ・漫画の模写をし、年度初めの手慣らし
3	模写Ⅰ	アニメ・漫画のイラストを模写し、作品に合う塗りを行う
4	模写Ⅱ	アニメ・漫画のイラストを模写し、作品に合う塗りを行う
5	オリジナルイラストの着色Ⅰ	別授業にて作成したイラストを着色する
6	オリジナルイラストの着色Ⅱ	別授業にて作成したイラストを着色する
7	オリジナルイラストの着色Ⅲ	別授業にて作成したイラストを着色する
8	オリジナルイラストの着色Ⅳ	別授業にて作成したイラストを着色する。完成作品の講評
9	オリジナルイラストの着色Ⅴ	修正
10	厚塗リトレースⅠ	人物写真を厚塗リトレースする
11	厚塗リトレースⅡ	人物写真を厚塗リトレースする
12	厚塗リトレースⅢ	人物写真を厚塗リトレースする
13	厚塗リトレースⅣ	人物写真を厚塗リトレースする
14	厚塗リトレースⅤ	人物写真を厚塗リトレースする。完成作品の講評
15	厚塗リトレースⅥ	修正

科目名	21FT/3Dグラフィック実習 I		030
授業概要	各自で就職に必要な作品を制作する	担当教員	長井 大輔
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	自分の進みたい進路を定め、その為に必要な作品を制作する		
前提条件	3Dモデルを作成出来ること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
3	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
4	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
5	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
6	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
7	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
8	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
9	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
10	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
11	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
12	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
13	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
14	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
15	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導

※実務家教員授業（担当教員職歴：ゲームグラフィッカー）

科目名	21FT/3Dモデリング応用 I		032
授業概要	Maya基本操作(モデリング)	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	Maya習熟・モデリング作業時間把握		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	【Maya】基本操作を習熟したか【モデリング】最低限必要なシルエットを作れているか・ポリゴン密度がコントロール出来ているか	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Maya操作説明1(モデル)	基本的なカメラ・ツール操作を解説
2	Maya操作説明2(モデル)	簡単な形状作成
3	デフォルメキャラクター作成1	簡単な形状でシルエットを作る
4	デフォルメキャラクター作成2	細部の形状を調整する
5	Maya操作説明3(モデル)	マテリアル・UVエディタ・マッピング
6	デフォルメキャラクター作成3	UVマッピングを行う
7	デフォルメキャラクター作成4	テクスチャ作成を行う
8	ヴィネット作成1	大まかな形でシルエット作成
9	ヴィネット作成2	キャラクター・背景作成
10	ヴィネット作成3	キャラクター・背景作成
11	ヴィネット作成4	キャラクター・背景作成
12	格闘ゲームキャラクター作成1	資料を集めてデザインする
13	格闘ゲームキャラクター作成2	大まかな形でシルエット作成
14	格闘ゲームキャラクター作成3	細部の形状を調整する
15	格闘ゲームキャラクター作成4	スキンセットアップ

※実務家教員授業 (担当教員職歴:ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/3Dアニメーション I		033
授業概要	Maya基本操作(アニメ)	担当教員	長井 大輔
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	"ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース"		
達成目標	Maya習熟・アニメーション作業時間把握		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出	50 %
	2	作品へのこだわり	30 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	【Maya】基本操作を習熟したか 【アニメ】重心をつかめているか・作用反作用を表現できているか・演技が破綻していないか		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Maya操作説明1(アニメ)	タイムスライダ・FPS・キー設置・グラフエディタ・オブジェクトのアニメ
2	バウンスボールアニメーション1	球が跳ねるアニメーションの作成
3	バウンスボールアニメーション2	キー移動・グラフを利用し調整
4	Maya操作説明2(アニメ)	ボーン・ウェイト・IK
5	Maya操作説明3(アニメ)	コンストレイント・リギング
6	セットアップ練習1	モデルにボーン・ウェイト付け
7	セットアップ練習2	モデルにリギング
8	歩きアニメ作成1	大まかなキーを打つ
9	歩きアニメ作成2	細かい動作を再現する
10	Maya操作説明4(アニメ)	モーションパス
11	ダーツを投げるアニメ作成1	大まかなキーを打つ
12	ダーツを投げるアニメ作成2	細かい動作を再現する
13	剣を振るアニメ作成1	大まかなキーを打つ
14	剣を振るアニメ作成2	細かい動作を再現する
15	前期授業修正時間	全モーションの修正を行う

※実務家教員授業 (担当教員職歴:ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/基本情報対策 I		034
授業概要	IT系スキルの全般的な向上、国家試験(基本情報技術者)の受験対応力向上	担当教員	尾立
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	システム、ゲーム2年以上		
達成目標	午前免除試験の合格、国家試験(基本情報技術者)の合格、合格できない場合でも将来的に合格を目指す状態		
前提条件	ITパスポート対策の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	過去問テスト	60 %
	2	用語暗記テスト	30 %
	3	取り組み方意欲	10 %
	4		
評価観点	過去問テスト、用語暗記テスト、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)		
特記事項	基本情報技術者合格の場合は無条件に100点		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、基本情報試験概要
2	基礎理論	基数変換、補数表現
3	基礎理論	浮動小数点数、誤差、シフト演算
4	基礎理論	論理演算、論理回路、ビットマスク
5	基礎理論	ポーランド記法、BNF、情報理論、符号理論
6	アルゴリズムとプログラミング	データ構造、アルゴリズムの記述、疑似言語
7	アルゴリズムとプログラミング	基本アルゴリズム(ソート、探索)
8	アルゴリズムとプログラミング	二分木、スタック、キュー、リスト構造
9	アルゴリズムとプログラミング	プログラミング、プログラム言語
10	コンピュータ構成要素	CPU、メモリ、補助記憶装置、インターフェース
11	システム構成要素	システムの構成、システムの性能評価
12	ソフトウェア	ソフトウェアの体系、OSの機能、ファイル管理
13	ソフトウェア	言語処理プログラム、開発ツール、OSS、CG
14	用語テスト	重要用語暗記及び用語テスト
15	過去問テスト	過去問題によるスキルチェックテスト

科目名	21FT/ハードウェア基礎 I		035
授業概要	LED順次点灯回路の設計	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	プリント基板作成		
前提条件	基礎電気回路の習得		
教室外学習	日本橋での部品調達		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 ハンダ技術	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	LEDが点灯できるか	
特記事項	ハンダ技術、動作安定性	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	機材の説明	線加工の実習ハンダ作業
3	基板はんだ実習	基板へのはんだ作業
4	基板修正実習	ハンダ不良部の修正
5	回路デバッグ	不動作の原因究明と修正
6	回路デバッグ	不動作の原因究明と修正
7	回路デバッグ	不動作の原因究明と修正
8	回路動作原理	実際作った回路の動作説明
9	回路定数変更	定数変更で回路がどう変化するか
10	最終動作作品設計	最終提出作品の設計
11	最終動作作品作成	最終提出作品の作成
12	回路デバッグ	不動作の原因究明と修正
13	回路デバッグ	不動作の原因究明と修正
14	最終動作作品完成	最終提出作品の完成
15	作品評価	LED回路の動作検査

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/Iot基礎 I		036
授業概要	Meshなどの無線通信を使ったIotの基礎	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	Iotに関する基礎知識の習得		
前提条件	インターネット基礎の習得		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 アイデア内容の具体性と新規性	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3 4	
評価観点	Iotを利用したアイデア提案の提出	
特記事項	アイデア提出とその内容	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	アイデアブレインストーミング	アイデア設計の方法と具体例紹介
3	アイデアシート作成	独自アイデアを出す練習
4	アイデアブラッシュアップ	独自アイデアの実現可能性を検証
5	無線通信方式概論	無線通信の基礎講義
6	赤外線無線通信	リモコンの赤外線通信の実習
7	電波法と無線通信方式	電波法に絡む既存通信方式の説明
8	無線使用アイデアシート作成	アイデアシートに無線を追加
9	インターネット基礎の習得	ネットでの通信基礎
10	Iotにおけるソケット通信	TCP,UDPなどの通信基礎
11	通信基礎とインターネット	ネットを通じてのデータ通信
12	総合アイデアシート作成	インターネット、無線、ハートの融合
13	アイデアシート提出案作成	作品としてのアイデアシート作成
14	最終作品作成	提出すべきIOTアイデアの作成
15	作品評価	アイデアシート評価

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/ハードウェア応用 I		037
授業概要	ワンチップCPUを利用した制御機器の開発実習	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	C言語を使ったプログラムの作成		
前提条件	ハンダ付け技術		
教室外学習	日本橋での部品調達		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 動作安定性	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3 4	
評価観点	制御機器が作成できるまで	
特記事項	ハンダ技術、動作安定性	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	受動部品説明	抵抗コンデンサ、コイル説明
3	能動部品説明	ダイオード、トランジスタ、半導体説明
4	集積回路説明	ロジックICアナログIC
5	部品知識習得	日本橋パーツショップ見学
6	部品識別法	部品の外観から識別する
7	マイコンを使ったプログラム	arduinoの簡単な使用方法
8	LED点滅プログラム	LED点滅プログラム作成
9	モータードライブ	モーター制御回路作成
10	PCとの通信プログラム	ライブラリ使用方法
11	プログラム機能拡張方法	ライブラリ検索方法
12	ネットでのオンライン検索法	最終作品設計
13	最終作品の図面作成	最終作品制作
14	最終作品作成	最終作品を完成させる
15	作品評価	プログラムとハードの評価

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/Eagle実践 I		038
授業概要	電子回路作図、プリント基板パターン作成CADの使用方法和簡単な回路の学習	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	回路図面より電子回路を作図、それを基にプリント基板パターン展開		
前提条件	PC基本操作の習得		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 成果提出物による	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3 4	
評価観点	CPUを使用したLED順次点灯回路のプリント基板パターンを作成する。	
特記事項	電子回路作図が最低条件	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	EAGLE準備	Eagle CADのインストールと設定
3	部品配置	8万点の部品ライブラリから必要の部品を選定
4	回路図作成	結線、位置修正、配線確認
5	基板配置図作成	回路図のネットリストを基に基板作成
6	基板配置図作成2	グリッドによる作図、交差配線、ビア作成
7	回路図、基板、検討と修正	基板の不具合を回路図から修正
8	LED表示回路の設計	LED表示回路作成、基板設計
9	CPUを使った回路の設計	AtmelCPUを使用した回路作成、基板設計
10	モーター回路の設計	モーターを使用した回路作成、基板設計
11	独自回路の設計	ネット参考に回路図を設計
12	独自回路の基板設計	ネット参考に独自基板を設計
13	最終作品の回路設計	評価用作品を作成
14	最終作品回路完成	評価用作品を完成
15	作品評価	CAD 作品評価

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/電子回路 I		039
授業概要	電子部品の記号と部品の基礎知識	担当教員	上野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	部品記号を全て学習		
前提条件	部品名の英語能力		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 部品を確実にピックアップできる事	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3 4	
評価観点	部品、部品名が一致するか	
特記事項	部品記号の細かい違いを学習する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	受動部品説明	抵抗コンデンサ、コイル記号
3	能動部品説明	ダイオード、トランジスタ、半導体記号
4	集積回路説明	ロジックICアナログIC機能と記号
5	部品知識習得	日本橋パーツショップ見学
6	部品識別法	部品の外観から記号化
7	マイコン回路図	回路図を記号で作製
8	LED点滅プログラム	LED点滅回路作成
9	モータードライブ	モーター制御回路作成
10	モジュールの記号化	モジュール部品の作成方法
11	部品と記号の最終確認	部品購入検索方法
12	ネットでのオンライン検索法	最終作品設計
13	最終作品の図面作成	最終作品制作
14	最終作品作成	最終作品を完成させる
15	作品評価	部品の記号のおさらい

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21FT/WEBディレクション I		040
授業概要	基本操作とWeb初級・資格取得	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	1学年		
達成目標	Webクリエイター能力試験合格		
前提条件	パソコンの基本的な操作と言語の打ち込み・試験対策		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題問題への理解	40 %
	2 課題・宿題提出率	40 %
	3 意欲/姿勢	20 %
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」: 評価観点::課題や宿題の提出率・試験結果・姿勢と意欲	
特記事項	Webサイトに興味を持ち、HTMLやCSSの基本を習得する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	インターネット基礎知識	講義・ショートカット操作・パソコン操作
2	試験概要説明	テキスト配布・内容確認等
3	試験対策問題	HTML・CSS/ハッピーネスクラブ
4	試験対策問題	HTML・CSS/ハッピーネスクラブ
5	試験対策問題	HTML・CSS/ハッピーネスクラブ
6	試験対策問題	HTML・CSS/ハッピーネスクラブ
7	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/SKYRIBBON AIRLINE
8	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/SKYRIBBON AIRLINE
9	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/BeerBuddies
10	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/BeerBuddies
11	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/イロハ英会話教室
12	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/イロハ英会話教室
13	試験対策問題(オリジナル問題)	HTML・CSS/Weekenders
14	試験対策問題(オリジナル問題)	HTML・CSS/Weekenders
15	試験対策問題(別冊問題)	HTML・CSS/BeautyUSSON

※実務家教員授業 (担当教員職歴: Webデザイナー)

科目名	21FT/デザインビジネス		042
授業概要	デザインの講義を通じて人と企業とデザインの関係性の理解を深め、今この時代に通用するデザイナー必須のビジネス論として展開。マーケティングやデジタルコミュニケーション、ブランディングなど、多様なメディアの事例なども交えたより実践的な内容で学習します。	担当教員	酢谷
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻2年生		
達成目標	・プロとしての幅広い専門性の習得。(実技授業と連携)・時代や社会を見据えたタイムリーな視点と対応。(表現力向上)・大きな志を持って夢をカタチにする。(創造力強化)		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 筆記テスト	80 %
	2 学習態度、取り組み姿勢	20 %
	3 4	
評価観点	IOT、UX、AI…加速する時代の中でマーケティングやメディアの理解を深め、デザイン表現力に加え、ビジネスとしての論理的な展開力の習熟と強化。	
特記事項	期末の筆記テストと日常の学習態度、取り組み姿勢。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	1. ブランディングとデザイン(1)	ブランドとは? ブランディングとは? 他
2	2. ブランディングとデザイン(2)	ブランド要素、ブランド政策他
3	3. ブランディングとデザイン(3)	ブランドの展開、事例他
4	4. マーケティングとデザイン(1)	マーケティングとは? その全体像
5	5. マーケティングとデザイン(2)	環境分析、戦略立案、施策立案他
6	6. マーケティングとデザイン(3)	広告編
7	7. マーケティングとデザイン(4)	販促編
8	8. マーケティングとデザイン(5)	広報編、戦略とストーリー
9	9. ネット広告(1) ネット広告とは?	市場規模、市場の動向他
10	10. ネット広告(2)	ネット広告の特徴、分類他
11	11. デジタルコミュニケーション論(1)	トリプルメディア、O2O、オムニチャネル
12	12. デジタルコミュニケーション論(2)	SIPS、共感コミュニケーション他
13	13. マーケティング用語の解説	
14	14. デザインマネジメント論	デザインマネジメントとは? CI戦略他
15	15. 筆記テスト実施	

※実務家教員授業 (担当教員職歴: デザイナー)

科目名	21FT/コミュニケーションデザイン戦略 I		043
授業概要	チーム制作を主体にして各自の役割と責任を明確化し、設定された課題の解決に取り組む。今までの個々の制作のやり方や領域を超えて、多様化するメディアやツールの連携の最適化を図り、時代が求める新しいコミュニケーションデザインのあり方を追究します。	担当教員	酢谷
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻生		
達成目標	・企業の戦略としてのコミュニケーションデザインのあり方を考える。・時代を見据えたクリエイティブとメディアの関係性の追究。・チームワーク力(共創力)とコミュニケーション力の強化。		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 企画力、発想力	30 %
	2 チーム対応力	30 %
	3 個々の作品表現力	40 %
	4	
評価観点	課題解決に向けた商品開発、Shop展開、Webメディア、プリントメディアなどジャンルを問わずトータルなコミュニケーション戦略の最適化の実現。	
特記事項	総合的なコミュニケーションの戦略としての企画力と、個々の作品のクオリティおよびチームワークによる制作対応能力。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	この夏のShopプロモーション策(アベノハルカス vs キューズモール編)	
2	この夏のShopプロモーション策(アベノハルカス vs キューズモール編)	
3	この夏のShopプロモーション策(アベノハルカス vs キューズモール編)	
4	この夏のShopプロモーション策(アベノハルカス vs キューズモール編)	
5	この夏のShopプロモーション策(アベノハルカス vs キューズモール編)	
6	秋の暮らし提案/企画制作(IKEA vs 無印良品編)	
7	秋の暮らし提案/企画制作(IKEA vs 無印良品編)	
8	秋の暮らし提案/企画制作(IKEA vs 無印良品編)	
9	秋の暮らし提案/企画制作(IKEA vs 無印良品編)	
10	秋の暮らし提案/企画制作(IKEA vs 無印良品編)	
11	秋冬のビール商品開発&拡売戦略(麒麟 vs アサヒビール編)	
12	秋冬のビール商品開発&拡売戦略(麒麟 vs アサヒビール編)	
13	秋冬のビール商品開発&拡売戦略(麒麟 vs アサヒビール編)	
14	秋冬のビール商品開発&拡売戦略(麒麟 vs アサヒビール編)	
15	秋冬のビール商品開発&拡売戦略(麒麟 vs アサヒビール編)	

※実務家教員授業 (担当教員職歴:デザイナー)

科目名	21FT/WEBデザイン I		044
授業概要	Webデザイン中級レベル(下)+チーム制作を通し、組織としての連携プレーを体験する。	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	2・3学年		
達成目標	思考創造する姿勢とその技術を身につける		
前提条件	サンプル通りに完成することができる。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	30 %
	2 企画立案	20 %
	3 意欲/姿勢	10 %
4 作品完成度	40 %	
評価観点	作品完成度:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」。評価観点:作品に対する意欲・課題提出率・スマートフォン対応:プロフェッショナルな技術・ユーザー目線・プレゼンテーション	
特記事項	見やすさ、読みやすさなど詳細部分まで配慮して制作することができる。自分の作品にその理由とこだわりを持つことが出来ている。ユーザーの立場になって創造する姿勢。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	復習・演習	”復習 Dreamweaver操作 演習オペレーション、バナー制作”
2	復習・演習	”復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
3	レスポンシブデザイン	”復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
4	レスポンシブデザイン	サイト演習(サンプル問題)
5	レスポンシブデザイン	サイト演習(サンプル問題)
6	母の日・父の日企画	サイト演習バナー制作
7	無印良品公式サイトを再現する	サイト演習バナー制作
8	無印良品公式サイトを再現する	サイト演習バナー制作
9	チームディレクション	チームごとの企画及び制作
10	チームディレクション+発表	チームごとの企画及び制作
11	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテルのWebサイト構築
12	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテル及びコーポレートのWebサイト構築
13	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテル及びコーポレートのWebサイト構築
14	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテル及びコーポレートのWebサイト構築
15	Webサイト構築1(企画+WEB)	プレゼンテーション+発表

※実務家教員授業 (担当教員職歴:Webデザイナー)

科目名	21FT/UXデザイン I		045
授業概要	Webデザイン上級レベル(上)チーム制作を通し、組織としての連携プレーを体験する。	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	2・3学年		
達成目標	思考創造する姿勢とその技術を身につける		
前提条件	サンプル通りに完成することができる。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	30 %
	2 企画立案	20 %
	3 意欲/姿勢	10 %
	4 作品完成度	40 %
評価観点	作品完成度:100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」。評価観点:課題提出率:スマートフォン対応:プロフェッショナルな技術:意欲:ユーザー目線:プレゼンテーション	
特記事項	詳細部分まで配慮して制作することができる。自分の作品にその理由とこだわりを持つことが出来ている。ユーザーの立場になって創造する姿勢。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	復習・演習	“基礎復習 /演習オペレーション、バナー制作”
2	復習・演習	“復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
3	レスポンシブデザイン	“復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
4	レスポンシブデザイン	サイト演習(サンプル問題)
5	レスポンシブデザイン	サイト演習(サンプル問題)
6	チームディレクション(ショッピングサイト)	チームごとの企画及び制作
7	チームディレクション(ショッピングサイト)	チームごとの企画及び制作
8	チームプレゼンテーション	企画発表
9	チームディレクション	チームごとの企画及び制作
10	チームディレクション+発表	チームごとの企画及び制作
11	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテルのWebサイト構築
12	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテルのWebサイト構築
13	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテルのWebサイト構築
14	Webサイト構築1(企画+WEB)	課題:旅館・ホテルのWebサイト構築
15	Webサイト構築1(企画+WEB)	プレゼンテーション+発表

※実務家教員授業 (担当教員職歴:Webデザイナー)

科目名	21FT/販促デザイン・情報デザイン I		047
授業概要	この時間では、時代や社会の動きをしっかりと見据えて個々の課題に向き合い、実技を通してその役割やポジションの理解力を高め、多様な表現技術を習得。企業経営やこの社会を大きく変えていく原動力としての広告、販促、情報デザインの最前線とこれからの展望します。	担当教員	酢谷
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻生		
達成目標	・クリエイティブとメディアの関係性理解と最適化を考える。・統合型マーケティングにおけるデザイン表現能力の開発。・専門的な知識と多様な表現技術の習得。		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 企画力、発想力	30 %
	2 個々の作品表現力	60 %
	3 取り組み姿勢	10 %
	4	
評価観点	プリントメディア課題制作を中心に、さらにコミュニケーションの最適化を考えた+1・2=ネットとリアルの融合を考えた作品づくりを展開する。	
特記事項	クロスメディア対応によるデザイン思考力と表現力の総合評価。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ポスター企画制作+1・2	
2	ポスター企画制作+1・2	
3	ポスター企画制作+1・2	
4	ポスター企画制作+1・2	
5	新聞広告企画制作+1・2	
6	新聞広告企画制作+1・2	
7	新聞広告企画制作+1・2	
8	新聞広告企画制作+1・2	
9	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
10	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
11	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
12	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
13	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
14	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	
15	タブロイド版情報紙企画制作(企画と表紙デザイン)	

※実務家教員授業（担当教員職歴：デザイナー）

科目名	21FT/ゲームグラフィック実習A		052	
授業概要	復習をかねて、課題を制作・個別指導をする		担当教員	山田 真歩
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標	各自の苦手を克服し、得意分野を伸ばす			
前提条件	3D・イラストの授業を受けていること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
3	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
4	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
5	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
6	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
7	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
8	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
9	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
10	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
11	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
12	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
13	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
14	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
15	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導

科目名	21FT/デジタルイラスト実習 I		053
授業概要	Photoshopに慣れ、着色をすることが出来る様になる		担当教員 中野
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	自身の作成した線画を着色出来る様になる		
前提条件	秦野先生のイラスト授業を受けている事		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	模写 I	顔のバランスを考えつつメインに模写を行う
3	模写 II	全身のバランスを考えつつ模写を行う
4	模写 III	苦手な所をメインで、バランスを考えながら模写を行う
5	Photoshopについて I	Photoshopの基本操作
6	Photoshopについて II	Photoshopの基本操作
7	Photoshopについて III	Photoshopの基本操作
8	アニメイラストの模写 I	アニメイラストをトレース・着色
9	アニメイラストの模写 II	アニメイラストをトレース・着色
10	アニメイラストの模写 III	アニメイラストをトレース・着色
11	アニメイラストの模写 IV	アニメイラストをトレース・着色
12	オリジナルイラストの着色 I	自分で制作した線画を着色
13	オリジナルイラストの着色 II	自分で制作した線画を着色
14	オリジナルイラストの着色 III	自分で制作した線画を着色
15	オリジナルイラストの着色 IV	自分で制作した線画を着色

※実務家教員授業（担当教員職歴：プログラマ）

科目名	21FT/マイコン制御 I		054
授業概要	マイコンを使って、多彩な機器の制御方法を学ぶ	担当教員	老田 進
		開校時期	前期
		単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	留学生		
達成目標	言語Cを用いてMPUのArduinoを制御するプログラムが作成できること		
前提条件	言語Cが習得済みであること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 ペーパー試験	80 %
	2 取り組み意欲	20 %
	3 4	
評価観点	ペーパー試験で80点以上を優、65点以上を良、40点以上を可とする	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の取り組み方、成績のつけ方など
2	LEDの点滅	LEDを一定の時間間隔で点滅させる
3	LEDを次々に点灯させる	5個のLEDを順に点灯させる
4	交通信号	3個のLEDを交通信号のように点灯させる
5	アナログ入力	可変抵抗器を用いてLEDの点灯間隔を変える
6	ボタン	ボタンが押されているかどうかを検知し、押されている場合にLEDを点灯させる
7	呼吸ランプ	PWMを使ってLEDの明るさをアナログ的に変える
8	応答実験	ボタンに対応したLEDを点灯させる
9	アクティブブザー	アクティブブザーを鳴らす
10	パッシブブザー	パッシブブザーを鳴らす
11	RGBLED	RGBLEDを使って7色を発光させる
12	音作り	パッシブブザーを用いてメロディーを作る
13	温度センサー	アナログ温度センサーを用いて室内温度と体温を測定し、結果を表示させる
14	チルトスイッチ	振動させることによってスイッチがONになるチルトスイッチの使い方を学ぶ
15	シフトレジスタ	シリアルパラレル変換を用いてシフトレジスタICの制御方法を学ぶ

科目名	21FT/ITパスポート		055	
授業概要	IT系スキルの全般的な向上、国家試験(ITパスポート)の受験対応力向上		担当教員	尾立
			開校時期	前期
			単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	システム、ゲーム1年			
達成目標	国家試験(ITパスポート)の合格、合格できない場合でも後期の受験で合格を目指せる状態			
前提条件	なし(但し、日本語文章が普通に読めること)			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	過去問テスト	60 %
	2	用語暗記テスト	30 %
	3	取り組み方意欲	10 %
	4		
評価観点	過去問テスト、用語暗記テスト、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)		
特記事項	ITパスポート合格の場合は無条件に100点		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、ITパスポート試験概要
2	コンピュータ構成要素	プロセッサ、記憶装置、入出力デバイス
3	ハードウェア	ハードウェア
4	基礎理論	離散数学、応用数学、情報に関する理論
5	企業活動	経営・組織、OR・IE、会計・財務
6	法務	知的財産権、セキュリティ関連法規、その他の法律
7	システム開発技術	システム開発のプロセス、ソフトウェアの見積り
8	ソフトウェア開発管理技術	ソフトウェア開発プロセス・手法
9	経営戦略マネジメント	経営戦略手法、ビジネス戦略、経営管理システム
10	技術戦略マネジメント	技術戦略の立案・技術開発計画
11	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム、エンジニアリングシステム、eビジネス、民生機器・産業機器
12	システム戦略	情報システム戦略の考え方、業務プロセスの考え方、ソリューションビジネス
13	システム企画	システム化計画、要件定義、調達計画・実施
14	用語テスト	重要用語暗記及び用語テスト
15	過去問テスト	過去問題によるスキルチェックテスト

科目名	21FT/アルゴリズム		056
授業概要	基本的アルゴリズム(フローチャート)の理解、プログラム作成能力向上	担当教員	尾立
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	システム、ゲーム1年		
達成目標	分岐構造、繰り返し構造の基本が理解できており、簡単な出題の解答ができる。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	60 %
	2	ノート	30 %
	3	取り組み方意欲	10 %
	4		
評価観点	ペーパーテスト、作成フローチャートのノート提出、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アルゴリズムとは	アルゴリズムの重要性、プログラムの品質について
2	フローチャート図記号	基本図記号解説、基本的記述ルール解説
3	順次、選択処理	順次、選択の基本理解、順次だけの計算処理
4	順次、選択処理	2つの値の大小判定
5	順次、選択処理	3つの値の大小判定
6	繰り返し処理(規定回数)	繰り返しの基本理解、ある入力値までの集計
7	繰り返し処理(規定回数)	基数偶数の振り分け
8	繰り返し処理(不定回数)	終了値が入力されるまでの集計
9	繰り返し処理	最小公倍数、最大公約数を求める
10	配列の活用	配列活用処理と繰り返しの基本理解
11	配列の活用	条件を満たす要素数のカウント
12	配列の活用	配列のすべての要素を活用する集計処理1
13	配列の活用	配列のすべての要素を活用する集計処理2
14	ペーパーテスト	テスト勉強及びペーパーテスト
15	ノートまとめ、提出	記述ルールのチェック及び修正後に提出

科目名	21FT/C言語		057
授業概要	C言語を使用して、プログラミングの基礎を学ぶ。※同じ内容を反復することで理解を深める	担当教員	八木
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	本科生		
達成目標	C言語の基礎を理解し、プログラミングに慣れてもらう		
前提条件	プログラミング未経験者		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 80~100点: 優、70~79点: 良、60~69点: 可	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	期末テストの点数にて評価する	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、本授業で勉強する内容の概要説明
2	プログラミングとは	プログラミングについての概要を説明
3	C言語とは	C言語についての概要を説明
4	基本的なプログラム	まずはC言語で簡単なプログラムを動かす
5	演算子	計算、比較、論理演算子を学ぶ
6	制御文(条件分岐)	if/switch文を学ぶ
7	制御文(繰り返し)	for文、while文、do-while文を学ぶ
8	配列	配列、文字列、多次元配列を学ぶ
9	中間確認テスト	配列までの範囲でテストを実施する
10	演算子	計算、比較、論理演算子を学ぶ
11	制御文(条件分岐)	if/switch文を学ぶ
12	制御文(繰り返し)	for文、while文、do-while文を学ぶ
13	配列	配列、文字列、多次元配列を学ぶ
14	関数	関数の使い方、作り方を学ぶ
15	期末テスト	本科目で扱った全範囲を対象にテストを実施する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/C言語		058
授業概要	C言語を使用して、プログラミングの基礎を学ぶ。※同じ内容を反復することで理解を深める	担当教員	八木
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	本科生		
達成目標	C言語の基礎を理解し、プログラミングに慣れてもらう		
前提条件	プログラミング未経験者		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 80~100点: 優、70~79点: 良、60~69点: 可	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	期末テストの点数にて評価する	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、本授業で勉強する内容の概要説明
2	プログラミングとは	プログラミングについての概要を説明
3	C言語とは	C言語についての概要を説明
4	基本的なプログラム	まずはC言語で簡単なプログラムを動かす
5	演算子	計算、比較、論理演算子を学ぶ
6	制御文(条件分岐)	if/switch文を学ぶ
7	制御文(繰り返し)	for文、while文、do-while文を学ぶ
8	配列	配列、文字列、多次元配列を学ぶ
9	中間確認テスト	配列までの範囲でテストを実施する
10	演算子	計算、比較、論理演算子を学ぶ
11	制御文(条件分岐)	if/switch文を学ぶ
12	制御文(繰り返し)	for文、while文、do-while文を学ぶ
13	配列	配列、文字列、多次元配列を学ぶ
14	関数	関数の使い方、作り方を学ぶ
15	期末テスト	本科目で扱った全範囲を対象にテストを実施する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21FT/WEB基礎		059
授業概要	基本操作とWeb初級・資格取得	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	1学年		
達成目標	基本知識を取得。達成感を実感する。		
前提条件	インターネットやWebデザインの興味		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	40 %
	2 理解度	40 %
	3 意欲/姿勢	20 %
	4	
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」課題や宿題の提出率・試験結果・姿勢と意欲	
特記事項	標準のサンプル構成を最後まで仕上げることができる。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己紹介/インターネットの基礎知識	ブラウザとは/キーボード操作/全角と半角
2	準備をしよう	ファイルとフォルダー/授業の進め方/
3	準備をしよう	ショートカットとは/テキストエディタ/特殊記号他
4	HTML基礎	セクションの構造化・段落と改行・重要な語句・注釈・著作権・リスト・仕切り線
5	HTML基礎	テーブル作成・フォームの仕組みと作成イメージ・マルチメディア(地図・動画)・画像やリンクのパス・ハイパーリ
6	自由課題	「わたしの好きな●●」自由テーマでHTMLでサイトを作る
7	CSS基礎1	CSSとは(役割とバージョン)/スタイルの設定/CSSの基本書式
8	CSS基礎1	CSSとHTMLを関連付ける/セレクタの種類
9	CSS基礎1	CSSプロパティ/フォントの設定 /行間設定/テキストカラーと背景色
10	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスの定義とスタイル
11	CSS基礎1	CSSプロパティ余白・ボーダー/シャドウ・角丸
12	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスのサイズと背景display要素
13	CSS基礎1	“CSSプロパティ/回りこみと解除要素の幅と高さ/クリアフィックス”
14	自由課題	「わたしの好きな●●」自由テーマでHTML+CSSでサイトを作る
15	HTML+CSS	全体構成基礎を復習

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21FT/MOSWord		061
授業概要	MOS_Word資格取得講座	担当教員	堀川
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	MOS_Word資格取得と操作		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	試験での得点	60 %
	2	課題提出点	20 %
	3	授業態度・資格取得に対する取り組み姿勢	20 %
	4		
評価観点	資格での得点+課題提出点+授業態度:100点満点中、85点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	スキルチェック・試験概要
2	Word基本操作と入力	最低限のWord操作とフォルダ管理
3	Word文書の作成と管理	外部ファイルの操作
4	Word文書の作成と管理	ページ設定・ページ番号など
5	Word文書の作成と管理	文書のオプションと表示
6	書式設定	検索・置換・特殊文字
7	書式設定	行や段落の操作
8	表やリストの作成	表の作成とスタイルリストの作成・変更
9	参考資料の作成と管理	脚注・資料文献・図表番号
10	グラフィックの挿入	図形・SmartArt
11	模擬試験	模擬試験第1回
12	模擬試験	模擬試験第2回
13	模擬試験	模擬試験第3回
14	模擬試験	模擬試験第4回
15	模擬試験	模擬試験第5回・ランダム試験

※実務家教員授業（担当教員職歴:システムインストラクター）

科目名	21FT/MOSWord		062
授業概要	MOS_Word資格取得講座	担当教員	堀川
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	MOS_Word資格取得と操作		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	試験での得点	60 %
	2	課題提出点	20 %
	3	授業態度・資格取得に対する取り組み姿勢	20 %
	4		
評価観点	資格での得点+課題提出点+授業態度:100点満点中、85点以上「優」、70点以上「良」、61点以上「可」。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	スキルチェック・試験概要
2	Word基本操作と入力	最低限のWord操作とフォルダ管理
3	Word文書の作成と管理	外部ファイルの操作
4	Word文書の作成と管理	ページ設定・ページ番号など
5	Word文書の作成と管理	文書のオプションと表示
6	書式設定	検索・置換・特殊文字
7	書式設定	行や段落の操作
8	表やリストの作成	表の作成とスタイルリストの作成・変更
9	参考資料の作成と管理	脚注・資料文献・図表番号
10	グラフィックの挿入	図形・SmartArt
11	模擬試験	模擬試験第1回
12	模擬試験	模擬試験第2回
13	模擬試験	模擬試験第3回
14	模擬試験	模擬試験第4回
15	模擬試験	模擬試験第5回・ランダム試験

※実務家教員授業（担当教員職歴:システムインストラクター）

科目名	21FT/デザインアプリ基礎		063
授業概要	デザイナーの基礎ツールであるPhotoshopとIllustratorの使用方法を学ぶ。		担当教員 岩本
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生選択		
達成目標	さまざまなメディアに対応したデザインの要素を、Photoshop,Illustratorで制作できるようになること。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	30 %
	2 提出課題	70 %
	3 4	
評価観点	話が聞ける、指示通りにオペレーションが出来る、指示された課題が制作でき、提出できている点を観点として評価する。	
特記事項	作品の提出が100%であること	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	Illustrator1	インターフェイスとツールの使い方
3	Illustrator2	オブジェクトと重ね順、パスファインダ
4	Illustrator3	課題制作1とレクチャー
5	Illustrator4	課題制作2とレクチャー
6	Illustrator5	課題制作3とレクチャー
7	Illustrator6	課題制作4とレクチャー
8	Photoshop1	インターフェイスとツールの使い方
9	Photoshop2	レイヤーと選択範囲
10	Photoshop3	画像編集の方法
11	Photoshop4	課題制作1とレクチャー
12	Photoshop5	課題制作2とレクチャー
13	Photoshop6	課題制作3とレクチャー
14	Photoshop7	課題制作4とレクチャー
15	Photoshop8	課題制作5とレクチャー

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21FT/PC基礎		066
授業概要	情報活用試験3級の合格を目指し、初心者が得るべきコンピュータの前提基礎知識を得る。	担当教員	土井
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	情報活用試験3級合格(高校授業等での経験により、個別で2級合格を目指す場合もある)		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	50 %
	2	小テスト	20 %
	3	本番試験	30 %
	4		
評価観点	嬢業内での小テスト、本番試験合否、出席率にて、「優」「良」「可」とする。		
特記事項	本番試験不合格であっても授業内での取り組み姿勢、出席率は考慮とし評価する。		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	情報表現と処理手順	情報手段としてのパソコンの在り方とその使用法を理解する
2	パソコンの基礎	パソコンの基本構成とその取り扱いを理解する
3	インターネットの基礎	インターネットの基本的な仕組みを理解する
4	インターネットの利用	インターネットの利用方法を理解する
5	情報機器の基本操作	情報機器の基本操作及びアプリケーションソフトの利用方法を実践する
6	情報社会とコンピューター	生活とコンピューターの関わりを理解する
7	情報モラル	情報モラルを理解する
8	前半小テスト	今までの内容を小テストにて各自の理解度を確認する
9	経営戦略とシステム戦略	経営戦略とシステム戦略の基礎的知識について理解する
10	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントに関する基礎的知識について理解する
11	データ構造と情報表現	コンピューターにおける情報表現とデータ構造について理解する
12	問題解決処理手順	問題解決技法について理解する
13	本番試験に向けての復習ー1ー	各自の理解度に合わせて過去問題にて確認する
14	本番試験に向けての復習ー2ー	各自の理解度に合わせて過去問題にて確認する
15	後半小テスト	今までの内容を小テストにて各自の理解度を確認する

科目名	21FT/企画基礎		068
授業概要	企画とは何かを学び、グループワークを通じ実践的に企画を考え、発表を行う。		担当教員
			友金
			開校時期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科生必修		
達成目標	目的を明確にし目標達成の為に事前に計画し最適な方法を考え提示できるようになること。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 グループワークでの積極性	30 %
	2 プレゼンテーション	30 %
	3 企画の適格性	40 %
	4	
評価観点	主体的に考え参加し自ら課題解決に臨む姿勢が見られるかどうか。また課題解決の為に計画が適切であるかどうか、それを伝える努力をしているかどうかを観点に評価する。	
特記事項	0	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	企画とは1	企画とは何かを座学にて学ぶ
3	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	チーム編成・議論
4	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	議論
5	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	議論まとめ
6	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	発表準備
7	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	プレゼンテーション
8	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	目的と解決すべき問題点
9	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	問題点の抽出【KJ法】・取り組むテーマ決定
10	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論
11	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論
12	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	中間発表・アドバイス
13	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論まとめ
14	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論まとめ・発表準備
15	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	プレゼンテーション

科目名	21FT/デザイン基礎		069
授業概要	デザインとは問題解決の手法であり、決して造形だけをデザインと呼ぶのではないことを学ぶ。また課題解決型のワークショップを授業の主体としグループでの解決を通じデザインを学ぶ	担当教員	岩本
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生デザイン系学生		
達成目標	課題解決の目的を設定でき、解決の手法として表現を利用できるようになること。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 グループワークでの積極性	30 %
	2 プレゼンテーション	30 %
	3 提出課題	40 %
	4	
評価観点	主体的に考え参加し自ら課題解決に臨む姿勢が見られるかどうか。また課題解決の為に表現が適切に使用できているかどうかを観点に評価する。	
特記事項	0	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	デザインとは1	グループワークにてデザインを考え発表する
3	デザインとは2	デザインの目的の多様性を座学にて学ぶ。
4	デザイン基礎1	デザインの構成要素をグループにて議論し発表する。
5	デザイン基礎2	デザインの構成要素を座学にて学ぶ
6	デザイン演習1	目的を持った名刺の制作
7	デザイン演習1	目的を持った名刺の制作
8	デザイン演習1	目的を持った名刺の制作発表
9	合評	専攻生の合評に参加する
10	デザイン演習2	卒業アルバムの表紙デザイン
11	デザイン演習2	卒業アルバムの表紙デザイン
12	デザイン演習2	卒業アルバムの表紙デザイン
13	授業見学	専攻科生のプレゼンテーションを見学し発表の手法を学ぶ
14	デザイン演習2	卒業アルバムの表紙デザイン
15	デザイン演習2	卒業アルバムの表紙デザイン発表

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21FT/アナログイラスト		073
授業概要	人物のバランス等のキャラクターデザインの要素、画面上での背景やキャラクター等の構図について学ぶ	担当教員	秦野
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	人間や動物のキャラクターデザインや、イラスト全般について理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 デザインや構図などのアイデア出しをその都度チェック	30 %
	2 用紙にペン入れまでした完成原稿を描き提出し、採点。	60 %
	3 授業への取り組み、能動的態度等	10 %
	4	
評価観点	人物や動物などの形を描くデッサン力、大まかに案を考え出すアイデア力、丁寧に作品を描く仕上げ力、の3点からくる総合力を評価。	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	キャラクターデザイン	キャラクターを描くコツのレクチャー
2	人体構造	全身のバランスを描く
3	人体構造	体のパーツを理解し、素体を描く
4	人体構造	色々な角度で人物を描く
5	体の部分を理解する	顔の色々な角度を描く
6	体の部分を理解する	手足を描く
7	作品制作	自由なテーマでイラスト制作
8	作品制作	自由なテーマでイラスト制作
9	作品制作	ヴィネット イラスト制作
10	作品制作	ヴィネット イラスト制作
11	体の部分を理解する	顔のバランスを描く
12	構図練習	色々なポーズのパターンを描く
13	作品制作	アクションポーズイラスト
14	作品制作	アクションポーズイラスト
15	作品制作	アクションポーズイラスト

※実務家教員授業（担当教員職歴：看板描画、漫画家）

科目名	21FT/企画基礎		074
授業概要	企画とは何かを学び、グループワークを通じ実践的に企画を考え、発表を行う。	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科生必修		
達成目標	目的を明確にし目標達成の為に事前に計画しベストな方法を考え提示できるようになること。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	グループワークでの積極性	30 %
	2	プレゼンテーション	30 %
	3	企画の適格性	40 %
	4		
評価観点	主体的に考え参加し自ら課題解決に臨む姿勢が見られるかどうか。また課題解決の為に計画が適切であるかどうか、それを伝える努力をしているかどうかを観点に評価する。		
特記事項	0		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	企画とは1	企画とは何かを座学にて学ぶ
3	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	チーム編成・議論
4	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	議論
5	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	議論まとめ
6	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	発表準備
7	グループワーク1 団扇の機能を向上させる企画案	プレゼンテーション
8	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	目的と解決すべき問題点
9	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	問題点の抽出【KJ法】・取り組むテーマ決定
10	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論
11	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論
12	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	中間発表・アドバイス
13	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論まとめ
14	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	議論まとめ・発表準備
15	グループワーク2 盗られない傘の開発企画案	プレゼンテーション

科目名	21FT/就職活動実践 I		080
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	林
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21FT/プログラミング基礎 コードモンキー		083
授業概要	初めて触るプログラミングの基礎力をつける	担当教員	林
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年(ゲームグラフィック系以外)		
達成目標	プログラミングの理解		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	理解力テスト	50 %
	2	課題への取組意欲	50 %
	3		
	4		
評価観点	筆記試験と授業への取組姿勢。100点満点中、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」。		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の趣旨説明、スキルモードNo.1-1～1-11クリア
2	turnTo,timesループ	スキルモードNo2-1～3-10をクリア
3	変数1	スキルモードNo4-1～4-10をクリア
4	変数2	スキルモードNo4-11～4-20をクリア
5	配列	スキルモードNo5-1～5-10をクリア
6	forループ	スキルモードNo6-1～6-15をクリア
7	関数	スキルモードNo7-1～7-15をクリア
8	untilループ	スキルモードNo8-1～8-15をクリア
9	if文	スキルモードNo9-1～9-11をクリア
10	if else文	スキルモードNo10-1～10-8をクリア
11	and、or	スキルモードNo11-1～11-15をクリア
12	and、or<、not	スキルモードNo11-16～11-21・12-1～12-6をクリア
13	<、==戻り値	スキルモードNo13-1～14-5をクリア
14	戻り値	スキルモードNo14-6～14-15をクリアと復習
15	確認テスト	理解度テスト

科目名	21FT/コンピューターリテラシー		084
授業概要	情報モラル、情報リテラシーの正しい知識の取得及び活用法	担当教員	林
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	インターネットベーシックユーザーテストの合格レベルまでの知識の向上		
前提条件	高等学校の教科:情報の「社会と情報」、「情報の科学」の履修		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	60 %
	2	提出物	20 %
	3	取り組み方、意欲	10 %
	4	出席状況	10 %
評価観点	授業中の取り組む姿勢、提出物(ノート、論文2回)、テスト(ペーパー)の点数		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の提示
2	インターネットの基礎について	インターネット、LAN、IPの基礎知識の取得
3	論文作成	インターネット犯罪の危険性と対策について
4	論文発表	各学生による論文の発表
5	論文考察	インターネット犯罪の種類、トラブル、影響力など
6	インターネットのしくみ	スマートフォン、LAN、Wi-Fi、SSLなどのしくみの説明
7	コンピュータウイルス	コンピュータウイルスの種類、危険性
8	セキュリティ	コンピュータを守るためのセキュリティ
9	インターネットでの被害	詐欺、スパムメール、健康面への影響
10	論文作成	インターネット上の著作権侵害事件について
11	論文発表	各学生による論文の発表
12	論文考察	権利の種類やインターネット上での稀薄性について
13	インターネット関連の法規	インターネット犯罪を取り締まる組織、法律の種類
14	インターネット利用者のモラル	誹謗中傷、風評被害、個人情報の漏洩
15	テスト(ペーパー形式)	100点満点(100×60)

科目名	21FT/DirectX11応用 I		085
授業概要	DirectX11を用いてゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	DirectX11を使用したゲームの作成		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	フォグ1	線形フォグ
2	フォグ2	指数フォグ
3	フォグ3	グラウンドフォグ
4	フォグ4	テクスチャード・グラウンドフォグ
5	影1	丸影
6	影2	シャドウマップ
7	影3	シャドウマップ
8	エフェクト1	エフェクトライブラリの実装
9	エフェクト2	エフェクトクラスの作成
10	エフェクト3	エフェクトクラスの作成、使用方法
11	サウンド1	DirectSoundクラスの作成
12	サウンド2	DirectSoundクラスの作成、使用方法
13	課題制作1	課題制作
14	課題制作2	課題制作
15	課題制作の発表	課題制作の発表

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/ゲーム企画		086
授業概要	企画立案・資料作成練習	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻志望		
達成目標	卒業進級制作に向けた資料作成		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出	50 %
	2	作品へのこだわり	30 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	ゲームの要素立案が出来るか。人に伝えることを意識した書類になっているか。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己紹介を考える1	自分の特徴を3つ挙げ、pptにまとめる
2	自己紹介を考える2	全員の前で発表する
3	企画の基礎説明1	目的・項目・書き方の解説
4	ボタン1つで遊べるゲームの企画書作成1	ミニゲームを1つ考える
5	ボタン1つで遊べるゲームの企画書作成	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
6	シューティングゲームの企画書作成1	最低限のルールを伝え、要素を1つ足した企画書を作成する
7	シューティングゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
8	チームでシューティングゲームの企画書作成1	ランダムにチームを作成し、企画書を作成する
9	チームでシューティングゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
10	すごろくのマスを考える	面白さに直結するマスはマイナスかプラスか考えさせる
11	チップを取り合うゲームを考える	5枚チップを渡し、どのルールなら他の人が勝負してくれるか考える
12	スケジュール管理の説明	各自の作業時間を認識させ、全体作業に割り当てる解説
13	チームで好きなゲームの企画書作成1	ランダムにチームを作成し、企画書を作成する
14	チームで好きなゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
15	進級制作の企画書を作成	チーム交渉用に先に企画書を作成する

※実務家教員授業（担当教員職歴：ゲームグラフィッカー）

科目名	21FT/3Dモデリング実習 I		087
授業概要	各自で就職に必要な作品を制作する	担当教員	山田 真歩
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	自分の進みたい進路を定め、その為に必要な作品を制作する		
前提条件	3Dモデルを作成出来ること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
3	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
4	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
5	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
6	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
7	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
8	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
9	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
10	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
11	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
12	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
13	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
14	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
15	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導

科目名	21FT/ゲームグラフィック基礎		088	
授業概要	専攻科に上がる為に、3D・イラストで弱い部分を補填する		担当教員	山田真歩
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標	専攻科に上がるために必要なスキルを身につける			
前提条件	なし			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	模写	画力向上を目指し、模写を行う
3	模写	画力向上を目指し、模写を行う
4	模写	画力向上を目指し、模写を行う
5	模写	画力向上を目指し、模写を行う
6	キャラクターデザインとは	キャラクターデザインについて。
7	キャラクターデザイン	実際にキャラクターをデザインし、着色まで行う
8	キャラクターデザイン	実際にキャラクターをデザインし、着色まで行う
9	キャラクターデザイン	実際にキャラクターをデザインし、着色まで行う
10	キャラクターデザイン	実際にキャラクターをデザインし、着色まで行う。講評
11	修正期間	前回のイラストの修正
12	修正期間	前回のイラストの修正。講評
13	夏休みに向けて	夏休みに作成する3Dモデルのキャラクターをデザインする(着色込)
14	夏休みに向けて	夏休みに作成する3Dモデルのキャラクターをデザインする(着色込)
15	夏休みに向けて	夏休みに作成する4Dモデルのキャラクターをデザインする(着色込)

科目名	21FT/3Dモデリング基礎 I		091
授業概要	基本的な3Dについての説明、モデリングに慣れる	担当教員	山田真歩
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	3Dを理解し、簡単なモデルを作成できるようになる		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	3Dとは	3Dについての基礎知識の説明
3	基礎モデリング I	3Dソフトを使って簡単なモデリング
4	基礎モデリング II	身近で簡単なものをモデリング
5	基礎モデリング III	身近なものをモデリング
6	UV展開について	UV展開の仕方
7	テクスチャとは	テクスチャの描き方
8	キャラクター作成 I	二頭身の簡単なキャラのモデリング
9	キャラクター作成 II	UV展開
10	キャラクター作成 III	テクスチャ作成
11	オリジナルキャラクター作成 I	3Dで作るキャラクターのデザイン
12	オリジナルキャラクター作成 II	3Dでモデリング
13	オリジナルキャラクター作成 III	3Dでモデリング・UV展開
14	オリジナルキャラクター作成 IV	UV展開・テクスチャ作成
15	オリジナルキャラクター作成 V	テクスチャ作成・講評

科目名	21FT/プログラミング基礎 コードモンキー		095
授業概要	プログラミング未経験者及び初級者に向けたプログラミング力の向上		担当教員 林
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年(ゲームグラフィック系以外)		
達成目標	コードモンキーのチャレンジモード210ステージ、スキルモード210ステージのクリア		
前提条件	初歩的なタイピングスキル、及び英単語の理解		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題の進捗度	40 %
	2	ペーパーテスト	40 %
	3	取り組み方、意欲	10 %
	4	出席状況	10 %
評価観点	丁寧なコードの入力、アルゴリズムの理解、授業中の取り組む姿勢、出席状況、テスト(ペーパー)の点数		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	ログインの仕方、授業の趣旨説明、チャレンジ・スキルNo.0～20をクリア
2	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.21～35をクリア
3	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.36～50をクリア
4	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.51～75をクリア
5	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.76～90をクリア
6	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.91～105をクリア
7	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.106～116をクリア
8	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.117～145をクリア
9	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.146～160をクリア
10	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.161～175をクリア
11	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.176～189をクリア
12	課題	前回の復習、チャレンジ・スキルNo.190～210をクリア
13	テスト前アナウンス	全ステージの復習、テストの内容の提示
14	テスト(ペーパー形式)	100点満点(100×0.4)
15	総まとめ	感想文の提出、苦手コードの把握

科目名	21FT/デジタルイラスト基礎 I		096
授業概要	Photoshopに慣れ、着色をすることが出来る様になる		担当教員 山田真歩
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	自身の作成した線画を着色出来る様になる		
前提条件	秦野先生のイラスト授業を受けている事		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	模写 I	顔のバランスを考えつつメインに模写を行う
3	模写 II	全身のバランスを考えつつ模写を行う
4	模写 III	苦手な所をメインで、バランスを考えながら模写を行う
5	Photoshopについて I	Photoshopの基本操作
6	Photoshopについて II	Photoshopの基本操作
7	Photoshopについて III	Photoshopの基本操作
8	アニメイラストの模写 I	アニメイラストをトレース・着色
9	アニメイラストの模写 II	アニメイラストをトレース・着色
10	アニメイラストの模写 III	アニメイラストをトレース・着色
11	アニメイラストの模写 IV	アニメイラストをトレース・着色
12	オリジナルイラストの着色 I	自分で制作した線画を着色
13	オリジナルイラストの着色 II	自分で制作した線画を着色
14	オリジナルイラストの着色 III	自分で制作した線画を着色
15	オリジナルイラストの着色 IV	自分で制作した線画を着色

科目名	21FT/ゲームプログラム実践E I		097
授業概要	プログラム実習	担当教員	山田真歩
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

科目名	21FT/デッサン初級		098	
授業概要	モノの形を理解し、正確に描けるようになる		担当教員	坂東
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	デザイン・イラスト専攻志望者			
達成目標	静物デッサン、人物デッサン、背景などの奥行の図法を理解する			
前提条件	なし			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	形の理解	30 %
	2	陰影	30 %
	3	質感、奥行、その他	30 %
	4	授業態度	10 %
評価観点	形、陰影、質感、奥行 この4本柱の理解と表現力で評価		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	形の捉え方	モチーフの形を描く
2	形の捉え方	モチーフの形を描く
3	用具の使い方	鉛筆をけずり、グラデーションを描く
4	静物デッサン	静物デッサン
5	静物デッサン	静物デッサン
6	静物デッサン	静物デッサン
7	静物デッサン	静物デッサン
8	図法	一点透視図法
9	図法	一点透視図法
10	図法	一点透視図法
11	図法	一点透視図法で部屋を描く
12	図法	二点透視図法で室内を描く
13	図法	二点透視図法で室内を描く
14	図法	二点透視図法で家の外観を描く
15	図法	二点透視図法で家の外観を描く

※実務家教員授業（担当教員職歴：デザイナー）

科目名	21FT/学力基礎養成講座		109
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて国語の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	60 %
	2	進捗状況	40 %
	3 4		
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭等でも行ない、評価は「合」「不」とする。		
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	Stage1 Lesson1～3	主語・述語・言葉と言葉のつながりの把握
2	Stage1 Lesson4～6	文末表現、一文の図式化
3	Stage1 Lesson7～9	一文の要約、単文・複文の違い
4	Stage1 Lesson10～12	文末表現
5	Stage1 Lesson13～15	一分のキーワード
6	Stage2 Lesson16～18	文脈把握
7	Stage2 Lesson19～20	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握①
8	Stage2 Lesson21～22	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握②
9	Stage2 Lesson23～24	文章の論理構造の図式化
10	Stage2 Lesson25～27	長文要約、筋道を意識して文章を書く
11	Stage3 Lesson33	評論長文の論理構造①
12	Stage3 Lesson34	評論長文の論理構造②
13	Stage3 Lesson35	評論長文の論理構造③
14	Stage3 Lesson36	評論長文の論理構造④
15	Stage3 Lesson37	長文の要約

科目名	21FT/学力基礎養成講座		110
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて国語の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	60 %
	2 進捗状況	40 %
	3 4	
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭等でも行ない、評価は「合」「不」とする。	
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	Stage1 Lesson1～3	主語・述語・言葉と言葉のつながりの把握
2	Stage1 Lesson4～6	文末表現、一文の図式化
3	Stage1 Lesson7～9	一文の要約、単文・複文の違い
4	Stage1 Lesson10～12	文末表現
5	Stage1 Lesson13～15	一分のキーワード
6	Stage2 Lesson16～18	文脈把握
7	Stage2 Lesson19～20	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握①
8	Stage2 Lesson21～22	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握②
9	Stage2 Lesson23～24	文章の論理構造の図式化
10	Stage2 Lesson25～27	長文要約、筋道を意識して文章を書く
11	Stage3 Lesson33	評論長文の論理構造①
12	Stage3 Lesson34	評論長文の論理構造②
13	Stage3 Lesson35	評論長文の論理構造③
14	Stage3 Lesson36	評論長文の論理構造④
15	Stage3 Lesson37	長文の要約

科目名	21FT/修学基礎		112
授業概要	学校での学生生活と専門学校での学び方から社会で活躍するマインド作り		担当教員 林
			開校時期 前期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	目標を明確化し、安心・信頼・尊敬される人物の育成と休むことなく、目標に向かって進む姿勢		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	各自の課題への取組姿勢	50 %
	2	出席率	50 %
	3		
	4		
	評価観点	学習への取組姿勢	
	特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	I年間の学習と学生生活での注意事項
2	マインドマップ作成①	自己紹介マップの作成方法とマップ図の作成
3	マインドマップ作成②	他者紹介とグープ活動
4	グループ活動①	課題：匠の里／一人づつが持っている情報から回答を見つける
5	グループ活動②	地域をグループで行動して、発表をする
6	勉強の方法①	勉強の意味・効率的な勉強に必要なことを学ぶ
7	勉強の方法②	集中するための環境づくり
8	勉強の方法③	スケジュールの立て方と便利なアプリケーションの活用
9	勉強の方法④	テキストの活用とメモ・ノートの取り方
10	企業からの出前授業	南大阪コンソーシアムより企業紹介により、企業の方から職業観や就業意識を培う
11	災害意識と対処を学ぶ	大阪市立阿倍野防災センター
12	専攻科説明	専攻科授業説明と質疑応答、これから進んでいく専攻クラス授業の理解をする
13	個人面談①	個人面談より学習相談・専攻相談を行う
14	個人面談②	個人面談より学習相談・専攻相談を行う
15	前期の振り返り	前期の振り返りから後期に向けた準備

科目名	21FT/修学基礎		113
授業概要	学校での学生生活と専門学校での学び方から社会で活躍するマインド作り		担当教員 林
			開校時期 前期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	目標を明確化し、安心・信頼・尊敬される人物の育成と休むことなく、目標に向かって進む姿勢		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	各自の課題への取組姿勢	50 %
	2	出席率	50 %
	3		
	4		
	評価観点	学習への取組姿勢	
	特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	I年間の学習と学生生活での注意事項
2	マインドマップ作成①	自己紹介マップの作成方法とマップ図の作成
3	マインドマップ作成②	他者紹介とグープ活動
4	グループ活動①	課題：匠の里／一人づつが持っている情報から回答を見つける
5	グループ活動②	地域をグループで行動して、発表をする
6	勉強の方法①	勉強の意味・効率的な勉強に必要なことを学ぶ
7	勉強の方法②	集中するための環境づくり
8	勉強の方法③	スケジュールの立て方と便利なアプリケーションの活用
9	勉強の方法④	テキストの活用とメモ・ノートの取り方
10	企業からの出前授業	南大阪コンソーシアムより企業紹介により、企業の方から職業観や就業意識を培う
11	災害意識と対処を学ぶ	大阪市立阿倍野防災センター
12	専攻科説明	専攻科授業説明と質疑応答、これから進んでいく専攻クラス授業の理解をする
13	個人面談①	個人面談より学習相談・専攻相談を行う
14	個人面談②	個人面談より学習相談・専攻相談を行う
15	前期の振り返り	前期の振り返りから後期に向けた準備

科目名	21FT/ティーチングアシスタント		115
授業概要	授業のアシスタント	担当教員	八木
		開校時期	前期
		単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻		
達成目標	下級生のフォローを行うことで、伝え方・コミュニケーション能力を向上させる		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 日報提出率80%以上：優、70%以上：良、60%以上：可	100 %
	2 ー	0 %
	3 ー	
	4 ー	
評価観点	日報の提出数	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ティーチングアシスト①	下級生への技術的フォロー
2	ティーチングアシスト②	下級生への技術的フォロー
3	ティーチングアシスト③	下級生への技術的フォロー
4	ティーチングアシスト④	下級生への技術的フォロー
5	ティーチングアシスト⑤	下級生への技術的フォロー
6	ティーチングアシスト⑥	下級生への技術的フォロー
7	ティーチングアシスト⑦	下級生への技術的フォロー
8	ティーチングアシスト⑧	下級生への技術的フォロー
9	ティーチングアシスト⑨	下級生への技術的フォロー
10	ティーチングアシスト⑩	下級生への技術的フォロー
11	ティーチングアシスト⑪	下級生への技術的フォロー
12	ティーチングアシスト⑫	下級生への技術的フォロー
13	ティーチングアシスト⑬	下級生への技術的フォロー
14	ティーチングアシスト⑭	下級生への技術的フォロー
15	ティーチングアシスト⑮	下級生への技術的フォロー

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21FT/HTML・CSS基礎		117
授業概要	基本操作とWeb初級・資格取得	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	1学年		
達成目標	基本知識を取得。達成感を実感する。		
前提条件	インターネットやWebデザインの興味		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	40 %
	2 理解度	40 %
	3 意欲/姿勢	20 %
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」課題や宿題の提出率・試験結果・姿勢と意欲	
特記事項	標準のサンプル構成を最後まで仕上げることができる。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己紹介/インターネットの基礎知識	ブラウザとは/キーボード操作/全角と半角
2	準備をしよう	ファイルとフォルダー/授業の進め方/
3	準備をしよう	ショートカットとは/テキストエディタ/特殊記号他
4	HTML基礎	セクションの構造化・段落と改行・重要な語句・注釈・著作権・リスト・仕切り線
5	HTML基礎	テーブル作成・フォームの仕組みと作成イメージ・マルチメディア(地図・動画)・画像やリンクのパス・ハイパーリ
6	自由課題	「わたしのすきな●●」自由テーマでHTMLでサイトを作る
7	CSS基礎1	CSSとは(役割とバージョン)/スタイルの設定/CSSの基本書式
8	CSS基礎1	CSSとHTMLを関連付ける/セレクタの種類
9	CSS基礎1	CSSプロパティ/フォントの設定 /行間設定/テキストカラーと背景色
10	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスの定義とスタイル
11	CSS基礎1	CSSプロパティ余白・ボーダー/シャドウ・角丸
12	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスのサイズと背景display要素
13	CSS基礎1	“CSSプロパティ/回りこみと解除要素の幅と高さ/クリアフィックス”
14	自由課題	「わたしのすきな●●」自由テーマでHTML+CSSでサイトを作る
15	HTML+CSS	全体構成基礎を復習

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21FT/コンピューターリテラシー		123	
授業概要	情報モラル、情報リテラシーの正しい知識の取得及び活用法		担当教員	林
			開校時期	前期
			単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	1年生			
達成目標	インターネットベーシックユーザーテストの合格レベルまでの知識の向上			
前提条件	高等学校の教科:情報の「社会と情報」、「情報の科学」の履修			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	60 %
	2	提出物	20 %
	3	取り組み方、意欲	10 %
	4	出席状況	10 %
評価観点	授業中の取り組む姿勢、提出物(ノート、論文2回)、テスト(ペーパー)の点数		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の提示
2	インターネットの基礎について	インターネット、LAN、IPの基礎知識の取得
3	論文作成	インターネット犯罪の危険性と対策について
4	論文発表	各学生による論文の発表
5	論文考察	インターネット犯罪の種類、トラブル、影響力など
6	インターネットのしくみ	スマートフォン、LAN、Wi-Fi、SSLなどのしくみの説明
7	コンピュータウイルス	コンピュータウイルスの種類、危険性
8	セキュリティ	コンピュータを守るためのセキュリティ
9	インターネットでの被害	詐欺、スパムメール、健康面への影響
10	論文作成	インターネット上の著作権侵害事件について
11	論文発表	各学生による論文の発表
12	論文考察	権利の種類やインターネット上での稀薄性について
13	インターネット関連の法規	インターネット犯罪を取り締まる組織、法律の種類
14	インターネット利用者のモラル	誹謗中傷、風評被害、個人情報の漏洩
15	テスト(ペーパー形式)	100点満点(100×60)

科目名	21FT/デザイン制作実習 I		131
授業概要	デザインを学んだ中で、各自がテーマを設け演習形式で自学自習を行う。		担当教員
			岩本
			開校時期
			前期
			単位数
			4
実務家教員としての授業科目等との関連		Webデザイナー	
対象学生			
達成目標	デザインのオペレーションが行えるようになること。		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	提出物	70 %
	2	取り組み姿勢	30 %
	3		
	4		
評価観点	各自が設定したテーマに対する制作物及び取り組み姿勢にて判定を行う。		
特記事項	提出物が無い場合は評価しない。		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の目的と概要の説明
2	テーマ設定	各自のテーマを設定する
3	演習1	テーマに沿った演習・提出
4	演習2	テーマに沿った演習・提出
5	演習3	テーマに沿った演習・提出
6	演習4	テーマに沿った演習・提出
7	演習5	テーマに沿った演習・提出
8	演習6	テーマに沿った演習・提出
9	演習7	テーマに沿った演習・提出
10	演習8	テーマに沿った演習・提出
11	演習9	テーマに沿った演習・提出
12	演習10	テーマに沿った演習・提出
13	演習11	テーマに沿った演習・提出
14	演習12	テーマに沿った演習・提出
15	総括	前期の総括を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21FT/ゲームプログラム実習C I		136
授業概要	プログラム実習	担当教員	長井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/ゲームプログラム実習D I		137
授業概要	基本操作とWeb初級・資格取得	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	1学年		
達成目標	基本知識を取得。達成感を実感する。		
前提条件	インターネットやWebデザインの興味		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	40 %
	2 理解度	40 %
	3 意欲/姿勢	20 %
	4	
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」課題や宿題の提出率・試験結果・姿勢と意欲	
特記事項	標準のサンプル構成を最後まで仕上げることができる。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己紹介/インターネットの基礎知識	ブラウザとは/キーボード操作/全角と半角
2	準備をしよう	ファイルとフォルダー/授業の進め方/
3	準備をしよう	ショートカットとは/テキストエディタ/特殊記号他
4	HTML基礎	セクションの構造化・段落と改行・重要な語句・注釈・著作権・リスト・仕切り線
5	HTML基礎	テーブル作成・フォームの仕組みと作成イメージ・マルチメディア(地図・動画)・画像やリンクのパス・ハイパーリ
6	自由課題	「わたしの好きな●●」自由テーマでHTMLでサイトを作る
7	CSS基礎1	CSSとは(役割とバージョン)/スタイルの設定/CSSの基本書式
8	CSS基礎1	CSSとHTMLを関連付ける/セレクタの種類
9	CSS基礎1	CSSプロパティ/フォントの設定 /行間設定/テキストカラーと背景色
10	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスの定義とスタイル
11	CSS基礎1	CSSプロパティ余白・ボーダー/シャドウ・角丸
12	CSS基礎1	CSSプロパティ/ボックスのサイズと背景display要素
13	CSS基礎1	“CSSプロパティ/回りこみと解除要素の幅と高さ/クリアフィックス”
14	自由課題	「わたしの好きな●●」自由テーマでHTML+CSSでサイトを作る
15	HTML+CSS	全体構成基礎を復習

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21FT/ゲームプログラム基礎 I		140
授業概要	WindowsAPIを用いて2Dゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野
			開校時期 前期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻ゲームプログラムコース 志望者		
達成目標	WindowsAPIを使用した2Dゲームの作成		
前提条件	C言語の履修状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	40 %
	3 授業態度	10 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、授業目標と成績のつけ方の説明、ウィンドウの作成
2	ノベルゲーム制作1	ウィンドウクラスの設定、プロシージャの作成
3	ノベルゲーム制作2	テキスト表示、「TextOut」と「DrawText」の比較
4	ノベルゲーム制作3	フォント作成、文字色の変更、文字背景を透明にする
5	ノベルゲーム制作4	メモリデバイスコンテキストの作成・解放、画像の読み込み～表示～解放
6	ノベルゲーム制作5	マウスクリックで画像の変更、キー入力で画像で画像の変更
7	ノベルゲーム制作6	シーン切替の作成、シーンごとの画像を追加
8	ノベルゲーム制作7	2拓の選択肢を表示、ストーリーを入れる
9	ノベルゲーム制作8	SEを再生、BGMを入れる、BGMにループのチェックを入れる
10	課題制作	課題制作
11	ノベルゲーム(改)制作1	関数化、画像の透過
12	ノベルゲーム(改)制作2	ウィンドウのサイズ調整、定数宣言、ヘッダーファイル
13	ノベルゲーム(改)制作3	スレッド対応とコードの移植1
14	ノベルゲーム(改)制作4	スレッド対応とコードの移植2
15	ノベルゲーム(改)制作5	スレッド対応とコードの移植3、複数CPUに対応する

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21FT/PC基礎		146
授業概要	情報活用試験3級の合格を目指し、初心者が得るべきコンピュータの前提基礎知識を得る。	担当教員	土井
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	情報活用試験3級合格(高校授業等での経験により、個別で2級合格を目指す場合もある)		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	50 %
	2 小テスト	20 %
	3 本番試験	30 %
	4	
評価観点	嬢業内での小テスト、本番試験合否、出席率にて、「優」「良」「可」とする。	
特記事項	本番試験不合格であっても授業内での取り組み姿勢、出席率は考慮とし評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	情報表現と処理手順	情報手段としてのパソコンの在り方とその使用法を理解する
2	パソコンの基礎	パソコンの基本構成とその取り扱いを理解する
3	インターネットの基礎	インターネットの基本的な仕組みを理解する
4	インターネットの利用	インターネットの利用方法を理解する
5	情報機器の基本操作	情報機器の基本操作及びアプリケーションソフトの利用方法を実践する
6	情報社会とコンピューター	生活とコンピューターの関わりを理解する
7	情報モラル	情報モラルを理解する
8	前半小テスト	今までの内容を小テストにて各自の理解度を確認する
9	経営戦略とシステム戦略	経営戦略とシステム戦略の基礎的知識について理解する
10	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントに関する基礎的知識について理解する
11	データ構造と情報表現	コンピューターにおける情報表現とデータ構造について理解する
12	問題解決処理手順	問題解決技法について理解する
13	本番試験に向けての復習ー1ー	各自の理解度に合わせて過去問題にて確認する
14	本番試験に向けての復習ー2ー	各自の理解度に合わせて過去問題にて確認する
15	後半小テスト	今までの内容を小テストにて各自の理解度を確認する

科目名	21FT/ゲームグラフィック実習B		150	
授業概要	復習をかねて、課題を制作・個別指導をする		担当教員	山田真歩
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標	各自の苦手を克服し、得意分野を伸ばす			
前提条件	3D・イラストの授業を受けていること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
3	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
4	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
5	3Dモデリング	ソフトの復習で身近なものをモデリングする
6	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
7	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
8	イラスト作成	好きなアニメ・漫画のイラストを模写し、着色を行う
9	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
10	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
11	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
12	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
13	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
14	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導
15	3D・イラスト	苦手な方を復習、個別課題・指導

科目名	21FT/3Dアニメーション実習 I		151
授業概要	アニメーション実習	担当教員	長井大輔
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アニメーション実習1	課題・個人作品の制作
2	アニメーション実習2	課題・個人作品の制作
3	アニメーション実習3	課題・個人作品の制作
4	アニメーション実習4	課題・個人作品の制作
5	アニメーション実習5	課題・個人作品の制作
6	アニメーション実習6	課題・個人作品の制作
7	アニメーション実習7	課題・個人作品の制作
8	アニメーション実習8	課題・個人作品の制作
9	アニメーション実習9	課題・個人作品の制作
10	アニメーション実習10	課題・個人作品の制作
11	アニメーション実習11	課題・個人作品の制作
12	アニメーション実習12	課題・個人作品の制作
13	アニメーション実習13	課題・個人作品の制作
14	アニメーション実習14	課題・個人作品の制作
15	アニメーション実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21FT/WordPress実践 I		152
授業概要	WordPressの操作と仕組みを構築の仕組みを体験する。		担当教員 岩本・中田ミ
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	デザインイラスト専攻2・3学年		
達成目標	仕組みを理解してオペレーションが行えるようになること。		
前提条件	WordPressのテーマについて構造を理解し、自分自身でカスタマイズできるようになる		
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 提出物	70 %
	2 取り組み姿勢	30 %
	3 4	
評価観点	制作物と授業に対する取り組み姿勢にて判定を行う。	
特記事項	提出物が無い場合は評価しない。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	WordPressのインストール、操作の体験	実際にWordPressのインストールを行い、実際にどんなことが出来るか学びオペレーションの体験を行う
3	演習1	WordPressの機能を使い記事の投稿、テーマの編集を体験する。
4	演習2	テーマ作成とファイルのアップロード
5	演習3	テーマに沿った演習
6	演習4	テーマに沿った演習
7	演習5	テーマに沿った演習
8	演習6	テーマに沿った演習
9	演習7	テーマに沿った演習
10	演習8	テーマに沿った演習
11	演習9	テーマに沿った演習
12	演習10	テーマに沿った演習
13	演習11	テーマに沿った演習
14	演習12	テーマに沿った演習・提出
15	総括	前期の総括を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21FT/卒業進級制作		168
授業概要	各自の目標を立てた資格に挑戦し、複数合格を得る。そして、就職内定獲得を目指す	担当教員	土井
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	各自に適した資格試験を複数合格し、内定を勝ち取る		
前提条件	特になし		
教室外学習	就職サポートセンターなどに出向く		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	60 %
	2	取組み姿勢	30 %
	3	助け合い	10 %
	4		
評価観点	出席率・取組み姿勢・助け合い		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	目標設定・仕事概要調査	各自の目指す資格内容を検討し、合わせて目標職業の調査
2	資格目標設定・就職目標発表	各自の目標設定を、お互いに発表し合い勉強方法なども考える
3	ITビジネスコース卒業進級制作①	各自の取組みを進める
4	ITビジネスコース卒業進級制作②	各自の取組みを進める
5	ITビジネスコース卒業進級制作③	各自の取組みを進める
6	ITビジネスコース卒業進級制作④	各自の取組みを進める
7	ITビジネスコース卒業進級制作⑤	各自の取組みを進める
8	中間発表	各自の現状を発表
9	ITビジネスコース卒業進級制作⑥	各自の取組みを進める
10	ITビジネスコース卒業進級制作⑦	各自の取組みを進める
11	ITビジネスコース卒業進級制作⑧	各自の取組みを進める
12	ITビジネスコース卒業進級制作⑨	各自の取組みを進める
13	ITビジネスコース卒業進級制作⑩	各自の取組みを進める
14	ITビジネスコース卒業進級制作⑪	各自の取組みを進める
15	最終審査	前期の仕上がりを確認する

科目名	21FT/就職活動実践		169
授業概要	初めて就職活動を予定している学生を対象とし、自己の強みを活かし、就職活動を計画的に行えるようになることを目指す	担当教員	土井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	仕事の意義について自身の意見を述べ、自分の価値観・強みを分析し、内定を勝ち取る事		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ディベート	20 %
	2	レポート	30 %
	3	出席率	50 %
	4		
	評価観点		ディベート・レポート・出席率
	特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	なぜ、働くのか？	就職にあたっての最も根本的な問いを、多面的に考え自分なりの答えを得る
2	就職活動とは	就職活動が、どのような流れで進み、どんなイベントがあるのか説明できるようになる
3	自分を知る	自己分析の方法・やり方が理解でき実践できる
4	相手を知る	業界内の業種を調査し、主にどのようなことを行なうのかを理解する
5	書類作成のポイント	採用の前半は書類審査になるため、書類で自己アピールできるようになる
6	面接とは①	直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる
7	面接とは②	面接での振る舞いと、必要な準備を理解し、実践できるようになる
8	ディベート	今まで学んで来た内容をまとめる意味で、グループに分かれ行なう
9	模擬面接とグループ面接演習①	事例研究を通じて、面接に対する理解を深める
10	模擬面接とグループ面接演習②	自分の模擬面接との比較などを通じて、面接対応のスキルアップをする
11	今後に向けて①	就職活動の全体像をふりかえったうえで、自らの活動計画を具体的に立てる
12	今後に向けて②	就職活動の全体像をふりかえったうえで、自らの活動計画を具体的に立てる
13	レポート作成	今まで学んできた内容をレポートとして作成する
14	次年度後輩に向けての資料作成①	自分たちの想い感じた事や失敗談なども含め、注意する点を資料としてまとめていく
15	次年度後輩に向けての資料作成②	自分たちの想い感じた事や失敗談なども含め、注意する点を資料としてまとめていく

科目名	21FT/資格対策 I		170
授業概要	日本情報処理検定協会主催の検定試験		担当教員 林
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	日本情報処理検定協会主催の検定試験2級以上の取得		
前提条件	Microsoftの各ソフトの操作		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出	60 %
	2	取り組み方	10 %
	3	意欲	10 %
	4	出席状況	20 %
評価観点	課題提出、授業中の取り組む姿勢		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の提示
2	Word①	検定試験模擬問題3級～2級
3	Word②	検定試験模擬問題準1級～1級
4	Excel①	検定試験模擬問題3級～2級
5	Excel②	検定試験模擬問題準1級～1級
6	PowerPoint①	検定試験模擬問題3級～2級
7	PowerPoint②	検定試験模擬問題1級
8	ホームページビルダー①	検定試験模擬問題3級～2級
9	ホームページビルダー②	検定試験模擬問題1級
10	Word模擬試験	模擬試験
11	Excel模擬試験	模擬試験
12	PowerPoint模擬試験	模擬試験
13	ホームページビルダー模擬試験	模擬試験
14	模擬試験総評	各種検定試験の受験級の決定
15	予備日(検定試験日)	予備日(検定試験日)

科目名	21FT/資格対策 I		171
授業概要	株式会社オデッセイコミュニケーションズ主催の検定試験		担当教員 土井
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	VBAエキスパート スタンダード クラウン合格		
前提条件	Excelが一般的に使用できる事		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	50 %
	2	取組み姿勢	30 %
	3	試験結果	20 %
	4		
評価観点	出席率・取組み姿勢・試験結果		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	試験概要・授業方法説明
2	Excelの復習①	セルの選択、入力のテクニック、表計算、書式設定、データ、数式のコピー
3	Excelの復習②	グラフの作成、グラフの種類変更、書式変更
4	数式と関数の活用①	IFの利用
5	数式と関数の活用②	エンジニアリング関数の利用
6	マクロ機能の利用	マクロとは、マクロ作成の流れ、マクロの保存、マクロの実行
7	Excel VBA①	VBエディタの使い方、コードの見方、ヘルプ機能の使い方
8	Excel VBA②	条件分岐処理
9	Excel VBA③	繰り返し処理
10	Excel VBA④	複数モジュールの使用法
11	Excel VBA⑤	ダイアログボックスの使用法
12	Excel VBA⑥	ユーザ定義関数の作成方法
13	総合演習①	試験対策
14	総合演習②	試験対策
15	総合演習③	試験対策

科目名	21FT/資格対策復習 I		172
授業概要	水曜日・金曜日の資格対策授業の内容を、各自で復習する		担当教員 土井
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業 科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	自分が目指している資格合格を目指していく		
前提条件	水曜日・金曜日の資格対策授業を受講している		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	30 %
	2	取組み姿勢	70 %
	3		
	4		
	評価観点	出席率・取組み姿勢	
	特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習①	各自の試験対策の復習を行なう
2	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習②	各自の試験対策の復習を行なう
3	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習③	各自の試験対策の復習を行なう
4	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習④	各自の試験対策の復習を行なう
5	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑤	各自の試験対策の復習を行なう
6	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑥	各自の試験対策の復習を行なう
7	各種試験の受験	個人により試験内容が異なる
8	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑦	各自の試験対策の復習を行なう
9	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑧	各自の試験対策の復習を行なう
10	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑨	各自の試験対策の復習を行なう
11	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑩	各自の試験対策の復習を行なう
12	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑪	各自の試験対策の復習を行なう
13	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑫	各自の試験対策の復習を行なう
14	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑬	各自の試験対策の復習を行なう
15	各種試験の受験	個人により試験内容が異なる

科目名	21FT/就職活動 I		173
授業概要	インターンシップの参加への意識づけや就職活動の計画作成を目的とする	担当教員	土井
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	就職内定を得る		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	就活計画プランの提出	50 %
	2	出席率	30 %
	3	課題提出	20 %
	4		
評価観点	就活計画プランの提出、出席率、レポート等の課題提出		
特記事項	特になし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	就職環境について	今の就職環境を知り、今後どう就活の進め方について学ぶ
2	自己PRについて	自己分析の重要性を学ぶ
3	就活サポートサイトの使い方について	就活サポートサイトの使い方について学ぶ
4	インターンシップの重要性について	インターンシップ説明会の回り方のポイントを学ぶ
5	インターンシップに向けて①	インターンシップの企業の探し方や エントリー方法・エントリーシートを知り、まずは書いてみる
6	インターンシップに向けて②	エントリーシートの書き方を学ぶ
7	学内インターンシップセミナー①	複数企業のインターンシップ実施の意義や、内容説明を受ける
8	学内インターンシップセミナー②	複数企業のインターンシップ実施の意義や、内容説明を受ける
9	在学生によるインターンシップ体験談	実際にインターンシップに参加した学生から体験談を聞き、計画プランに活かす
10	就活計画プランの作成①	就活の戦略を立て方を知り、計画プランの作成①
11	就活計画プランの作成②	就活の戦略を立て方を知り、計画プランの作成②
12	就職活動での筆記試験について	筆記試験の種類、対策について学ぶ
13	インターンシップ先でのマナーについて	インターンシップに向け、マナー等について学ぶ
14	自己分析ブラッシュアップについて	自己分析のブラッシュアップを行う
15	レポート作成	授業を振り返り、レポート作成を行なう

科目名	21FT/Programming Assistant I		174
授業概要	1年生を対象としたプログラム授業の補佐を行う		担当教員 中野 敦史
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 1年生に積極的に関わっているか、きっちり授業補助を行っているか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	授業アシスト1	プログラム授業の補佐
2	授業アシスト2	プログラム授業の補佐
3	授業アシスト3	プログラム授業の補佐
4	授業アシスト4	プログラム授業の補佐
5	授業アシスト5	プログラム授業の補佐
6	授業アシスト6	プログラム授業の補佐
7	授業アシスト7	プログラム授業の補佐
8	授業アシスト8	プログラム授業の補佐
9	授業アシスト9	プログラム授業の補佐
10	授業アシスト10	プログラム授業の補佐
11	授業アシスト11	プログラム授業の補佐
12	授業アシスト12	プログラム授業の補佐
13	授業アシスト13	プログラム授業の補佐
14	授業アシスト14	プログラム授業の補佐
15	授業アシスト15	プログラム授業の補佐

科目名	21FT/就職試験対策 I		176
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21FT/就職試験対策 I		177
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21FT/就職試験対策 I		178
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21FT/就職試験対策 I		179
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21FT/就職活動実践 I		180
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21FT/就職活動実践 I		181
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21FT/就職活動実践 I		182
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21FT/英語Ⅲ		184
授業概要	(1) 英語の歌(Bob Dylan, Simon and Garfunkel等)で英語の単語、表現、文化等を解説する。(2) 言語の基本的な概念を和洋書から抜粋した読み物で解説する。	担当教員	泉谷
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	(1) 歌詞の背後にある文化や言葉遣いに慣れる。(2) 言語の基本を学ぶ。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と筆記試験	60 %
	2 出席点	40 %
	3 4	
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、51点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	基本的には授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英語の歌と歌詞について、言語の基本構造について
2	歌1: Simon and Garfunkel、言語学一般 (general linguistics)	Sound(s) of silence、言語について
3	歌2: Simon and Garfunkel、言語音	母音と子音 (vowels and consonants)
4	歌3: Simon and Garfunkel、音声学 (phonetics)	April come she will、発声場所と方法 (manner of articulation, stops, affricates)
5	歌4: Simon and Garfunkel、音韻論 (phonology)	Wednesday morning 3 A.M.、音声 (phone) と音素 (phoneme)
6	歌5: Simon and Garfunkel、音韻論 (phonology)	Leave that are green、音韻規則
7	歌6: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	I am a rock、接辞
8	歌7: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Bleeker street、音素と形態素
9	歌8: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Sparrow、語形成
10	歌9: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Homeward bound、語形成
11	歌10: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	A poem on the underground wall、語の内部構造
12	歌11: Bob Dylan、形態論 (morphology)	Like a rolling stone、音声との関連
13	歌12: Bob Dylan、言語の源 (Origins of language)	Desolation row、言語発祥の諸起源説
14	歌13: Bob Dylan、言語と脳 (language and the brain)	A simple twist of fate、脳の言語分野
15	歌14: Bob Dylan、言語獲得 (language acquisition)	If you see her, say hello、第1言語習得の過程

科目名	21FT/英語Ⅲ		185
授業概要	英字新聞(CNN,BBC, New York Times, JapanTimes等)のネット記事で時事英語を読む。	担当教員	泉谷
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	日々変化する日本よ世界の動向を英語記事を読むことで世界の時流を理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と貢献度、日常テスト	80 %
	2 不定期テスト	20 %
	3 4	
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、52点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	(1)次の授業で行なう資料を前もって配布するが、授業内容は事前に決められない。(2)達成度を確認する為に定期的に筆記試験を行なうが、基本的には授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英語の新聞記事についての概要説明
2	TBA(To Be Announced):Lesson1	
3	TBA(To Be Announced):Lesson2	
4	TBA(To Be Announced):Lesson3	
5	TBA(To Be Announced):Lesson4	
6	TBA(To Be Announced):Lesson5	
7	TBA(To Be Announced):Lesson6	
8	TBA(To Be Announced):Lesson7	復習テスト/学期中の授業内の理解度
9	TBA(To Be Announced):Lesson8	
10	TBA(To Be Announced):Lesson9	
11	TBA(To Be Announced):Lesson10	
12	TBA(To Be Announced):Lesson11	
13	TBA(To Be Announced):Lesson12	
14	TBA(To Be Announced):Lesson13	
15	TBA(To Be Announced):Lesson14	復習テスト/学期中の授業内の理解度

科目名	21FT/英語Ⅲ		186
授業概要	TOEICの過去問題を解く。		担当教員 泉谷
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	高得点を取ることを目指す。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と貢献度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、53点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英単語の基本的な学習の仕方と態度について
2	TBA(To Be Announced) : Lesson1	
3	TBA(To Be Announced) : Lesson2	
4	TBA(To Be Announced) : Lesson3	
5	TBA(To Be Announced) : Lesson4	
6	TBA(To Be Announced) : Lesson5	
7	TBA(To Be Announced) : Lesson6	
8	TBA(To Be Announced) : Lesson7	復習テスト/学期中の授業内の理解度
9	TBA(To Be Announced) : Lesson8	
10	TBA(To Be Announced) : Lesson9	
11	TBA(To Be Announced) : Lesson10	
12	TBA(To Be Announced) : Lesson11	
13	TBA(To Be Announced) : Lesson12	
14	TBA(To Be Announced) : Lesson13	
15	TBA(To Be Announced) : Lesson14	復習テスト/学期中の授業内の理解度

科目名	21FT/英語Ⅲ		187	
授業概要	TOIEC受験に向けて、必要な単語と熟語の習得		担当教員	吉田尚子
			開校時期	前期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	大学編優受験希望者			
達成目標	(1)単語を一つでも多く覚える (2)hearingできるための正しい発音の会得			
前提条件	なし			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席点	40 %
	2	授業への取り組み姿勢・単語テスト	60 %
	3		
	4		
評価観点	出席点(40点)、授業への取り組み姿勢と単語テストの結果(60点)総合点で判断		
特記事項			

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	DAY1-5	授業の進め方確認／名詞
2	DAY6-10	名詞
3	DAY11-15	動詞
4	DAY16-20	動詞・形容詞
5	DAY21-25	形容詞・名詞
6	DAY26-30	名詞
7	DAY31-35	名詞・動詞
8	DAY36-40	動詞・形容詞
9	DAY41-45	形容詞・副詞
10	DAY46-50	副詞・前置詞・動詞句
11	DAY51-55	動詞句
12	DAY56-60	動詞句
13	DAY61-65	動詞句・形容詞句・副詞句
14	DAY66-70	群前置詞・群接続詞・数量表現・文の熟語
15	DAY1-70まとめテスト	覚えた単語すべて

科目名	21/FT英語Ⅲ		188
授業概要	TOIECに出題される文章の読解力とその文法を学び、英訳・和訳の力をつける。		担当教員 吉田尚子
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入を目指す		
達成目標	(1)文法を理解する (2)多様な文章を読む		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席評価	40 %
	2	授業への取り組み姿勢・口頭テスト・筆記テスト	60 %
	3 4		
評価観点	出席点(40点)、授業への取り組み姿勢、口頭テスト、筆記テスト(60点)総合点で判断		
特記事項	出席点		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Script1 基本文型、Script2 文の要素	第5文系、品詞、句、節
2	Script3 基本文型と主格補語	主語の種類、目的語の種類
3	Script4 目的格補語と基本時制	目的格補語(第5文型)、現在・過去・未来
4	Script5 完了形	現在完了形、過去完了形、未来完了
5	Script6 助動詞	助動詞の種類と性質
6	Script7 態	脳動態と受動態、受動態と文型
7	Script8 不定詞	不定詞の種類と形
8	Script9 分詞	分詞の形容詞的用法、分詞構文
9	Script10 動名詞、Script11 慣用句	動名詞の基本的用法と慣用的表現
10	Script12 関係詞	関係代名詞、関係副詞など
11	Script13 比較	原級・比較級・最上級
12	Script14 仮定法	仮定法とその基本形式
13	Script15 語法	動詞句・形容詞句・副詞句時制の一致、直接語法と関係節語法など
14	Script16 数の一致	主語と動詞の数の一致
15	Script17 否定構文	否定表現、部分否定、二重否定、否定を表す慣用表現

科目名	21FT/英語Ⅲ		189
授業概要	TOIECで高得点を取るためのListeningとReadingのコツをつかむ。過去問題を使用して、定時間で解答できるよう繰り返し行う。	担当教員	吉田
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入を目指す		
達成目標	TOIEC750点以上		
前提条件	TOIEC750点以上を目指す意欲があること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席点	40 %
	2	授業への取り組み姿勢	60 %
	3		
	4		
評価観点	出席点(40点)、授業への取り組み姿勢(60点)総合点で判断		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	WEEK1 DAY1-5	Listening & Reading
2	WEEK2 DAY1-5	Listening & Reading
3	WEEK1,WEEK2復習	Listening & Reading
4	WEEK3 DAY1-5	Listening & Reading
5	WEEK4 DAY1-5	Listening & Reading
6	WEEK3,WEEK4復習	Listening & Reading
7	WEEK4 DAY1-5	Listening & Reading
8	WEEK5 DAY1-5	Listening & Reading
9	WEEK4,WEEK5復習	Listening & Reading
10	WEEK6 DAY1-5	Listening & Reading
11	WEEK7 DAY1-5	Listening & Reading
12	WEEK6,WEEK7復習	Listening & Reading
13	WEEK8 DAY1-5	Listening & Reading
14	WEEK8復習	Listening & Reading
15	WEEK1-WEEK8ランダムにテスト	Listening & Reading

科目名	21FT/経済経営学Ⅲ		190
授業概要	大学1・2年生レベルのミクロ経済学およびマクロ経済学の習熟、大学編入試験の、主に論述試験に対する解答力の養成	担当教員	下村智則
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験希望者		
達成目標	大学編入試験の合格		
前提条件	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎が修得できていること		
教室外学習	教科書に付随している配信動画の視聴、月一回開催されるオンラインゼミへの参加		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取組実績	75 %
	2	オンラインゼミへの取組実績	25 %
	3		
	4		
評価観点	授業への取組実績：各授業に対して5点を配分(全15回の授業で合計75点)、オンラインゼミへの取組実績：各ゼミに対して5点を配分(全5回のゼミで合計25点)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	マクロ経済学の攻略①	「市場経済と計画経済」、「国民所得の三面等価の原則」、「インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ」、「均衡予算
2	マクロ経済学の攻略②	「ビルト・イン・スタビライザー」、「利率の決定」、「貨幣乗数」
3	マクロ経済学の攻略③	「財政政策(45度線分析との違い)」、「金融政策と財政政策」、「IS-LM分析」
4	マクロ経済学の攻略④	「平成不況時の金融政策の効果」、「公定歩合のアナウンスメント効果のLMへの影響」、「IS、LMの傾きと財政
5	ミクロ経済学の攻略①	「無差別曲線の基本」、「代替効果と所得効果」、「課税の効果」、「需要法則とその例外」
6	ミクロ経済学の攻略②	「需要の価格弾力性」、「労働供給」、「貯蓄(異時点間での消費)」、「完全競争市場の長期均衡」
7	ミクロ経済学の攻略③	「独占」、「クールノー複占」、「屈折需要曲線」
8	ミクロ経済学の攻略④	「寡占(総合)」、「完全競争、独占、独占的競争および寡占」、「蜘蛛の巣理論」
9	マクロ経済学の攻略[中上級編]①	「外国為替レートの決定(購買力平価説)」、「ISバランス論と経常収支黒字の国際的意義」、「IS-LM-BP分析」
10	マクロ経済学の攻略[中上級編]②	「対外環境変化の影響」、「生産要素需要量の決定」、「財政政策の効果(AD-AS分析)」、「金融政策の効果
11	マクロ経済学の攻略[中上級編]③	「インフレーション」、「マクロ消費理論」、「投資理論」、「景気循環理論」
12	マクロ経済学の攻略[中上級編]④	「自然失業率仮説」、「公債発行による財政政策の効果」、「財政再建の影響」
13	ミクロ経済学の攻略[中上級編]①	「市場の限界と政府の役割」、「費用逓減産業」、「公共財」
14	ミクロ経済学の攻略[中上級編]②	「外部不経済」、「コースの定理」、「外部不経済(地球環境問題)」
15	ミクロ経済学の攻略[中上級編]③	「情報の不完全性」、「比較生産費説」、「関税の効果」

科目名	21FT/卒業進級制作		191
授業概要	年間の卒業制作発表のための作品制作	担当教員	山田
		開校時期	前期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	グローバルITコース2年生以上		
達成目標	グループワークや、企画立案、プレゼンテーションなど就職に必要となる力を身に付ける		
前提条件	なし		
教室外学習	作日制作で資料集めに適宜あり		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 最終審査に合格する事	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	出席率80%以上で、中間発表合格と作品への取組	
特記事項	インターシップ等の正当な理由で作品制作を免除する事がある	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	企画とチーム編成	学生同士で話し合ってチーム編成を行う
2	企画の立案	グループで話し合って政策内容を具体化する
3	企画案の具体化	パワーポイント資料作成
4	発表準備	プレゼンテーションの練習
5	中間発表	中間発表とフィードバック
6	制作	作品制作をチームで行う
7	制作	作品制作をチームで行う
8	制作	作品制作をチームで行う
9	制作	作品制作をチームで行う
10	制作	作品制作をチームで行う
11	制作	作品制作をチームで行う
12	制作	作品制作をチームで行う
13	制作	作品制作をチームで行う
14	制作	作品制作をチームで行う
15	制作	作品制作をチームで行う

科目名	21FT/入門線形代数		192
授業概要	数ベクトル空間の定義、行列の概念の導入、線型写像・部分空間の種々の性質をみる。	担当教員	石原崇子
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	線型写像、線型空間についての理解を深め、行列の様々な演算能力を習得する。		
前提条件	高校までの数学の知識・計算を復習しておくこと		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取り組み意欲	40 %
	2	授業中に実施する演習	30 %
	3	提出課題の点数	30 %
	4		
評価観点	授業への取り組み意欲、授業中に実施する演習、提出課題の点数、を基に成績を評価する		
特記事項	特になし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	数ベクトル空間	これからの授業における基礎事項の解説をする。その後数ベクトルや数ベクトル空間について解説する。
2	行列	行列がどういうものか定義し、行列の和や積演算について解説する。
3	連立1次方程式の解法	連立1次方程式の加減法による解法を復習し、その後、これを行列を使って見直し、掃き出し法によって解く
4	階数	連立1次方程式の行列による解法を整理し、行基本変形、列基本変形、そして階段行列を定義する。さらに行
5	置換	行列式を定義するにあたって、必要な準備として、置換について解説する。
6	行列式	二次や三次の正方向行列の行列式の定義、求め方からはじめ、一般の場合について解説する。
7	行列式の性質	前回で定義した行列式のもつ種々の性質について学び、また行列式の特色づけを行う。
8	行列式の展開	行列式を列や行で展開する方法を学び、幾つかの性質を理解する。これを用いて、逆行列の求め方を学び、さ
9	独立と従属	幾つかのベクトルを使って他のベクトルを書き表す、線型結合について学ぶ。また線型独立や線型従属の意
10	部分空間	数ベクトル空間の部分集合で、部分空間とよばれるものの定義をし、いろいろな部分空間を見ていく。さらに
11	線型写像	数ベクトル空間から数ベクトル空間への線型写像を定義し、行列がどのように関わっているかを学ぶ。また線
12	次元	行列の階数と基本変形との関連について、より一般的に解説する。次に空間の大きさを測る次元を定義す
13	基底の変換	線型空間の標準基底が与えられた時、基底を変えることによって、与えられたベクトルの成分表示がどのよ第
14	固有値と固有ベクトル	固有値や固有ベクトルを定義し、その意味について解説する。またケーリー・ハミルトンの定理を解説する。
15	行列の対角化	行列が対角化される条件を考える。固有値と固有ベクトルを使って、基底の変換を行い、線型写像の行列表示

科目名	21FT/憲法学と宗教 I		193
授業概要	日本国憲法についての基礎知識を講義する。特に昭和憲法の生まれた背景を通じて、日本国憲法の問題の箇所を見出し、憲法と、法と法律の違い、および憲法の解釈について学ぶ。	担当教員	理事長
		開校時期	前期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験希望者		
達成目標	日本社会の現状に対して問題意識を持ち、各自で評価が得られるようにする。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 レポート提出	40 %
	2 出席率	60 %
	3 4	
評価観点	レポート内容と出席率により総合的に評価する。レポート提出:10点、内容が良い:20点、意見が反映されている:30点、内容が特別良い:40点	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	昭和憲法が生まれた背景	東京国際軍事裁判から考えさせる
2	憲法の意味	法と法律と憲法の違いを認識する
3	基本的人権の保障	人権の歴史を振り返る
4	信仰の自由	仏教およびキリスト教文化にみる宗教の役割
5	生存権と社会保障制度	社会保障と生存権を考えさせる
6	権利と義務	憲法第3章の問題点を考える
7	刑罰と憲法	刑事手続きについて考える
8	国会と立法権	国会が唯一の立法機関であることの意味
9	議院内閣制	議院内閣制と大統領制を考える
10	裁判所と司法権	三権分立を考える
11	違憲立法審査制	過去の違憲判決を見る
12	地方自治	憲法による地方自治の保障
13	平和主義	憲法前文と第9条を考える
14	憲法改正	進まない憲法改正の問題点を学ぶ
15	国民主権	昭和憲法と明治憲法の違いを考える

科目名	21FT/入門微分積分		194	
授業概要	解析学の基礎としての微分積分学の基本的な考え方や方法を学ぶ。		担当教員	石原崇子
			開校時期	前期
			単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	大学編入受験者			
達成目標	極限の厳密な定義をはじめ、解析学の様々な定理を理解し、簡単な関数において計算を行えるようにする。			
前提条件	高校までの数学の知識・計算を復習しておくこと			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取り組み意欲	40 %
	2	授業中に実施する演習	30 %
	3	提出課題の点数	30 %
	4		
評価観点	授業への取り組み意欲、授業中に実施する演習、提出課題の点数、を基に成績を評価する		
特記事項	特になし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	実数・数列	微分積分学を学ぶにあたり、その基本的な概念を学習する。登場する用語や記号に慣れることを目標とする。
2	関数	関数とは何かを理解し、極限や連続性を学習する。最大値・最小値の命題や、中間値の定理を理解し応用で
3	単調関数・逆関数	関数の性質を理解し、単調性や周期性を学ぶ。また、逆関数が存在する条件を把握できるようにする。理解
4	導関数	関数の極限を復習し、微分可能性、導関数の定義をする。図形的な意味を把握できるようになる。具体的な関
5	微分法の基本公式	微分法についての一般的な基本公式を学ぶ。更に、各論的な諸公式と併せて、具体的な関数の導関数を計
6	曲線の概形	微分法の応用として、関数の増減を調べ、極値を求められるようになる。更に、増減表から曲線の概形を描く
7	平均値の定理の応用	高階導関数を求める方法を紹介する。また、平均値の定理の意味を理解し、近似値、テーラー展開へと発展
8	不定形の極限	関数の振る舞いを学習する。不定形を理解し、微分法の応用としてロピタルの定理やテイラー展開を用いて
9	不定積分	微分法の逆演算として、不定積分を導入する。導関数と原始関数の関係や積分定数の意味を理解する。ま
10	積分法の基本公式	積分法についての一般的な基本公式を学ぶ。更に、各論的な諸公式と併せて、具体的な関数の不定積分を
11	定積分と面積	定積分を定義し、面積との関係を学ぶ。微積分学基本定理の意味を理解する。具体的な関数について、グラ
12	広義積分	連続でない関数や積分区間が有限でない場合の広い意味での定積分を取り扱う。ガンマ関数など広義積分
13	体積・曲線の長さ	定積分の応用として、体積や曲線の長さを求める方法を学習する。また、具体的な問題を通して理解が進む
14	級数	基本的な数列の学習からはじめ、一般の数列の和を取り、更に、無限項加えるときの状況を考察する。級数の
15	整級数・関数の表現	関数を項に持つ級数の収束・発散を学習する。更に、関数が級数で表現される範囲について学ぶ。級数や

科目名	21FT/現代日本の政治		195
授業概要	現代日本で同時代の現象として展開している政治のあり方を、その基本構造にまで目を向けつつ解説するのが講義の目的である。経済・社会あるいは国際環境の変化によって生じつつある政治の変化にも十分な注意を払い、歴史や国際比較の観点も一部に盛り込んで、豊富な事例を用いて現代日本の政治を具体的に解き明かすことを	担当教員	下村
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	現代日本政治に即して、政治学の基本的な概念と方法を学ぶことによって、政治学と現代日本に関わる基本的な知識を身につけるとともに、現代日本において有権者として生活するための基本		
前提条件			
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席状況、取組姿勢	60 %
	2 レポート評価	40 %
	3	
	4	
評価観点	レポート提出:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、51点以上「可」。取り組み方:真面目に授業を受ける態度として問題ないか、学習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	現代日本政治を見る視点	講義のはじめに、現代日本政治の対象について説明するとともに、政治学の特質と、本講義の基本的な方針
2	議院内閣制の展開	日本政治の制度的な背景について、大きな見取り図を描くことを目的とする。政治制度としての議院内閣制
3	内閣と首相	日本政治の中核をしめる執政部、すなわち内閣総理大臣と内閣の実態と機能について、大統領制や他の議
4	政治と行政:中央省庁と官僚制	執政部を支える行政機関と、それを担う官僚の日本的なあり方について、具体的な事例も取り上げつつ、歴
5	国会と与野党関係	日本の議会である国会について、二院制や委員会制などの制度の意味を解き明かしつつ、そこで展開される
6	政党システムと選挙制度	政党システム(一党優位性、二大政党制、穏健多党制など)が、選挙制度とどのように関係しているのかを理
7	政党組織と選挙運動	政党とは何かを明らかにする政党組織論を手がかりに、日本の政党の特質を明らかにするとともに、日本
8	社会集団の政治的役割	社会における政策的要求を政治に伝える仕組みとして業界団体などの利益団体が、政党や官僚制と関係を
9	政治報道とメディアの変貌	一般の有権者は、これまで大手報道機関などによる報道を通じて、政治の実態に触れていたが、そのあり方
10	政党政治からの独立	民主政治においては、全ての政府機関が民主的にコントロールされているわけではない。皇室、司法府、法執
11	地方政治:首長と議会	中央政府に関するものばかりが政治なのではなく、地方自治体においても政治活動は展開されている。自治
12	中央・地方関係の展開	中央政府と、地方自治体との関係が中央・地方関係であるが、この関係は行政サービスの提供過程であると
13	外交・安全保障と政治指導	外交は、政治の最も重要な機能の一つであるが、通常政治とは区別された側面を持っている。第二次大戦
14	経済・社会の変化と政治	福祉国家の成長とともに、政治と経済は切り離せなくなり、経済は大きな政治問題となってきた。そこで、経済
15	市民と政治:政治的統合と政治参加	政治は社会を基盤として、個々の有権者の意欲によって支えられている。これまでの議論を振り返り、有権者

科目名	21FT/中国語 I		196
授業概要	平易な会話文を題材としながら、現代中国語の基礎を学習する。講義では発音・基礎的語彙・基本的文法事項をバランスよく学習できるよう心がけている。	担当教員	下村
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	現代中国語の発音の習得と、平易な現代中国語文の正確な読解。		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	60 %
	2 授業への取組	40 %
	3 4	
評価観点	取り組み方:真面目に授業を受ける態度として問題ないか、学習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	「中国語」を学ぶ	I. 中国語概説 普通話、ピンインと声調記号、簡体字 II. 発音(1)声調(四声、第3声の変調、轻声の発音)、
2	歓迎します	I. 発音(2)二重母音、三重母音 II. 動詞述語文 III. その他のポイント人称代名詞
3	人がとても多いです	I. 発音(3)子音(1) II. 形容詞述語文 III. その他のポイント指示詞(1)[人/事物]、否定の副詞“不”
4	何を飲みますか	I. 発音(4)子音(2) II. 疑問文正反疑問文、疑問詞疑問文、選択疑問文
5	私たちと行きましょう	I. 発音(5)鼻音を伴う母音、r化の発音 II. 命令・疑問を表す語気助詞当否疑問文に用いられる“&#21527;”、
6	家族に会いたい	I. アスペクト及びび心的態度を表す語気助詞の練習 II. その他のポイント指示詞(3)[程度]、指示詞(4)[性]
7	私たちの学校	I. 名詞句の構造数量詞からなる名詞句、代名詞からなる名詞句、名詞が直接結びつく名詞句、“的”を用い
8	課外活動	I. 動詞接尾辞完了を表す“了”、経験を表す“&#36807;”、持続を表す“着”
9	アルバイト	I. 動詞句の構造“的”構文、動作量の表現、動詞の重ね型、二重目的語構文
10	Wechat	I. 能願動詞可能性を表す能願動詞(1)、願望を表す能願動詞、必要を表す能願動詞、可能性を表す能願動
11	歌舞伎演舞	I. 現象描写存在動詞“有”、方位詞、存現文 II. その他のポイント名詞述語文(1)、疑問詞の不定称用法
12	渋谷に行ってみたい	I. 連動構造連動文、“有”を用いる連動文、兼語文
13	パンダと一緒に写真を撮りたい	I. 連用修飾構造(1)場所・時間を導く前置詞、動作・行為に関与する人や事物を導く前置詞、道具を導く前
14	東京スカイツリー	I. 連用修飾構造(2)副詞の用法、連用修飾語を作る“地”、時間詞
15	日本料理	I. 動補構造様態補語(1)、結果補語、方向補語

科目名	21FT/デザイン実習		197
授業概要	デザインの基礎を学んだ中で、各自がテーマを設け演習形式で自学自習を行う。		担当教員 岩本
			開校時期 前期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生			
達成目標	デザインのオペレーションが行えるようになること。		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 提出物	70 %
	2 取り組み姿勢	30 %
	3	
	4	
評価観点	各自が設定したテーマに対する制作物及び取り組み姿勢にて判定を行う。	
特記事項	提出物が無い場合は評価しない。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の目的と概要の説明
2	テーマ設定	各自のテーマを設定する
3	演習1	テーマに沿った演習・提出
4	演習2	テーマに沿った演習・提出
5	演習3	テーマに沿った演習・提出
6	演習4	テーマに沿った演習・提出
7	演習5	テーマに沿った演習・提出
8	演習6	テーマに沿った演習・提出
9	演習7	テーマに沿った演習・提出
10	演習8	テーマに沿った演習・提出
11	演習9	テーマに沿った演習・提出
12	演習10	テーマに沿った演習・提出
13	演習11	テーマに沿った演習・提出
14	演習12	テーマに沿った演習・提出
15	総括	前期の総括を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/中国語Ⅱ		200
授業概要	エッセイ等を題材としながら、「中国語Ⅰ」に引き続いて現代中国語の基礎を学習する。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	現代中国語の発音の定着と、現代中国語文の正確な読解。		
前提条件	中国Ⅰを受講		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取組姿勢、グループワーク	60 %
	2 出席	40 %
	3	
	4	
評価観点	授業への取組	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	林海音「東陽、子供時代、ラクダチーム」(1)	結果補語、量詞の重ね型
2	林海音「東陽、子供時代、ラクダチーム」(2)	方向補語
3	林海音「東陽、子供時代、ラクダチーム」(3)	使役構文、“把”構文
4	林海音「東陽、子供時代、ラクダチーム」(4)	指示詞の接続機能、形容詞の重ね型
5	「クロストーク、電話」(1)	連動文、方位詞
6	「クロストーク、電話」(2)	語気助詞“&#21602;”、二重主語文
7	「クロストーク、電話」(3)	属性詞、語気助詞“了”
8	「クロストーク、電話」(4)	連動文、主述目的語
9	北島「銭おばさん」(1)	場面設定
10	北島「銭おばさん」(2)	比較の表現、受け身構文
11	北島「銭おばさん」(3)	連動文
12	北島「銭おばさん」(4)	様態補語、全体指示
13	北島「銭おばさん」(5)	名詞述語文
14	北島「銭おばさん」(6)	接続
15	北島「銭おばさん」(7)	全体指示

科目名	21ST/グローバル経済史		201
授業概要	近年盛んに行われているグローバル経済史をめぐる議論の論点とそれらに関わる重要な題材をテーマに、15世紀から現在に至る大きな経済の流れを学ぶ。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	15世紀以来の世界経済の流れと、それに関わる主要な商品や地域開発の状況や経済動向に至る大きな経済の流れを学ぶ。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1	
	2	
	3	
	4	
評価観点		
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	グローバル経済史入門－世界の構造変動をめぐって－	アジアの発展を注視しながらグローバルな歴史を再構築しようという動きから、グローバル経済史では、何が
2	アジアとヨーロッパ－経済発展の国際比較－	グローバル経済史の中で、とりわけ重要な争点となっているのは、アジアとヨーロッパとの関係、および両者の
3	銀と大航海時代	15世紀末の「大航海時代」の幕開けを起点と考えることができる。この時期を境に、「旧大陸」に加えて、「新大
4	近世グローバル経済と日本	17世紀には、オランダやイギリスなどが大西洋貿易や東インドの貿易に本格的に参入し始めた。そのなかで
5	アジア経済とイギリス産業革命	17世紀以降のヨーロッパとアジアとの経済的なつながりは、主にインド産綿布とそれへの対価としての金銀地
6	世界商品の登場	世界商品の登場
7	長期の18世紀と呼ばれる時期には、世界各地で砂糖やコーヒー、茶といった商品生産が開始された。これ	開発と人口
8	世界経済の一体化が進行する中で、ヨーロッパとアジアとの関係は、ヨーロッパによるアジア地域の直接・	グローバル経済の緊密化
9	19世紀にはグローバル経済がより密接につながるようになった。とくに蒸気船の発達、電信網といったイン	開発の進行と人の移動
10	グローバル・エコノミーの緊密化が進む中で、開発が世界規模で進み、大きな人口増加が見られた。経済	国際金融と金本位制
11	グローバル経済の深化とライフスタイル	産業革命以後、世界の人々のライフスタイルは次第に変化した。時間を基準にした労働システムは、人々の時
12	エネルギー	グローバル社会が利用するエネルギーは時代の変遷とともに変化してきた。化石燃料としては、かつては泥
13	経済発展の多径路性	欧米の経済成長のテンポが鈍化し、アジア諸地域の経済成長が注目される中で、発展径路の複数性が議論
14	20世紀後半の展開	20世紀半ばから、世界の経済構造は方向転換し始めるが、その契機となったのはアジア・アフリカ地域の独立
15	リオリエントへの展望	970年代以後の世界経済の流れを概観する。石油ショック後、現在に至るグローバル経済は、社会主義経済体

科目名	21ST/運動と健康		202
授業概要	新型コロナウイルスにより、家庭学習が増え運動不足に増えており、健康づくりのための身体活動・運動の意義について理解を深める。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	すべての学生		
達成目標	普段からの運動・スポーツを計画できに身に付けることを目指す。		
前提条件	なし		
教室外学習	校外にて実践をおこなう。運動できる服装が望ましい。大阪8低山めぐりや、講師を招き講和を行う		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取組姿勢	70 %
	2 体験学習後のレポート評価	30 %
	3	
	4	
評価観点		
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	骨格筋の構造と働き	歩く、走るなどのなかで、運動に携わる骨格筋の基本的な構造とその動きについて理解する
2	神経系の構造と働き	神経系の構造と機能および運動にたいする神経系の役割などについて理解する
3	呼吸系の構造と働き	
4	校外学習①	普段の歩く姿勢をより意識して、身体構造を体験する
5	運動と栄養	栄養は運動・スポーツの効果を高めるために重要な要素であり、運動からの疲労回復に対する栄養の役割に
6	運動と外的要因	高温や低温、水中時における運動時の生理学的応答や適応について理解する
7	運動と内的要因	運動効果が内的要因としての、遺伝がスポーツパフォーマンスに及ぼす影響について理解する
8	運動とエネルギー代謝	生命活動の直接的なエネルギーであるアデノシン三リン酸の合成経路、およびエネルギー供給系について理
9	運動と発育・発達	運動遊びを含む運動・スポーツ環境は子どもの成長にどのような影響を及ぼしているのか、子どもの健全な発
10	校外学習②	普段の歩く姿勢をより意識して、身体構造を体験する
11	トレーニング概論①	トレーニングの原理・原則、およびトレーニング実施上の注意点について理解する
12	トレーニング概論②	トレーニングは目的に応じて適切なトレーニング計画が必要であり、体力要素別に各種トレーニングについて理
13	鍼灸整体から知る体のしくみ①	
14	鍼灸整体から知る体のしくみ②	
15	学習のまとめ	安全に身体活動を実施する上での留意点をまとめる

科目名	21ST/現代の会計		203
授業概要	一般教養としての「会計学」の基礎を幅広く学び、営利目的の曾木式である企業のみならず様々な経済主体の会計について、「投資家や債権者、消費者、住民など」会計情報利用者の立場から体系的に学ぶ。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験生		
達成目標	一般教養として会計の知識を習得することを目標とする。日商簿記3級合格を目指す。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取組姿勢	80 %
	2 出席およびレポート提出	20 %
	3	
	4	
評価観点	授業への取組姿勢(インターネットを活用して社会に目を向け意識を持つ)	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	身近な「会計」	会計の意味を検討する中で、会計により作成される情報が、社会でどのように役割を果たしているかwにつ
2	会計の基礎	記録対象の属性をどのように捉えているのか、また誰の立場で会計を行うのかについて学ぶ。
3	企業会計の目的	企業会計の目的と機能を検討し、会計情報の利用者が外部であるか内部であるか、財務会計と管理会計領域
4	複式簿記と財務諸表の構成要素	会計情報として作成される財務諸表がどのように作成されるかを複式簿記の仕組みを通して学ぶ。
5	企業会計に関わる法規制	企業会計の代表的な法律として、「金融商品取引法」と「会社法、法人税法」をそれぞれの会計上の意味などに
6	企業会計の基準と国際的対応	会計情報を作成するための「企業会計原則」や企業暑気準、さらに諸基準の基盤となる概念フレームワークに
7	損益計算と資産・負債の関係	企業の業績(損益)を把、握する観点として2つのアプローチを学習し、複式簿記の仕組みの理解を踏まえ
8	収益・費用と資産・負債の計算基準	収益と費用の計算基準(認識と測定)と資産と負債の計算基準(貸借対照表能力と評価)について学習し、収益・
9	金融商品に関わる取引	金銭債権・債務や有価証券、デリバティブ取引を取り上げて、その会計処理を学習する。
10	棚卸資産に関わる取引	販売目的で保有される商品や製品、製品製造のために使用される原材料の棚卸資産を取り上げ、その会計
11	固定資産に関わる取引	長期にわたって企業に保有ないしは利用される資産(設備や建物、土地の有形固定資産や特許権や商標権な
12	引当金・純資産に関わる取引	負債に含まれる引当金に関する会計処理から様々な引当金について学ぶ。
13	政府会計制度	財務法などの法律の枠内で行われる国や地方公共団体の会計について学ぶ。
14	政府会計の新たな動向	行政サービスを行う資金負担について、新たな政府会計のあり方や新たな財務表の作成など、問題点などに
15	学習振り返りとレポート作成	今までの学習を振り返りディスカッションを行いまとめのレポートを作成する。

科目名	21ST/計算の科学と手引き		204
授業概要	「計算」というキーワードで広く学習する中で、様々な種類の計算について、その表し方や計算方法について調べる。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入を目指す学生		
達成目標	計算の概念とその性質と理解し、具体的な問題解決に際して可能な限り広く応用できる力を身につける。		
前提条件	特にないが、興味を持った意識が高い事		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1	
	2	
	3	
	4	
評価観点		
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	人間の活動と数の表し方	人間の活動の中に現れる数の概念について俯瞰する。
2	二進法・ビット・整数の計算	コンピュータの動作を説明する際に不可欠な二進法を始めとする記数法と取り上げ、固定長表現や、桁あふ
3	計算のしかけ	「計算」とは何かについてを、四則演算を観点からとらえ直して理解する。
4	数の性質と計算	情報伝達の誤りを検知する手法や簡単な暗号、クレジットカードのなどの暗号のしくみを題材に学ぶ。
5	絵と音を計算する	コンピュータは文章や数値データだけでなく、画像や音声、動画を表現することもできる。計算によってどのよう
6	おはなしコンピュータ	コンピュータが計算を行う基本的なしくみについて学ぶ。
7	コンピュータにおける式と手順	コンピュータ上で式を記述し、それを「手順化」しプログラムすることを学ぶ。
8	アルゴリズム	アルゴリズムの定義とその表現方法を身近なテーマを交えて学ぶ。
9	計算手順に則した処理の手間に基づく	
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	21ST/経営情報学入門		205
授業概要	デジタル化の進展により情報技術が目覚ましく発展を遂げている現在、改めて情報技術と人間関係との関りが問われている。情報技術は企業祖意識の成長の原動力として、有効な情報利活用について理論的・実践的学習する。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験生		
達成目標	企業組織が、情報技術と情報自身をどのように経営に有効活用するのかについて学習する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 学習への取組姿勢と事前資料作成ノート	70 %
	2 出席評価	30 %
	3	
	4	
評価観点	予習と復習、昨今の社会情勢に興味を持つこと	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	経営情報学とは	経営の視点から、人と技術(情報技術)による経営情報学の概要と基本的な枠組み、研究の方法論について理
2	組織と情報処理	組織がどのように情報を処理しているのか、組織と環境とは明確な境界で区分されるものではなく、環境を自ら
3	組織の意思決定と問題解決	問題解決及び意思決定の概念とそのプロセスについて学び、情報システムの重症性について理解する。
4	問題解決とシステム思考	経営における問題解決に有用なシステム思考について理解する。
5	組織のコミュニケーション	組織のコミュニケーションを検討する際に不可欠な理論や概念について学習する。
6	組織における知識の創造と活用	①なぜ知識の創造と活用が課題となってきたのか ②どうすれば知識の創造と活用を促進できるかと学習する。
7	経営情報システムの基礎	組織が行っているビジネス取引のモノとお金の情報との流れを調整する働きをしていることを理解する。
8	経営情報システムの進展	主に日本ではリーン生産方式が生まれ、それらの仕組みと違いを学習する。
9	経営情報システムの開発と管理	企画、構築、運用するために必要となる知識と考え方を理解し、一連のプロセスと情報化投資をする際の評価
10	経営情報におけるサイバーセキュリティ	近年、サイバーセキュリティの重要性が高まる中、リスクを抑えるためのガイドラインが公的機関等によって提
11	経営戦略と情報活用	ICTの発達に伴い企業における情報活用がどのように変化してきたのかについて経営戦略との関係について学
12	ネットビジネスの展開	ネットビジネスとは、情報ネットワークの登場とその利用拡大によって誕生した新しいビジネスの形態であり、今
13	情報活用と社会	人々のコミュニケーション環境の場がマスメディアからパーソナルメディアへと拡大するなど、この四半世紀の
14	人と技術の融合	今日の巨大な社会技術複合体としてのネットワーク社会が我々の生活や働き方産業の構造にどのような影響
15	経営情報入門総括	各回を振り返り、経営情報学入門の総まとめを行う。

科目名	21ST/経営学		206
授業概要	大学1・2年生レベルの経営学		担当教員 下村
			開校時期 後期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	大学編優試験の合格		
前提条件	経済学の基礎知識があれば望ましい		
教室外学習	計二回開催されるオンラインゼミへの参加		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取組実績	90 %
	2	オンラインゼミへの取組実績	10 %
	3		
	4		
	評価観点		
	特記事項	1.授業への取組実績:各授業に対して6点を配分(全15回の授業で合計90点);以下の3つの項目による評価(内訳は括弧内);①授業のための事前学習を行っているか(2点)、②(学校内での議論にお	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	経営学と企業の特徴①	「現代社会と経営学—経営学を学ぶ意義」、「経営学とその位置づけ」
2	経営学と企業の特徴②	「企業の特徴」「企業の分類」
3	経営学と企業の特徴③	「株式会社の特徴と仕組み」
4	経営理論の流れ①	「経営学の発生」
5	経営理論の流れ②	「テイラーと科学的管理法」、「ヘンリー・フォードとフォードイズム」
6	経営理論の流れ③	「ファヨールの管理過程論」、「メイヨーと人間関係論」
7	経営理論の流れ④	「行動科学と結合理論」
8	経営理論の流れ⑤	「近代管理論からコンティンジョンシー理論へ」
9	経営組織の特徴と理論①	「組織とは何か」
10	経営組織の特徴と理論②	「基本的な組織形態」、「さまざまな組織形態」
11	個別の管理論および経営論①	「経営戦略論」
12	個別の管理論および経営論②	「人事管理論とリーダーシップ論」
13	個別の管理論及び経営論③	「マーケティング論」
14	個別の管理論および経営論④	「生産管理論」、「財務管理論」
15	個別の管理論および経営論⑤	「日本的経営論」、「現代社会と企業」

科目名	21ST/ミクロ・マクロ経済学		207
授業概要	学部初中級レベルのミクロ経済学およびマクロ経済学における難易度の高い論点やその発展的な内容について理解を深める	担当教員	下村
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	大学編入試験の合格		
前提条件	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎が修得できること		
教室外学習	計2回開催されるオンラインゼミへの参加		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取組実績	90 %
	2	オンラインゼミへの取組実績	10 %
	3 4		
評価観点	1. 授業への取組実績:各授業に対して6点を配分(全15回の授業で合計90点);以下の3つの項目による評価(内訳は括弧内):①授業のための事前学習を行っているか(2点)、②(授業内での議論において自らの考えを述べるなど)授業に積極的に参加しているか(3点)、③授業内容を理解するための事後学習を行っているか(1点) 2. オンラインゼミへの取組実績		
特記事項			

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	財政①	「財政の機能」、「公債の負担」
2	財政②	「公債の市中消化と中央銀行引受け」、「負の所得税」
3	財務③	「投票のパラドクス」、「費用使益」
4	インフレーション①	「インフレーションの定義・種類・経済効果」、「インフレーションの原因」
5	インフレーション②	「IAD-IAS分析の概要」、「インフレ需要(IAD)曲線」
6	インフレーション③	「期待を考慮したフィリップス曲線」、「インフレ供給(IAS)曲線」
7	インフレーション④	「経済政策の効果(マネタリスト)」、「経済政策の効果(合理的期待形成学派)」
8	経済成長①	「ハロッド＝ドーマー理論と新古典派成長理論」、「経済成長の要因(成長会計)」
9	経済成長②	「ソロー＝スワンモデル(新古典派の成長理論)」、「内生的成長論」
10	厚生経済学	「ピグーの3命題」、「パレート最適」
11	ゲーム理論①	「フォークの定理」、「展開型ゲーム」、「混合戦略」
12	ゲーム理論②	「シュタッケルベルグ均衡」、「ベルトラン均衡」
13	その他の論点①	「国民所得の決定(ISモデル)」、「金利平価説」
14	その他の論点②	「UV分析」、「在庫循環図」
15	その他の論点③	「規模の経済と範囲の経済」、「ポリシーミックス」

科目名	21ST/宗教Ⅱ		208
授業概要	近代社会はキリスト教の価値観を基礎に構築されている。本講義では、これを肯定するかどうかを問うのではなく、キリスト教について知っておくことによって、世界を理解するのに役立つと考える立場で講義する。しかしながら、そのキリスト教に基づいた近代社会は、今、大きな曲がり角に来ている。そこでキリスト教と対極をなす仏教の思想	担当教員	理事長
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	ブッタの足跡と追い、キリスト教の思想を理解する		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	50 %
	2	レポート内容	50 %
	3		
	4		
評価観点	授業の中で、議論をした後に感想文を書く。		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進み方について、教材の説明およびディスカッション
2	釈迦族とブッタの前世	ブッタが生まれた社会を考察する
3	この世に生まれる	膨大な戒律がなぜ生まれたのか
4	悟りへの道	縁起とは
5	遍歴と布教	膨大な戒律がなぜ生まれたのか
6	仏弟子たち1	比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷とは
7	仏弟子たち2	比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷とは
8	最後の旅と入滅1	自灯明 法灯明とは
9	最後の旅と入滅2	自灯明 法灯明とは
10	一神教を理解する	原罪とは何か
11	イエスキリストとは何か1	ふしぎの核心
12	いかに西洋をつくったか	自然科学の誕生
13	プロレゴメナ	神学と哲学の違い創造論
14	神論	紙をどう語るか
15	キリスト論	イエスキリストは本当にいたのか

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		209
授業概要	年間の進級制作発表のための作品制作構想と検証を行う		担当教員
			山田
			開校時期
			後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入クラス生		
達成目標	作品発表を行う		
前提条件	なし		
教室外学習	必要に応じて資料集め等校外学習あり		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	50 %
	2 課題への取組等	50 %
	3	
	4	
評価観点	授業への主体的姿勢、課題への取組と出席率で総合的に評価します。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、発表方法など過去の事例を紹介
2	制作	制作をチームで行う
3	制作	制作をチームで行う
4	制作	制作をチームで行う
5	制作	制作をチームで行う
6	制作	制作をチームで行う
7	制作	制作をチームで行う
8	制作	制作をチームで行う
9	制作	制作をチームで行う
10	制作	制作をチームで行う
11	制作	制作をチームで行う
12	制作	制作をチームで行う
13	制作	制作をチームで行う
14	発表会準備	発表会の練習と確認
15	発表会準備	発表会の練習と準備

科目名	21ST/英語リーディング		210
授業概要	(1) 英語の歌(Bob Dylan, Simon and Garfunkel等)で英語の単語、表現、文化等を解説する。(2) 言語の基本的な概念を和洋書から抜粋した読み物で解説する。	担当教員	泉谷
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	(1) 歌詞の背後にある文化や言葉遣いに慣れる。(2) 言語の基本を学ぶ。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と貢献度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、51点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	基本的には授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英語の歌と歌詞について、言語の基本構造について
2	歌1: Simon and Garfunkel、言語学一般 (general linguistics)	Sound(s) of silence、言語について
3	歌2: Simon and Garfunkel、言語音	母音と子音 (vowels and consonants)
4	歌3: Simon and Garfunkel、音声学 (phonetics)	April come she will、発声場所と方法 (manner of articulation, stops, affricates)
5	歌4: Simon and Garfunkel、音韻論 (phonology)	Wednesday morning 3 A.M.、音声 (phone) と音素 (phoneme)
6	歌5: Simon and Garfunkel、音韻論 (phonology)	Leave that are green、音韻規則
7	歌6: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	I am a rock、接辞
8	歌7: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Bleeker street、音素と形態素
9	歌8: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Sparrow、語形成
10	歌9: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	Homeward bound、語形成
11	歌10: Simon and Garfunkel、形態論 (morphology)	A poem on the underground wall、語の内部構造
12	歌11: Bob Dylan、形態論 (morphology)	Like a rolling stone、音声との関連
13	歌12: Bob Dylan、言語の源 (Origins of language)	Desolation row、言語発祥の諸起源説
14	歌13: Bob Dylan、言語と脳 (language and the brain)	A simple twist of fate、脳の言語分野
15	歌14: Bob Dylan、言語獲得 (language acquisition)	If you see her, say hello、第1言語習得の過程

科目名	21ST/英語コミュニケーション1		211
授業概要	英字新聞(CNN,BBC, New York Times, JapanTimes等)のネット記事で時事英語を読む。	担当教員	泉谷
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	日々変化する日本よ世界の動向を英語記事を読むことで世界の時流を理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と貢献度	80 %
	2 不定期テスト	20 %
	3 4	
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、52点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	(1)次の授業で行なう資料を前もって配布するが、授業内容は事前に決められない。(2)達成度を確認する為に不定期的に筆記試験を行なうが、基本的には授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英語の新聞記事についての概要説明
2	TBA(To Be Announced):後に発表	
3	TBA(To Be Announced):後に発表	
4	TBA(To Be Announced):後に発表	
5	TBA(To Be Announced):後に発表	
6	TBA(To Be Announced):後に発表	
7	TBA(To Be Announced):後に発表	
8	TBA(To Be Announced):後に発表	
9	TBA(To Be Announced):後に発表	
10	TBA(To Be Announced):後に発表	
11	TBA(To Be Announced):後に発表	
12	TBA(To Be Announced):後に発表	
13	TBA(To Be Announced):後に発表	
14	TBA(To Be Announced):後に発表	
15	TBA(To Be Announced):後に発表	

科目名	21ST/英語コミュニケーション2		212
授業概要	TOEICの過去問題を解く。		担当教員 泉谷
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	高得点を取ることを目指す。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業の準備と貢献度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度と貢献度及び筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、65点以上「良」、53点以上「可」。取り組み方:予習をしっかりと授業を受ける準備が充分にあるか、積極的に質問や分からない点を指摘して、積極的に授業に貢献しているか。	
特記事項	授業での積極的貢献度で評価する。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、英単語の基本的な学習の仕方と態度について
2	TBA(To Be Announced):後に発表	
3	TBA(To Be Announced):後に発表	
4	TBA(To Be Announced):後に発表	
5	TBA(To Be Announced):後に発表	
6	TBA(To Be Announced):後に発表	
7	TBA(To Be Announced):後に発表	
8	TBA(To Be Announced):後に発表	
9	TBA(To Be Announced):後に発表	
10	TBA(To Be Announced):後に発表	
11	TBA(To Be Announced):後に発表	
12	TBA(To Be Announced):後に発表	
13	TBA(To Be Announced):後に発表	
14	TBA(To Be Announced):後に発表	
15	TBA(To Be Announced):後に発表	

科目名	21ST/英語リーディング		213
授業概要	TOIEC受験に向けて、必要な単語と熟語の習得	担当教員	吉田
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	(1)単語を一つでも多く覚える (2)hearingできるための正しい発音の会得		
前提条件	TOIEC受験者		
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取り組み姿勢と単語テストの結果総合点で判断	60 %
	2 出席	40 %
	3 4	
評価観点	出席点・授業への取り組み姿勢・単語テスト	
特記事項	出席点(40点)、授業への取り組み姿勢と単語テストの結果(60点)総合点で判断	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	DAY1-5	名詞
2	DAY6-10	名詞
3	DAY11-15	動詞
4	DAY16-20	動詞・形容詞
5	DAY21-25	形容詞・名詞
6	DAY26-30	名詞
7	DAY31-35	名詞・動詞
8	DAY36-40	動詞・形容詞
9	DAY41-45	形容詞・副詞
10	DAY46-50	副詞・前置詞・動詞句
11	DAY51-55	動詞句
12	DAY56-60	動詞句
13	DAY61-65	動詞句・形容詞句・副詞句
14	DAY66-70	群前置詞・群接続詞・数量表現・文の熟語
15	DAY1-70まとめテスト	覚えた単語すべて

科目名	21ST/英語コミュニケーション1		214
授業概要	TOIECに出題される文章の読解力とその文法を学び、英訳・和訳の力をつける。	担当教員	吉田
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	(1)文法を理解する (2)多様な文章を読む		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取り組み姿勢、口頭テスト、筆記テスト(60点)総合点で判断	60 %
	2 出席点(40点)	40 %
	3	
	4	
評価観点	出席点・授業への取り組み姿勢・口頭テスト・筆記テスト	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Script1 基本文型、Script2 文の要素	第5文系、品詞、句、節
2	Script3 基本文型と主格補語	主語の種類、目的語の種類
3	Script4 目的格補語と基本時制	目的格補語(第5文型)、現在・過去・未来
4	Script5 完了形	現在完了形、過去完了形、未来完了
5	Script6 助動詞	助動詞の種類と性質
6	Script7 態	脳動態と受動態、受動態と文型
7	Script8 不定詞	不定詞の種類と形
8	Script9 分詞	分詞の形容詞的用法、分詞構文
9	Script10 動名詞、Script11 慣用句	動名詞の基本的用法と慣用的表現
10	Script12 関係詞	関係代名詞、関係副詞など
11	Script13 比較	原級・比較級・最上級
12	Script14 仮定法	仮定法とその基本形式
13	Script15 話法	時制の一致、直接話法と間接話法など
14	Script16 数の一致	主語と動詞の数の一致
15	Script17 否定構文	覚えた単語すべて肯定表現、部分否定、二重否定、否定を表す慣用表現

科目名	21ST/英語コミュニケーション2		215
授業概要	TOIECで高得点を取るためのListeningとReadingのコツをつかむ。過去問題を使用し、定時間で解答できるよう繰り返し行う。	担当教員	吉田
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	TOIEC750点以上		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取り組み姿勢(60点)総合点で判断	60 %
	2	出席点(40点)	40 %
	3		
	4		
	評価観点	出席点・授業への取り組み姿勢	
	特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	WEEK1 DAY1-5	Listening & Reading
2	WEEK2 DAY1-5	Listening & Reading
3	WEEK1,WEEK2復習	Listening & Reading
4	WEEK3 DAY1-5	Listening & Reading
5	WEEK4 DAY1-5	Listening & Reading
6	WEEK3,WEEK4復習	Listening & Reading
7	WEEK4 DAY1-5	Listening & Reading
8	WEEK5 DAY1-5	Listening & Reading
9	WEEK4,WEEK5復習	Listening & Reading
10	WEEK6 DAY1-5	Listening & Reading
11	WEEK7 DAY1-5	Listening & Reading
12	WEEK6,WEEK7復習	WEEK6,WEEK7復習
13	WEEK8 DAY1-5	Listening & Reading
14	WEEK8復習	Listening & Reading
15	WEEK1-WEEK8ランダムにテスト	Listening & Reading

科目名	21ST/自然言語処理		216
授業概要	近年のコンピュータおよびコンピュータネットワークの進展とともに自然言語処理技術は劇的に進展し、ウェブサーチ、対話システム、機械翻訳などの応用システムが日常に浸透しはじめており、その背後にある自然言語処理の仕組みについて学ぶ	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	0
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	自然言語の性質、自然言語をコンピュータで処理するアルゴリズム、難しさ等を理解し、ウェブサーチや機械翻訳などの自然言語処理の応用システムを健全に利活用する能力を身につける。		
前提条件	計算機科学および確率統計の入門的科目を履修していることが望ましい。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取組実績、出席	70 %
	2 レポート提出を内容評価	30 %
	3	
	4	
評価観点	授業への取組と、予習復習ノート	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自然言語処理の概要と歴史	言語の働きと特徴を整理し、自然言語処理の歴史を概観する。
2	文字列・テキスト処理の基礎	コンピュータで自然言語を扱う上での基礎的事項として、文字コードのきまり、文字列の辞書式順序、文字列文を単語に分割し、各単語の品詞、活用形などを求める形態素解析の方法を理解し、ラティス構造による文コーパス構築の概要と意義、コーパス活用事例として言語モデル、さらに、分類問題としての自然言語処理の
3	系列の解析1	隠れマルコフモデル(HMM)による品詞タグ付け、さらに、機械学習に基づく系列ラベリングとしての品詞タグ
4	コーパスに基づく自然言語処理	語の意味をどのように定義するか、また、辞書やソースラスにおける意味の定義について学習する。
5	系列の解析2	表現形式である依存構造表現と句構造表現、また、構文のコンピュータ処理の基礎となる文脈自由文法および構文的曖昧性の解消の手がかりを整理した後、機械学習に基づく構文解析の代表的な手法であるグラフに
6	意味の解析1	文の意味表現として、述語を中心とした述語項構造を考え、述語と項の関係として格や意味役割を考える。
7	構文の解析1	あるまとまった情報や意図は文章として表現される。文章には、語句の間の照応関係や節・文の間の談話関
8	構文の解析2	テキストからの情報抽出および知識獲得について学習する。
9	意味の解析2	情報検索の基礎である転置インデックス、語の重要度の計算、情報検索の評価尺度について学習する。
10	文脈の解析	音声認識・合成技術の成熟、自然言語処理技術の向上、携帯端末などの普及により、人間と自由に対話す
11	情報抽出と知識獲得	ウェブの出現やグローバル化の進展にともない機械翻訳への期待がますます高まっている。近年の、コーパ
12	情報検索	自然言語処理の基本解析のまとめと問題点の整理を行い、今後の改善について議論する。
13	対話システム	
14	機械翻訳	
15	まとめレポート作成	

科目名	21ST/ソフトウェア工学		217
授業概要	ソフトウェア開発を工学的に行うためのプロセス、手法、品質、生産性、管理と制御、進化に関する技術を学ぶ。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	ソフトウェア開発において生ずる様々な問題を理解し、それらの問題を解決するための技術を説明できるようになる。		
前提条件	「データ構造とプログラミング」「アルゴリズムとプログラミング」理解している事が望ましい。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	授業への取組実績、出席率	70 %
	2	授業レポート	30 %
	3 4		
評価観点	社会が求めるソフトウェアの特徴と今後の課題について説明できるようになる。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ソフトウェア工学と情報社会	情報技術の発展と共に、ソフトウェア工学が変化してきた。その変遷の理由を知る。
2	ソフトウェアの品質	ソフトウェアの品質を国際標準に準拠して紹介する。
3	開発プロセス	ソフトウェア開発のプロセスに焦点を当て、ソフトウェアのライフサイクルと共に、プロセスモデルの変遷についてデータの流れと静的な構造の表現を学習する。
4	ソフトウェアの要求と仕様化	
5	データの流れと静的な構造の表現	モデルとモデル化について解説する。
6	動的振舞いとその表現	制御の流れや相互作用が複雑なシステムの挙動を、動的振舞いによって把握することができる。
7	設計技術と再利用	ソフトウェアの設計の基本的な考え方について解説する。
8	ソフトウェア・アーキテクチャ設計	ソフトウェアの特性を決定づけるソフトウェア・アーキテクチャの設計や評価について解説する。
9	形式手法	形式手法は数理論理に基づくソフトウェア開発の方法である。
10	モデル検査	モデル検査法はソフトウェアの正しさ確認を自動化する有力な手段である。
11	ソフトウェアのテスト技術	ソフトウェアをテストするための技法を解説し、その上で関連する理論やツールを紹介する。
12	ソフトウェアの品質と定量的尺度	ソフトウェアの品質を定量的に把握するための技術を解説し、品質を評価・予測するための数理モデルや関連ソフトウェアのライフサイクルの最初のフェーズとしての、開発計画策定と見積もりの方法について学習する。
13	ソフトウェア開発計画と見積もり	
14	プロジェクトマネジメント	ソフトウェア開発プロジェクトを遂行中の管理技術とそこで用いられるツールを解説する。
15	長期の運用と保守・発展	ソフトウェアを運用するに当たって、ソフトウェアは様々な改編を行う

科目名	21ST/微分方程式		218
授業概要	微分方程式の解の意味の理解を促し、基本的な線形微分方程式を主な題材に、線形代数学、積分変換論など、様々な数学的な角度から考察していく。	担当教員	石原崇子
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	微分方程式の解の存在、初等関数で記述できる一般解を得られる微分方程式の解法、2階までの微分方程式を通して、微分方程式の基礎を理解すること。		
前提条件	履修済みである入門線型代数・入門微分積分の内容を理解していること。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取り組み意欲	40 %
	2 授業中に実施する演習	30 %
	3 提出課題の点数	30 %
	4	
評価観点	授業への取り組み意欲、授業中に実施する演習、提出課題の点数、を基に成績を評価する。	
特記事項	特になし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	微分方程式総論	微分方程式の解の意味、微分方程式を解くとはどういうことかを理解する。解法に必要な微分積分学・線形代
2	変数分離系	求積可能な1階の微分方程式として最も基本的な変数分離形常微分方程式を学習する。解法に必要な微分
3	1階線形微分方程式	定数変化法を用いて1階線形方程式を解く公式を導出する。1階線形方程式に帰着されるベルヌーイの方程
4	完全微分方程式	微分形式で表現された微分方程式を学習する。完全微分方程式の解法を理解する。必要に応じて、偏微分法
5	数理モデル	自然現象や社会現象を数理的に表現する方法としての微分方程式を学習する。具体例を通して、微分方程式
6	高階線形微分方程式	高階線形微分方程式についての概論を述べる。一般論として、微分作用素、関数の1次独立性などを学習す
7	2階線形微分方程式	2階線形微分方程式の基本性質を理解する。ここでは、ある形の2階線形微分方程式の一般解の求め方とし
8	定数係数線形微分方程式	定数係数線形微分方程式の一般解について説明する。まず、2階の場合から学習し、特性方程式の使い方
9	連立線形微分方程式	連立線形微分方程式と高階線形微分方程式の関係を解説する。線形代数と関数行列の復習をし、微分方程
10	級数解法	線形微分方程式の級数解法を学ぶ。整級数を用いた関数の局所的表現方法や収束判定法を復習する。2階
11	ラプラス変換	広義積分を復習し、ラプラス変換を定義する。具体的な例を考察しながら、ラプラス変換の基本性質を説明す
12	フーリエ級数	三角関数を復習し、フーリエ係数の求め方を学習する。フーリエの定理を理解し、関数をフーリエ級数で表すこ
13	線形偏微分方程式	偏微分方程式の一般論について学習する。1階および2階の線形偏微分方程式の解法を紹介する。重ね合わ
14	積分変換の応用	代表的な積分変換であるラプラス変換、フーリエ変換を学習する。フーリエ級数からフーリエ積分へと発展さ
15	解の存在定理	正規形の常微分方程式の解の存在定理や解の一意性定理について学習する。準備として、一様収束やリプ

科目名	21ST/データ構造とプログラミング		219
授業概要	計算機科学において重要な“データ構造”と“プログラミング”について学習する。基本的なデータ構造の例として、配列、スタック、キュー、連結リスト、双方向連結リスト、環状連結リスト、バイナリサーチツリー、平衡木、ハッシュテーブル、ヒープ、グラフ等について学習する。	担当教員	山田
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	大学編入受験者		
達成目標	データ構造の基礎について学ぶ。		
前提条件	初歩的なプログラミング(変数、データ型、演算、条件分岐、繰り返し処理、関数、ファイル等)について		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業への取組実績	70 %
	2 出席	30 %
	3	
	4	
評価観点	授業への取組姿勢、予習復習ノートのチェック	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	配列	基本的な配列の仕組みと構造について学習する。
2	スタック	基本的なデータ構造であるスタックの仕組みについて学習する。
3	キュー	基本的なデータ構造であるキューの仕組みについて学習する。
4	連結リスト	連結リストの仕組みについて学習する。連結リストに対するデータの探索、挿入、削除等の基本的な操作について
5	連結リストの応用	連結リストを用いたスタックとキューのデータ構造の実装例について学習する。
6	バイナリサーチツリー	ツリー構造とツリーに関する用語について学ぶ。
7	バイナリサーチツリーの操作	バイナリサーチツリーに対する基本的な操作として、ノードの探索、ノードの挿入、ノードの削除について学
8	ツリーの応用	バイナリサーチツリーに対する基本的な操作として、ノードの探索、ノードの挿入、ノードの削除、ツリーの走
9	ハッシュテーブルとオープンアドレス法	ハッシュ法はデータの数に関係なく定数計算量で、データの探索、挿入、削除を行うことができる最速の手法を
10	ハッシュテーブルと連鎖法	ハッシュ法はデータの数に関係なく定数計算量で、データの探索、挿入、削除を行うことができる最速の手法で
11	再帰	再帰プログラムは自分自身を繰り返し呼び出し、そのたびに異なる引数を渡していく。この回では、再帰の仕組み
12	ソートング	バブルソート、選択ソート、挿入ソートなどの基本的なソートングのアルゴリズムについて学び、これらのア
13	ソートングの応用	高速なソートングの例として、クイックソート、マージソートについて学習する。クイックソートやマージソート
14	ヒープ	ヒープはツリーの種類であり、ノードの挿入と削除を高速に行うことができる。この回ではヒープの基本的な仕
15	グラフ	グラフのデータ構造について学習する。グラフに関する用語と意味、そして、コンピュータにおけるグラフの表

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		220
授業概要			担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 10
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻学生		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、積極的に制作に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	卒業進級制作1	卒業進級制作の作業
2	卒業進級制作2	卒業進級制作の作業
3	卒業進級制作3	卒業進級制作の作業
4	卒業進級制作4	卒業進級制作の作業
5	卒業進級制作5	卒業進級制作の作業
6	卒業進級制作6	卒業進級制作の作業
7	卒業進級制作7	卒業進級制作の作業
8	卒業進級制作8	卒業進級制作の作業
9	卒業進級制作9	卒業進級制作の作業
10	卒業進級制作10	卒業進級制作の作業
11	卒業進級制作11	卒業進級制作の作業
12	卒業進級制作12	卒業進級制作の作業
13	卒業進級制作13	卒業進級制作の作業
14	卒業進級制作14	卒業進級制作の作業
15	卒業進級制作15	卒業進級制作の作業

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/発想力トレーニングⅡ		221
授業概要	商品の研究やテーマに対する考え方を通して十何な発想力を鍛え、企画能力の向上を図る	担当教員	長井
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻生		
達成目標	ターゲットの繋がりを、企画意図や目的の明確化		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	50 %
	2 授業態度	50 %
	3	
	4	
評価観点	出来るだけ多方面からの視点で、発想に対するアプローチが身についたか	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ゲームを研究してみよう	小さな遊びのくり返しを意識させ、メインの遊びをどう演出・昇華させているかを発見させる
2	ゲームを研究してみよう	小さな遊びのくり返しを意識させ、メインの遊びをどう演出・昇華させているかを発見させる
3	ゲームを研究してみよう	小さな遊びのくり返しを意識させ、メインの遊びをどう演出・昇華させているかを発見させる
4	ゲームを研究してみよう	小さな遊びのくり返しを意識させ、メインの遊びをどう演出・昇華させているかを発見させる
5	ゲームを研究してみよう	小さな遊びのくり返しを意識させ、メインの遊びをどう演出・昇華させているかを発見させる
6	商品やサービスを研究してみよう	世間で展開されている商品やサービスが、お客にどのような影響を与えているか発見させる
7	商品やサービスを研究してみよう	世間で展開されている商品やサービスが、お客にどのような影響を与えているか発見させる
8	商品やサービスを研究してみよう	世間で展開されている商品やサービスが、お客にどのような影響を与えているか発見させる
9	商品やサービスを研究してみよう	世間で展開されている商品やサービスが、お客にどのような影響を与えているか発見させる
10	商品やサービスを研究してみよう	世間で展開されている商品やサービスが、お客にどのような影響を与えているか発見させる
11	世の中のブームを研究してみよう	時代と共に変化したブームと、そのきっかけを発見させる
12	世の中のブームを研究してみよう	時代と共に変化したブームと、そのきっかけを発見させる
13	世の中のブームを研究してみよう	時代と共に変化したブームと、そのきっかけを発見させる
14	世の中のブームを研究してみよう	時代と共に変化したブームと、そのきっかけを発見させる
15	世の中のブームを研究してみよう	時代と共に変化したブームと、そのきっかけを発見させる

※実務家教員授業（担当教員職歴：ゲームグラフィッカー）

科目名	21ST/DirectX11応用Ⅱ		222
授業概要	DirectX11を用いたプログラミングの技術及び知識の向上		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	DirectX11を使用した作品作成		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題の提出	50 %
	2	作品へのこだわり	40 %
	3	授業態度	10 %
	4		
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、研究テーマの決定
2	テーマ制作1	個人テーマの制作
3	テーマ制作2	個人テーマの制作
4	テーマ制作3	個人テーマの制作
5	テーマ制作4	個人テーマの制作
6	テーマ制作5	中間報告発表
7	テーマの中間報告	研究テーマの中間報告
8	テーマ制作6	個人テーマの制作
9	テーマ制作7	個人テーマの制作
10	テーマ制作8	個人テーマの制作
11	テーマ制作9	個人テーマの制作
12	テーマ制作10	個人テーマの制作
13	研究テーマの発表	研究テーマの発表
14	成果確認1	テーマ成果確認
15	成果確認2	テーマ成果確認

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/Unity実習Ⅱ		223
授業概要	Unity自習		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	Unity基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Unity実習1	課題・個人作品の制作
2	Unity実習2	課題・個人作品の制作
3	Unity実習3	課題・個人作品の制作
4	Unity実習4	課題・個人作品の制作
5	Unity実習5	課題・個人作品の制作
6	Unity実習6	課題・個人作品の制作
7	Unity実習7	課題・個人作品の制作
8	Unity実習8	課題・個人作品の制作
9	Unity実習9	課題・個人作品の制作
10	Unity実習10	課題・個人作品の制作
11	Unity実習11	課題・個人作品の制作
12	Unity実習12	課題・個人作品の制作
13	Unity実習13	課題・個人作品の制作
14	Unity実習14	課題・個人作品の制作
15	Unity実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実践AⅡ		224
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実践BⅡ		225
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実践CⅡ		226
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実践DⅡ		227
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/DirectX11基礎AⅡ		228
授業概要	DirectX11を用いて3Dゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	DirectX11を使用した3Dゲームの作成		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	40 %
	3 授業態度	10 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	メッシュの種類	メッシュ、階層メッシュ、スキンメッシュ
2	階層メッシュ2	階層メッシュの表示とアニメーション
3	スキンメッシュ2	スキンメッシュの読み込み
4	ソース整理1	共通クラスの作成
5	ソース整理3	作成済みクラスの汎用化
6	レイによる衝突判定1	レイによる地面との衝突判定
7	レイによる衝突判定3	レイの表示
8	レイによる衝突判定5	レイによる壁との当り判定
9	スプライト2	透過
10	リソース1	メモリとポインター
11	オブジェクト指向1	カプセル化、継承、ポリモフィズム
12	オブジェクト指向3	デザインパターン
13	ライティング2	ポイントライト、ポイントライト(複数)
14	課題制作1	課題制作
15	課題制作3	課題制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/Unity基礎Ⅱ		229
授業概要	UnityのオペレーションおよびC#知識の向上		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	Unityを使用したゲームの作成		
前提条件	Unity基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	40 %
	3 授業態度	10 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	3Dゲーム制作1	ゲームの素材の取り込み、キャラクターの作成
2	3Dゲーム制作2	TPSカメラの作成
3	3Dゲーム制作3	ステージの作成、障害物を設置
4	3Dゲーム制作4	ステージにテクスチャを設定、ライトの追加
5	3Dゲーム制作5	落下判定の処理の作成
6	3Dゲーム制作6	ステージのゴールの作成、タイマー機能の作成
7	3Dゲーム制作7	リザルト画面の作成、BGM再生
8	企画発表	3Dゲームの企画発表
9	課題制作1	制作にあたっての項目の洗い出し、および素材の回収、検証作業
10	課題制作2	課題制作
11	中間報告	3Dゲーム制作の中間報告
12	課題制作3	課題制作
13	課題制作4	課題制作
14	課題制作5	課題の制作
15	課題制作の発表	3Dゲーム制作課題の発表

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/筆記試験対策		230
授業概要	C言語の問題による筆記試験対策	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	C言語の理解の向上		
前提条件	C言語の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	最終テスト	50 %
	2	中間テスト	30 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	筆記試験:100点満点中、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に制作に取り組んでいるか。		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	メモリ制御1	型のサイズ
2	ビット演算	ビットシフト、論理積、論理和
3	メモリ制御2	ポインタ、メモリアドレス
4	メモリ制御3	メモリコピー、文字列制御
5	メモリ制御4	メモリ確保と解放
6	中間テスト1	テスト
7	ループ処理1	合計
8	ループ処理2	素数
9	ループ処理3	ソート
10	中間テスト2	テスト
11	関数1	大小比較、べき乗、階乗
12	関数2	うるう年
13	関数3	球同士の当り判定
14	関数4	穴埋め問題
15	最終テスト	テスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実習AⅡ		231
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実習BⅡ		232
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実習CⅡ		233
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム実習DⅡ		234
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	ゲームプログラミング基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/デッサン上級Ⅱ		235
授業概要	人物のバランス等のキャラクターデザインの要素、画面上での背景やキャラクター等の構図について学ぶ	担当教員	秦野 聖
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	人間や動物のキャラクターデザインや、イラスト全般について理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	デザインや構図などのアイデア出しをその都度チェック	30 %
	2	用紙にペン入れまでした完成原稿を描き提出し、採点。	60 %
	3	授業への取り組み、能動的態度等	10 %
	4		
評価観点	人物や動物などの形を描くデッサン力、大まかに案を考え出すアイデア力、丁寧に作品を描く仕上げ力、の3点からくる総合力を評価。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	構図	人物のアオリとフカンを描く
2	構図	人物のアオリとフカンを描く
3	コスチュームデザイン	制服キャラを描く
4	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
5	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
6	コスチュームデザイン	シワを描く練習
7	動物を描く	動物の骨格を描く
8	動物を描く	色々な動物をスケッチ
9	動物を描く	動物園に行き、クロッキー練習
10	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
11	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
12	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
13	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
14	作品制作	自由なテーマで制作
15	作品制作	自由なテーマで制作

※実務家教員授業（担当教員職歴：看板描画、漫画家）

科目名	21ST/アナログイラスト上級Ⅱ		236
授業概要	モノの形を理解し、正確に描けるようになる	担当教員	秦野 聖
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	静物デッサン、人物デッサン、背景などの奥行の図法を理解する		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 形の理解	30 %
	2 陰影	30 %
	3 質感、奥行、その他	30 %
	4 授業態度	10 %
評価観点	形、陰影、質感、奥行 この4本柱の理解と表現力で評価	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	陰影の練習	石膏像の写真を模写
2	陰影の練習	石膏像の写真を模写
3	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
4	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
5	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
6	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
7	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
8	陰影の練習	立体の線画に想像で陰影をつける
9	動物園を描く	動物園に行き、クロッキー練習
10	石膏デッサン	石膏デッサン
11	石膏デッサン	石膏デッサン
12	石膏デッサン	石膏デッサン
13	石膏デッサン	石膏デッサン
14	静物デッサン	静物デッサン
15	静物デッサン	静物デッサン

※実務家教員授業（担当教員職歴：看板描画、漫画家）

科目名	21ST/3Dモデリング実習Ⅱ		237
授業概要	各自で就職に必要な作品を制作する	担当教員	山田 真歩
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	自分の進みたい進路の為に必要な作品を制作する		
前提条件	3Dモデルを作成出来ること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
2	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
3	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
4	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
5	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
6	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
7	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
8	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
9	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
10	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
11	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
12	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
13	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
14	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
15	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導

科目名	21ST/デジタルイラスト実習Ⅱ		238
授業概要	各自で就職に必要な作品を制作する	担当教員	山田真歩
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	自分の進みたい進路を定め、その為に必要な作品を制作する		
前提条件	Photoshop等でイラストを着色出来ること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績の付け方等
2	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
3	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
4	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
5	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
6	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
7	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
8	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
9	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
10	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
11	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
12	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
13	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
14	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導
15	作品制作	各自検証や必要な物を作成する・個人指導

科目名	21ST/3Dモデリング応用Ⅱ		239
授業概要	Maya基本操作(モデリング)	担当教員	長井 大輔
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	Maya習熟・モデリング作業時間把握		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	モーション様にセットアップ出来るか。人工的な無機物モデリングができるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	キャラクターモデリング1	大まかな形でシルエット作成
2	キャラクターモデリング2	細部の調整を行う
3	キャラクターモデリング3	UVマッピング
4	キャラクターモデリング4	テクスチャ作成
5	キャラクターモデリング5	ボーン作成・ウェイト調整
6	キャラクターモデリング6	リギング・動作チェック
7	自動車モデリング1	資料集め・大まかな形をモデリング
8	自動車モデリング2	サイズ感やシルエットの調整
9	自動車モデリング3	細かいパーツなどの作成
10	自動車モデリング4	全体イメージの調整
11	背景モデリング1	ゲーム使用を前提とした背景作成
12	背景モデリング2	ゲーム使用を前提とした資料を集めてデザインする
13	背景モデリング3	ゲーム使用を前提とした大まかな形でシルエット作成
14	背景モデリング4	授業・個人で作成したデータの修正を行う
15	後期モデリングデータ修正	授業・個人で作成したデータの修正を行う

※実務家教員授業 (担当教員職歴:ゲームグラフィッカー)

科目名	21ST/デジタルイラスト応用Ⅱ		240	
授業概要	自身の制作したイラストを着色。		担当教員	山田 真歩
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース			
達成目標	丁寧に塗りきり、完成させる			
前提条件	Photoshopを使用できること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	夏休み課題講評・修正	夏休み期間の課題の講評・修正
2	写真トレース	質感を表現する練習の為に、写真をトレースする
3	写真トレース	質感を表現する練習の為に、写真をトレースする
4	写真トレース	質感を表現する練習の為に、写真をトレースする
5	写真トレース	質感を表現する練習の為に、写真をトレースする・講評
6	写真トレース	質感を表現する練習の為に、写真をトレースする・講評
7	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
8	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
9	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
10	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
11	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
12	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
13	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
14	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
15	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成

科目名	21ST/3DアニメーションⅡ		241
授業概要	Maya応用操作(アニメ)	担当教員	長井 大輔
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	Maya習熟・アニメーション作業時間把握		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題提出	50 %
	2 作品へのこだわり	30 %
	3 授業態度	20 %
	4	
評価観点	キャラクターの動きを演出として表現できているか。時間を意識した動きになっているか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Maya操作説明5(アニメ)	デフォーマー・スプラインIK
2	グループアニメ作成1	コンテ作成
3	グループアニメ作成2	大まかな動きをつける
4	グループアニメ作成3	細部の調整を行う
5	グループアニメ作成4	全映像の繋ぎ
6	グループアニメ作成5	全アニメをチェックし修正を伝える
7	重い箱を持ち上げるアニメ作成1	実際に箱を持ち上げて、重心を理解する
8	重い箱を持ち上げるアニメ作成2	大まかな動きをつける
9	重い箱を持ち上げるアニメ作成3	細部の調整を行う
10	Maya操作説明6(アニメ)	バッチレンダー・プレイブラスト
11	好きな動きを作成する1	コンテ作成
12	好きな動きを作成する2	大まかな動きをつける
13	好きな動きを作成する3	細部の調整を行う
14	好きな動きを作成する4	全アニメをチェックし修正を伝える
15	作品修正日	全アニメの修正期間

※実務家教員授業 (担当教員職歴:ゲームグラフィッカー)

科目名	21ST/3Dアニメーション実習Ⅱ		242
授業概要	アニメーション実習	担当教員	長井 大輔
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース		
達成目標	なし		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アニメーション実習1	課題・個人作品の制作
2	アニメーション実習2	課題・個人作品の制作
3	アニメーション実習3	課題・個人作品の制作
4	アニメーション実習4	課題・個人作品の制作
5	アニメーション実習5	課題・個人作品の制作
6	アニメーション実習6	課題・個人作品の制作
7	アニメーション実習7	課題・個人作品の制作
8	アニメーション実習8	課題・個人作品の制作
9	アニメーション実習9	課題・個人作品の制作
10	アニメーション実習10	課題・個人作品の制作
11	アニメーション実習11	課題・個人作品の制作
12	アニメーション実習12	課題・個人作品の制作
13	アニメーション実習13	課題・個人作品の制作
14	アニメーション実習14	課題・個人作品の制作
15	アニメーション実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	企画基礎(ティーチングアシスタント)		243
授業概要	授業のアシスタント	担当教員	友金
		開校時期	前期
		単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻		
達成目標	下級生のフォローを行うことで、伝え方・コミュニケーション能力を向上させる		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	日報提出率80%以上：優、70%以上：良、60%以上：可	100 %
	2	—	0 %
	3	—	
	4	—	
	評価観点	日報の提出数	
	特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ティーチングアシスト①	下級生への技術的フォロー
2	ティーチングアシスト②	下級生への技術的フォロー
3	ティーチングアシスト③	下級生への技術的フォロー
4	ティーチングアシスト④	下級生への技術的フォロー
5	ティーチングアシスト⑤	下級生への技術的フォロー
6	ティーチングアシスト⑥	下級生への技術的フォロー
7	ティーチングアシスト⑦	下級生への技術的フォロー
8	ティーチングアシスト⑧	下級生への技術的フォロー
9	ティーチングアシスト⑨	下級生への技術的フォロー
10	ティーチングアシスト⑩	下級生への技術的フォロー
11	ティーチングアシスト⑪	下級生への技術的フォロー
12	ティーチングアシスト⑫	下級生への技術的フォロー
13	ティーチングアシスト⑬	下級生への技術的フォロー
14	ティーチングアシスト⑭	下級生への技術的フォロー
15	ティーチングアシスト⑮	下級生への技術的フォロー

科目名	21ST/システムUI研究・設計Ⅱ		244
授業概要	設計の基礎知識の習得	担当教員	百海 茂
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	設計知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	100 %
	2		
	3		
	4		
評価観点	設計知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	システム開発実習(ドキュメント): Excel	設計書・書式作成の為に Microsoft Excel の基礎
2	システム開発実習(ドキュメント): ガントチャート	フリーソフトのがんすけで卒業進級制作のメンバ全員のガントチャートを作成
3	システム開発実習(ドキュメント): 業務フロー	『公欠届を使用して就職活動を行う』を業務フローとして作成
4	システム開発実習(ドキュメント): 大日程	提案・見積り・基本設計・詳細設計・要員確保・開発・納品を背景としたスケジュール作成
5	システム開発実習(ドキュメント): Excel 利用時のノウハウ	Excel を用いた定型書式の作成
6	システム開発実習(ドキュメント): 業務知識	販売管理業務におけるエンドユーザから見た語句のまとめ作成
7	システム開発実習(ドキュメント): 業務プロセス	販売管理開発におけるシステムからみた語句のまとめ作成
8	システム開発実習(ドキュメント): 業務プロセス	販売管理開発におけるシステムからみた語句のまとめ作成
9	システム開発実習(ドキュメント): エンドユーザ	サーベイによる、(データベースとアウトプットと UI) のラフ作成
10	システム開発実習(ドキュメント): 基本設計(1)	帳票設計書と画面設計書の作成
11	システム開発実習(ドキュメント): 基本設計(2)	テーブル設計書の作成
12	システム開発実習(ドキュメント): 詳細設計	概要書と入力設計と出力設計の作成
13	システム開発実習(ドキュメント): テスト仕様書	テストパターンを洗い出してまとめる
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/データベース設計Ⅱ		245
授業概要	Windows やシステム運用知識の習得		担当教員 百海 茂
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	※実務家教員授業（担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ）		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	運用知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 ペーパーテスト	100 %
	2	
	3	
	4	
評価観点	運用知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	システム開発講義：設計の分類と意味	基本設計、詳細設計、外部設計、内部設計の概要
2	システム開発講義：工数見積りとスケジュール	開発メンバ単位のスケジュール管理
3	システム開発講義：エンドユーザの業務の把握	販売管理の業務フローを見て、設計に必要な情報を把握する
4	システム開発講義：システム開発の大きな流れ	数か月に及ぶ開発期間におけるエンドユーザ・SE・プログラマの役割
5	システム開発講義：販売管理基礎(1)	売掛・買掛・請求・入金・支払について
6	システム開発講義：販売管理基礎(2)	在庫の位置づけ(流通・入庫・出庫・納品)
7	システム開発講義：販売管理基礎(3)	借方・貸方・仕訳けに伴う簡単な簿記知識
8	システム開発講義：販売管理基礎(4)	販売管理のプロセスの理解(受注～入金)
9	システム開発講義：エンドユーザ	SE から見たエンドユーザ、プログラマから見たエンドユーザ
10	システム開発講義：基本設計(1)	帳票設計と画面設計
11	システム開発講義：基本設計(2)	データベース設計
12	システム開発講義：詳細設計	基本設計で定義された前提条件を元に、詳細な機能を定義する
13	システム開発講義：テスト仕様書	アプリケーションが正しく作られているかを検証する為に何が必要かを知る
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業（担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/Programming Assistant II		246
授業概要	1年生を対象としたプログラム授業の補佐を行う		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 1年生に積極的に関わっているか、きっちり授業補助を行っているか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	授業アシスト1	プログラム授業の補佐
2	授業アシスト2	プログラム授業の補佐
3	授業アシスト3	プログラム授業の補佐
4	授業アシスト4	プログラム授業の補佐
5	授業アシスト5	プログラム授業の補佐
6	授業アシスト6	プログラム授業の補佐
7	授業アシスト7	プログラム授業の補佐
8	授業アシスト8	プログラム授業の補佐
9	授業アシスト9	プログラム授業の補佐
10	授業アシスト10	プログラム授業の補佐
11	授業アシスト11	プログラム授業の補佐
12	授業アシスト12	プログラム授業の補佐
13	授業アシスト13	プログラム授業の補佐
14	授業アシスト14	プログラム授業の補佐
15	授業アシスト15	プログラム授業の補佐

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/Programming Assistant II		247
授業概要	1年生を対象としたプログラム授業の補佐を行う		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	ゲーム専攻ゲームプログラムコース		
達成目標	なし		
前提条件	DirectX11基礎の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 1年生に積極的に関わっているか、きっちり授業補助を行っているか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	授業アシスト1	プログラム授業の補佐
2	授業アシスト2	プログラム授業の補佐
3	授業アシスト3	プログラム授業の補佐
4	授業アシスト4	プログラム授業の補佐
5	授業アシスト5	プログラム授業の補佐
6	授業アシスト6	プログラム授業の補佐
7	授業アシスト7	プログラム授業の補佐
8	授業アシスト8	プログラム授業の補佐
9	授業アシスト9	プログラム授業の補佐
10	授業アシスト10	プログラム授業の補佐
11	授業アシスト11	プログラム授業の補佐
12	授業アシスト12	プログラム授業の補佐
13	授業アシスト13	プログラム授業の補佐
14	授業アシスト14	プログラム授業の補佐
15	授業アシスト15	プログラム授業の補佐

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		248
授業概要	年間の成果発表のため作品制作を行う	担当教員	百海 茂
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	グループワークや、企画立案、プレゼンテーションなど、就職時に必要となる力を身につける。		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 最終審査に合格する事	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	出席率80%以上で、作品制作を完了させる	
特記事項	インターン等の正当な理由で作品制作を免除される事がある	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	中間発表準備	1年生に見せる為の、アルファ版／ラフデザイン／試作品の準備を行う
2	中間発表	ギャラリーを前にして企画のプレゼンテーションを行う
3	制作	作品制作をチームで行う
4	制作	作品制作をチームで行う
5	制作	作品制作をチームで行う
6	制作	作品制作をチームで行う
7	制作	作品制作をチームで行う
8	制作	作品制作をチームで行う
9	制作	作品制作をチームで行う
10	制作	作品制作をチームで行う
11	制作	作品制作をチームで行う
12	制作	作品制作をチームで行う
13	最終審査準備	審査に合格する為のドキュメントと作品を準備する
14	最終審査	企画の発表を行う
15	発表会準備	卒業進級制作展に向けて準備を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/システム開発実習Ⅱ		249
授業概要	サーバ側で動作するアプリケーションの作成	担当教員	百海 茂
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	アプリケーション作成に必要な総合知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1	100 %
	2	
	3	
	4	
評価観点	アプリケーション作成に必要な総合知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アプリケーション作成実習: JSON	PHP における JSON の扱い
2	アプリケーション作成実習: IMAP	IMAP 関数の簡単なテスト
3	アプリケーション作成実習: IMAP	IMAP 関数によるメール受信
4	アプリケーション作成実習: メールボックス	IMAP 関数によるメールボックス処理(階層構造)
5	アプリケーション作成実習: メールボックス	IMAP 関数によるメールボックス処理(作成・名称変更・削除)
6	アプリケーション作成実習: WEBメール	WordPress 上に WEBメールを作成( IMAP 処理はローカル )
7	アプリケーション作成実習: WEBメール	WordPress 上に WEBメールを作成
8	アプリケーション作成実習: WEBメール	WordPress 上に WEBメールを作成
9	アプリケーション作成実習: WEBメール	WordPress 上に WEBメールを作成
10	アプリケーション作成実習: Ruby	Ruby によるメール受信
11	アプリケーション作成実習: Python	Python によるメール受信
12	アプリケーション作成実習: GD	GD による画像加工処理
13	アプリケーション作成実習: ZIP	PHP による ZIP ダウンロード処理
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/システム開発実習Ⅱ		250
授業概要	Windows で動作するフォームアプリケーション作成		担当教員 百海 茂
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	アプリケーション作成に必要な総合知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 ペーパーテスト	100 %
	2	
	3	
	4	
評価観点	アプリケーション作成に必要な総合知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)	
特記事項		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アプリケーション作成実習	VisualStudio を使用して、Unity のテストを行う
2	アプリケーション作成実習 : SMTP	C# でメール送信処理
3	アプリケーション作成実習 : IMAP4	C# で IMAP を使用してメール受信処理
4	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : 一覧	C# で受信メールの一覧を DataGridView に表示する
5	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : 本文	C# でメールの一覧より本文を取得して表示する
6	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : マルチパート	C# でメールのマルチパート部分の内容を取得する(HTML・添付ファイル)
7	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : メールボックス	C# でメールボックスの登録・名称変更・削除の処理を行う
8	アプリケーション作成実習 : SMTP	Eclipse + Java + WindowBuilder でメール送信処理
9	アプリケーション作成実習 : IMAP4	Eclipse + Java + WindowBuilder で IMAP を使用してメール受信処理
10	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : 一覧	Eclipse + Java + WindowBuilder で受信メールの一覧を DataGridView に表示する
11	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : 本文	Eclipse + Java + WindowBuilder でメールの一覧より本文を取得して表示する
12	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : マルチパート	Eclipse + Java + WindowBuilder でメールのマルチパート部分の内容を取得する(HTML・添付ファイル)
13	アプリケーション作成実習 : IMAP4 : メールボックス	Eclipse + Java + WindowBuilder でメールボックスの登録・名称変更・削除の処理を行う
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/開発言語実践Ⅱ		251
授業概要	開発に必要な様々な知識とノウハウを習得する	担当教員	百海 茂
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	アプリケーション作成に必要な総合知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 ペーパーテスト	100 %
	2	
	3	
	4	
評価観点	アプリケーション作成に必要な総合知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アプリケーション作成実習: WordPress	さくらインターネットのWordPress 環境の確認と初期設定
2	アプリケーション作成実習: WordPress	WordPress テンプレート
3	アプリケーション作成実習: WordPress	WordPress プラグイン作成
4	アプリケーション作成実習: WordPress	独自のカスタムフィールドを追加
5	アプリケーション作成実習: 一般プラグイン	Advanced Custom Fields のインストールと実装後の内容確認
6	アプリケーション作成実習: 関数	functions.php 内の処理の確認とユーザ関数の作成
7	アプリケーション作成実習: ユーザプラグイン	プラグイン内の関数より HTML・CSS を出力して表示変更を行う
8	アプリケーション作成実習: メール仕様	メールデータの理解
9	アプリケーション作成実習: メール送信	HTA + Basp21 でメール送信テスト
10	アプリケーション作成実習: Bash	TERATARM でさくらインターネット環境に接続する
11	アプリケーション作成実習: Telnet	TERATARM で telnet を使用してメール送信
12	アプリケーション作成実習: WordPressのカスタマイズ	WordPress のカスタム投稿タイプ
13	アプリケーション作成実習: WordPressのカスタマイズ	WordPress プラグインと 独自処理でのメール送信
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/開発言語実践Ⅱ		252
授業概要	通信でサーバにアクセスして動作するアプリケーションの作成		担当教員 百海 茂
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	アプリケーション作成に必要な総合知識の習得		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	100 %
	2		
	3		
	4		
評価観点	アプリケーション作成に必要な総合知識をペーパーテストで確認する(80以上/70以上/60以上)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	アプリケーション作成実習：GET メソッド	jQuery で Ajax 通信を GET メソッドで行う
2	アプリケーション作成実習：POST メソッド	jQuery で Ajax 通信を POST メソッドで行う
3	アプリケーション作成実習：JSON	JSON データによるインターフェイスとデバッグ
4	アプリケーション作成実習：別ドメインアクセス	Access-Control-Allow-Origin ヘッダを用いたブラウザ上の JavaScript
5	アプリケーション作成実習：Bootstrap	テーブルおよびメニューのスマホ対応
6	アプリケーション作成実習：WordPress	WordPress 上に WEBメーラを作成( IMAP 処理はローカル )
7	アプリケーション作成実習：WordPress	WordPress 上に WEBメーラを作成
8	アプリケーション作成実習：WordPress	WordPress 上に WEBメーラを作成
9	アプリケーション作成実習：WordPress	WordPress 上に WEBメーラを作成
10	アプリケーション作成実習：ファイルアップロード	jQuery で Ajax 通信でファイルをアップロード
11	アプリケーション作成実習：ファイルアップロード	ドラッグ & ドロップでファイルアップロード
12	アプリケーション作成実習：画像ギャラリー	アップロードされた画像のギャラリー
13	アプリケーション作成実習：WEBカメラ	WEB カメラ画像をアップロード
14	テスト範囲確認	テスト範囲確認
15	ペーパーテスト	ペーパーテスト

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/制作実習		253
授業概要	年間の成果発表のため作品制作を行う	担当教員	百海 茂
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
達成目標	グループワークや、企画立案、プレゼンテーションなど、就職時に必要となる力を身につける。		
前提条件	情報処理・ネットワーク専攻2年次以上		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 最終審査に合格する事	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	出席率80%以上で、作品制作を完了させる	
特記事項	インターン等の正当な理由で作品制作を免除される事がある	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	制作	作品制作を行う
2	制作	作品制作を行う
3	制作	作品制作を行う
4	制作	作品制作を行う
5	制作	作品制作を行う
6	制作	作品制作を行う
7	制作	作品制作を行う
8	制作	作品制作を行う
9	制作	作品制作を行う
10	制作	作品制作を行う
11	制作	作品制作を行う
12	制作	作品制作を行う
13	最終審査準備	審査に合格する為のドキュメントと作品を準備する
14	最終審査	企画の発表を行う
15	発表会準備	卒業進級制作展に向けて準備を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/ITパスポートⅡ		254
授業概要	IT系スキルの全般的な向上、国家試験(ITパスポート)の受験対応力向上	担当教員	尾立 識至
		開校時期	後期
		単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	システム、ゲーム1年		
達成目標	国家試験(ITパスポート)の合格、基本情報技術者試験の午前免除へのスキル引継ぎ		
前提条件	前期ITパスポート対策Ⅰの履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 過去問テスト	60 %
	2 用語暗記テスト	30 %
	3 取り組み方意欲	10 %
評価観点	過去問テスト、用語暗記テスト、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)	
特記事項	ITパスポート合格の場合は無条件に100点	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	前期復習	重要用語、定番計算のチェック
2	プロジェクトマネジメント	PMBOK(スコープ、タイム、コスト)
3	サービスマネジメント	ITIL、ファシリティマネジメント
4	システム監査	システム監査人、内部統制
5	アルゴリズムとプログラミング	データ構造、アルゴリズム、プログラミング言語、マークアップ言語
6	システム構成要素	システム構成の種類、稼働率、システムの評価指標
7	ソフトウェア	OS、ファイルの管理、開発ツール、OSS
8	ヒューマンインターフェース	ヒューマンインターフェース技術、インターフェース設計
9	マルチメディア	マルチメディア技術、マルチメディア応用
10	システム戦略(モデリング技法)	E-R図、DFD、UML
11	データベース	データベース設計、データ操作、障害対策
12	ネットワーク	ネットワーク方式、通信プロトコル、ネットワーク応用
13	セキュリティ	情報セキュリティ管理・情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術
14	用語テスト	重要用語暗記及び用語テスト
15	過去問テスト	過去問題によるスキルチェックテスト

科目名	21ST/アルゴリズムⅡ		255
授業概要	配列処理の理解、プログラム作成能力向上(プログラミング実習あり)、国家試験(基本情報情報技術者)の対応力向上	担当教員	尾立 識至
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	システム、ゲーム1年		
達成目標	基本制御構造を組み合わせて、配列を操作する基本的な処理を理解し、記述できる状態		
前提条件	前期アルゴリズムの履修終了		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパーテスト	60 %
	2	ノート	30 %
	3	取り組み方意欲	10 %
	4		
評価観点	ペーパーテスト、作成フローチャートのノート提出、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	前期復習	過去演習内容のチェック、基本事項確認
2	複数配列の活用処理	点数配列からランク付け配列を求める
3	複数配列の活用処理	ボーダー値以上を他の配列に抽出
4	探索技法	線形探索、番兵法
5	探索技法	二分探索
6	2重ループの基本	九九計算と結果出力
7	2重ループの基本	アスタリスクの階段状出力
8	順位付け処理	同配列内の値比較
9	ソートアルゴリズム	選択法、交換法
10	ソートアルゴリズム	挿入法、ループ通過回数の改善
11	総合課題	文字の出現頻度カウント
12	総合課題	文字の出現頻度カウント(サブルーチン化)
13	総合課題	文字の出現頻度カウント(横ヒストグラム出力)
14	総合課題	文字の出現頻度カウント(縦ヒストグラム出力)
15	ノートまとめ、課題提出	記述ルールのチェック及び修正後に提出

科目名	21ST/基本情報対策Ⅱ		256
授業概要	IT系スキルの全般的な向上、国家試験(基本情報技術者)の受験対応力向上		担当教員
			尾立 識至
			開校時期
			後期
			単位数
			4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	システム、ゲーム2年以上		
達成目標	午前免除試験の合格、国家試験(基本情報技術者)の合格、合格できない場合でも将来的に合格を目指す状態		
前提条件	ITパスポート対策の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	過去問テスト	60 %
	2	用語暗記テスト	30 %
	3	取り組み方意欲	10 %
	4		
評価観点	過去問テスト、用語暗記テスト、取り組み方意欲の総合点(100点満点で、50で可。65で良。80で優。)		
特記事項	基本情報技術者合格の場合は無条件に100点		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	前期復習	重要用語、定番計算のチェック
2	データベース	データベースのモデル、データの分析、関係モデル
3	データベース	データベース言語、SQL記述
4	データベース	データベースの制御、データベース応用
5	ネットワーク	コンピュータネットワークとインターネット、OSI基本参照モデルとTCP/IP
6	ネットワーク	IPアドレス設定、ネットワークの関連知識
7	セキュリティ	情報セキュリティ技術
8	セキュリティ	情報セキュリティ対策と実装技術
9	システム開発技術	開発プロセス、要件定義、ソフトウェア設計
10	システム開発技術	テスト・レビュー、ソフトウェアの保守と構成管理
11	プロジェクト・サービスマネジメント	プロジェクトマネジメント、システム運用マネジメント
12	経営戦略・システム戦略	経営戦略マネジメント、システム戦略
13	企業と法務	組織構造、企業会計、経営工学、関連法規、標準化
14	用語テスト	重要用語暗記及び用語テスト
15	過去問テスト	過去問題によるスキルチェックテスト

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		257
授業概要	各自の目標を立てた資格に挑戦し、複数合格を得る。そして、就職内定獲得を目指す	担当教員	土井
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	各自に適した資格試験を複数合格し、内定を勝ち取る		
前提条件	特になし		
教室外学習	就職サポートセンターなどに出向く		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	60 %
	2	取組み姿勢	30 %
	3	助け合い	10 %
	4		
評価観点	出席率・取組み姿勢・助け合い		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	目標設定・仕事概要調査	各自の目指す資格内容を検討し、合わせて目標職業の調査
2	資格目標設定・就職目標発表	各自の目標設定を、お互いに発表し合い勉学方法なども考える
3	ITビジネスコース卒業進級制作①	各自の取組みを進める
4	ITビジネスコース卒業進級制作②	各自の取組みを進める
5	ITビジネスコース卒業進級制作③	各自の取組みを進める
6	ITビジネスコース卒業進級制作④	各自の取組みを進める
7	ITビジネスコース卒業進級制作⑤	各自の取組みを進める
8	中間発表	各自の現状を発表
9	ITビジネスコース卒業進級制作⑥	各自の取組みを進める
10	ITビジネスコース卒業進級制作⑦	各自の取組みを進める
11	ITビジネスコース卒業進級制作⑧	各自の取組みを進める
12	ITビジネスコース卒業進級制作⑨	各自の取組みを進める
13	ITビジネスコース卒業進級制作⑩	各自の取組みを進める
14	ITビジネスコース卒業進級制作⑪	各自の取組みを進める
15	最終審査	前期の仕上がりを確認する

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		258	
授業概要	初めて就職活動を予定している学生を対象とし、自己の強みを活かし、就職活動を計画的に行えるようになることを目指す		担当教員	土井
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス			
達成目標	仕事の意義について自身の意見を述べ、自分の価値観・強みを分析し、内定を勝ち取る事			
前提条件	特になし			
教室外学習	特になし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合	
	1	ディベート	20 %	
	2	レポート	30 %	
	3	出席率	50 %	
	4			
	評価観点		ディベート・レポート・出席率	
	特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	就職活動①	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
2	就職活動②	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
3	就職活動③	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
4	就職活動④	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
5	就職活動⑤	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
6	就職活動⑥	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
7	就職活動⑦	各自の支援施設での講義受講、業界・業種の分析、企業訪問などを行なう
8	ディベート	今まで学んで来た内容をまとめる意味で、グループに分かれ行なう
9	就職活動⑧	各種インターンシップに出向く
10	就職活動⑨	各種インターンシップに出向く
11	就職活動⑩	各種インターンシップに出向く
12	就職活動⑪	各種インターンシップに出向く
13	レポート作成	今まで学んできた内容をレポートとして作成する
14	次年度後輩に向けての資料作成①	自分たちの想い感じた事や失敗談なども含め、注意する点を資料としてまとめていく
15	次年度後輩に向けての資料作成②	自分たちの想い感じた事や失敗談なども含め、注意する点を資料としてまとめていく

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		259
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	林
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21ST/資格対策Ⅱ(水)		260
授業概要	日本情報処理検定協会主催 Microsoftoffice各種検定試験の上位級取得を目指す		担当教員 林
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻 IT総合コース ITビジネスクラス		
達成目標	各種検定試験の1級以上の取得		
前提条件	タイピング能力(日本語10分500字以上)		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出	60 %
	2	取り組み	10 %
	3	意欲	10 %
	4	出席状況	20 %
評価観点	検定試験合格(日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験、プレゼンテーション作成検定試験いずれかの1級以上)		
特記事項	なし		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、取組、検定試験受験日の確認
2	日本語ワープロ検定1級問題解説	word①
3	日本語ワープロ検定1級模擬問題①	word②
4	日本語ワープロ検定1級模擬問題②	word③
5	日本語ワープロ検定1級模擬問題③	word④
6	情報処理技能検定試験1級問題解説	excel①
7	情報処理技能検定試験1級模擬問題①	excel②
8	情報処理技能検定試験1級模擬問題②	excel③
9	情報処理技能検定試験1級模擬問題③	excel④
10	プレゼンテーション作成検定試験1級問題解説	PowerPoint①
11	プレゼンテーション作成検定試験1級模擬問題①	PowerPoint②
12	プレゼンテーション作成検定試験1級模擬問題②	PowerPoint③
13	プレゼンテーション作成検定試験1級模擬問題③	PowerPoint④
14	各種検定試験 期末テスト	日本語ワープロ検定試験1級、情報処理技能検定試験1級、プレゼンテーション作成検定試験1級
15	予備日	予備日

科目名	21ST/PC応用		261	
授業概要	情報利活用能力試験(J検)2級の取得を目指す		担当教員	土井
			開校時期	後期
			単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	1年生			
達成目標	J検2級合格			
前提条件	J検3級合格していること。または同等レベルの試験を高校で合格していること。			
教室外学習	特になし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	30 %
	2	本番試験合格	40 %
	3	別途課題	30 %
	4		
評価観点	出席率重視及び試験本番(CBT)での成績		
特記事項	試験本番が不合格の場合、別途課題にて対応		

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	J検3級の復習	過去問にて復習
2	経営戦略とシステム戦略－1－	経営戦略とシステム戦略の基礎的知識について理解する。
3	経営戦略とシステム戦略－2－	経営戦略とシステム戦略の基礎的知識について理解する。
4	プロジェクトマネジメント－1－	プロジェクトマネジメントに関する基礎的知識について理解する。
5	プロジェクトマネジメント－2－	プロジェクトマネジメントに関する基礎的知識について理解する。
6	データ構造と情報表現－1－	コンピュータにおける情報表現とデータ構造について理解する。
7	データ構造と情報表現－2－	コンピュータにおける情報表現とデータ構造について理解する。
8	パソコンの基礎	パソコンの仕組み、および情報の表現について理解する。
9	インターネットの基礎	インターネットの利用や基礎的な仕組みについて理解する。
10	アプリケーションソフトの基礎(表計算)	表計算ソフトを用いた問題解決について理解する。
11	総合復習－1－	過去問を利用して行う
12	総合復習－2－	過去問を利用して行う
13	総合復習－3－	過去問を利用して行う
14	総合復習－4－	過去問を利用して行う
15	本番試験(CBT)	インターネット利用での試験を実施

科目名	21ST/ネットワーク入門／実践		262
授業概要	ネットワーク(TCP/IP)を学ぶ	担当教員	土井
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	本科1年生		
達成目標	ネットワークの基礎を理解する		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	グループ実習	40 %
	2	出席率	60 %
	3		
	4		
	評価観点	出席率とグループ実習	
	特記事項	評価は「合」「不」とする	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	授業概要説明	授業の進め方、本授業で勉強する内容の説明
2	自宅のネットワーク構成チェック	自宅のインターネット環境を理解する
3	IPアドレスとは	IPアドレスについて学ぶ
4	サブネットマスクとは	サブネットマスクについて学ぶ
5	グローバルアドレスとは	グローバルアドレスについて学ぶ
6	DNSとDHCP	意味と使用内容について学ぶ
7	サーバーの役割	様々なサーバーの働きを学ぶ
8	ポート番号	ポート番号を確認する
9	デフォルトゲートウェイとは	デフォルトゲートウェイについて学ぶ
10	通信確認コマンドについて	通信確認コマンドを実際に使って学ぶ
11	Webサーバについて	Webサイトにアクセスし、Webサーバについて学ぶ
12	メールサーバについて	メールを送受信し、メールサーバについて学ぶ
13	MACアドレス、ARPテーブルについて	MACアドレス、ARPテーブルを確認しよう
14	総復習1	授業の振り返り
15	総復習2	授業の振り返り

科目名	21ST/就職活動Ⅱ		263
授業概要	インターンシップの参加への意識づけや就職活動の計画作成を目的とする	担当教員	土井
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	就職内定を得る		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 就活計画プランの提出	30 %
	2 出席率	50 %
	3 課題提出	20 %
	4	
評価観点	就活計画プランの提出、出席率、レポート等の課題提出	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	就職環境について	今の就職環境を知り、今後どう就活の進め方について学ぶ
2	就職活動プランの作成①	自分に合った支援施設などを調査する
3	就職活動プランの作成②	就活の戦略を立て方を知り、計画プランの作成
4	就職活動プランの作成&#10114;	互いに助け合い、応援の意味を込めて発表
5	インターンシップ準備①	各自の決定した企業に合わせて必要内容を確認する
6	インターンシップ準備②	各自の決定した企業に合わせて必要内容を確認する
7	個別面接練習①	個別での面接練習
8	レポート作成	体験を振り返り、レポート作成を行なう
9	個別面接練習②	個別での面接練習
10	就職活動での筆記試験について	筆記試験の種類、対策について学ぶ
11	自己分析の見直し①	自己分析ブラッシュアップ
12	自己分析の見直し②	自己分析ブラッシュアップ
13	現場に出向く①	支援施設などを訪問
14	現場に出向く②	支援施設などを訪問
15	レポート作成	体験を振り返り、レポート作成を行なう

科目名	21ST/資格対策復習Ⅱ		264	
授業概要	水曜日・金曜日の資格対策授業の内容を、各自で復習する		担当教員	土井
			開校時期	
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス			
達成目標	自分が目指している資格合格を目指していく			
前提条件	水曜日・金曜日の資格対策授業を受講している			
教室外学習	特になし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	30 %
	2	取組み姿勢	70 %
	3		
	4		
	評価観点	出席率・取組み姿勢	
	特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習①	各自の試験対策の復習を行なう
2	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習②	各自の試験対策の復習を行なう
3	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習③	各自の試験対策の復習を行なう
4	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習④	各自の試験対策の復習を行なう
5	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑤	各自の試験対策の復習を行なう
6	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑥	各自の試験対策の復習を行なう
7	各種試験の受験	個人により試験内容が異なる
8	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑦	各自の試験対策の復習を行なう
9	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑧	各自の試験対策の復習を行なう
10	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑨	各自の試験対策の復習を行なう
11	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑩	各自の試験対策の復習を行なう
12	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑪	各自の試験対策の復習を行なう
13	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑫	各自の試験対策の復習を行なう
14	水曜日・金曜日の資格対策授業の復習⑬	各自の試験対策の復習を行なう
15	各種試験の受験	個人により試験内容が異なる

科目名	21ST/資格対策Ⅱ(金)		265
授業概要	株式会社オデッセイコミュニケーションズ主催の検定試験		担当教員 土井
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	情報処理ネットワーク専攻・IT総合コース・ITビジネスクラス		
達成目標	VBAエキスパート スタンダード クラウン合格		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	50 %
	2	取組み姿勢	30 %
	3	試験結果	20 %
	4		
評価観点	出席率・取組み姿勢・試験結果		
特記事項			

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Accessの基本操作①	基本操作及びデータベースの基本を学ぶ
2	Accessの基本操作②	基本操作及びデータベースの基本を学ぶ
3	Accessの基本操作③	基本操作及びデータベースの基本を学ぶ
4	Accessの基本操作④	基本操作及びデータベースの基本を学ぶ
5	Access VBA①	変数・配列・ユーザー定義型
6	Access VBA②	変数・配列・ユーザー定義型
7	Access VBA③	プロシージャ・モジュール
8	Access VBA④	プロシージャ・モジュール
9	Access VBA⑤	SQL
10	Access VBA⑥	SQL
11	Access VBA⑦	フォームとレポートの操作
12	Access VBA⑧	ADOやDAOによるデータベース操作
13	Access VBA⑨	応用プログラミング
14	Access VBA⑩	応用プログラミング
15	Access VBA⑪	応用プログラミング

科目名	21ST/デザインマインド		266
授業概要	この時間は、主にデザインの講義を通じてコミュニケーションデザインの基本的な知識と見識を中心に展開。「強い意志力」と「熱いビジョン」を持って、これからの時代に対応できるデザインマインド力(思考力、意志力)の醸成と強化に向けて学習します。	担当教員	酢谷 征男
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン系本科生		
達成目標	・デザイナーとしての幅広い知識、見識の習得。(思考力強化) ・時代や社会を見据えたタイムリーな視点と対応。(発想力向上) ・大きな志を持って、夢をカタチにする。(意志力強化)		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 筆記テスト	80 %
	2 学習態度、取り組み姿勢	20 %
	3 4	
評価観点	「こんなデザイナーになりたい」「こんなデザインをやりたい」という想いの実現に向けたより深くより幅の広い知識と見識、および対応力の習得。	
特記事項	期末の筆記テスト及び日常の学習態度と取り組み姿勢。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	デザインとは?	デザイナーになるための20の心得
2	優れたデザイン力とは?	「想像力と創造力」
3	業界の構造	デザインワークフロー
4	アイデアのつくり方	コンセプトとは?
5	コンセプトメイキング	
6	企画書の作りかた	
7	コミュニケーションの潮流(1)	タッチポイント、AISASモデル、ブランド価値他
8	コミュニケーションの潮流(2)	異種混合、全体最適化、クロスメディア他
9	デザインの歴史(1)	人とデザイン/モリスから始まる近代デザイン運動(イギリス)他
10	デザインの歴史(2)	バウハウス/芸術と技術の統合(ドイツ)他
11	デザインの歴史(3)	新しい職能/インダストリアルデザイナーの誕生(アメリカ)他
12	デザインの歴史(4)	日本の近代デザイン、年代別デザインキーワード
13	印刷とデザイン(1)	DTP、CMS、デジタル入稿から製版、印刷まで他
14	印刷とデザイン(2)	版式、用紙、加工、校正、サンプル、事例集他
15	筆記テスト実施	

※実務家教員授業 (担当教員職歴:デザイナー)

科目名	21ST/WEB初級		267
授業概要	Webデザイン初級レベル(下)	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	1学年		
達成目標	Dreamweaver操作・手打ちによるコーディング・バナーデザイン		
前提条件	HTML言語とCSS基礎		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	40 %
	2 理解度	40 %
	3 意欲/姿勢	10 %
4 作品完成度	10 %	
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」プレゼンテーション・全体構成・完成度・意欲・作品に対する拘り	
特記事項	見る人の心を動かし行動につなげることができるデザインと成果目標を意識したサイトを創り上げることができる。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	復習・演習問題	わくわく動物園問題
2	復習・演習問題	”復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
3	復習・演習問題	”復習 Dreamweaver操作 Webサイト演習/AまたはB”
4	グローバルナビゲーション基礎1	ナビゲーションの基礎を実装する
5	ナビゲーション基礎II	画像を用いたナビゲーション
6	画像置換(CSSスプライト)	スプライトの技法とその理解
7	リキッドレイアウト	各々サイズの指定方法を学ぶ
8	jQuery基礎	jQueryとは、スライダー効果、lightBox
9	jQuery基礎	jQueryとは、スライダー効果、lightBox
10	ポジションプロパティ	ケーキを配置する
11	ポジションプロパティ	ヘッダーを学ぶ/演習問題AもしくはB
12	ヒーローヘッダーとは	ダイナミックな演出デザインを学ぶ
13	シングルレイアウト	背景やイメージのサイズを調整する
14	様々な演出の手法	パララックス・アニメーション
15	総合演習	全体調整・課題示唆

※実務家教員授業 (担当教員職歴:Webデザイナー)

科目名	21ST/MOS Excel AM		268
授業概要	MOS_Excel資格取得講座	担当教員	堀川 寿子
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムインストラクター		
対象学生	1年生		
達成目標	MOS_Excel資格取得と操作		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 試験での得点	60 %
	2 課題提出点	20 %
	3 授業態度・資格取得に対する取り組み姿勢	20 %
	4	
評価観点	資格での得点+課題提出点+授業態度:100点満点中、85点以上「優」、70点以上「良」、63点以上「可」。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Excel基礎	Excel基礎操作
2	ブックの作成と管理	インポート・セル移動
3	ブックの作成と管理	配布するための設定
4	データ管理	データの挿入
5	テーブルの作成	テーブル操作
6	数式や関数	セル参照
7	数式や関数	関数の使用
8	グラフやオブジェクト	グラフ作成・書式
9	模擬試験	模擬試験第1回
10	模擬試験	模擬試験第1回
11	模擬試験	模擬試験第2回
12	模擬試験	模擬試験第2回
13	模擬試験	模擬試験第3回
14	模擬試験	模擬試験第4回
15	模擬試験	模擬試験第5回・ランダム試験

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムインストラクター)

科目名	21ST/MOS Excel PM		269
授業概要	MOS_Excel資格取得講座	担当教員	堀川 寿子
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムインストラクター		
対象学生	1年生		
達成目標	MOS_Excel資格取得と操作		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 試験での得点	60 %
	2 課題提出点	20 %
	3 授業態度・資格取得に対する取り組み姿勢	20 %
	4	
評価観点	資格での得点+課題提出点+授業態度:100点満点中、85点以上「優」、70点以上「良」、62点以上「可」。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	Excel基礎	Excel基礎操作
2	ブックの作成と管理	インポート・セル移動
3	ブックの作成と管理	配布するための設定
4	データ管理	データの挿入
5	テーブルの作成	テーブル操作
6	数式や関数	セル参照
7	数式や関数	関数の使用
8	グラフやオブジェクト	グラフ作成・書式
9	模擬試験	模擬試験第1回
10	模擬試験	模擬試験第1回
11	模擬試験	模擬試験第2回
12	模擬試験	模擬試験第2回
13	模擬試験	模擬試験第3回
14	模擬試験	模擬試験第4回
15	模擬試験	模擬試験第5回・ランダム試験

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムインストラクター)

科目名	21ST/グラフィックデザイン		270
授業概要	課題作品を通じ、デザインの表現方法や考えの幅をひろげていく。		担当教員 岩本 大毅
			開校時期 後期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生デザイン系学生		
達成目標	デザイン基礎で学んだことを実践的な制作を通じ表現できるようになる。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題作品	70 %
	2 授業態度	30 %
	3	
	4	
評価観点		
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	グループワーク	CMから情報を分析する
3	演習	配色のルールについて学ぶ。ターゲットにあった配色を使用したデザインの制作
4	作品制作1	コンテストの概要説明・OAC学生広告クリエイティブアワード作品制作
5	作品制作2	OAC学生広告クリエイティブアワード作品制作
6	作品制作3	OAC学生広告クリエイティブアワード作品制作
7	プレゼンテーション	OAC学生広告クリエイティブアワード作品制作について学内で制作物のプレゼンテーションを行う。
8	作品制作4	卒業進級制作のメインビジュアル制作
9	作品制作5	卒業進級制作のメインビジュアル制作
10	作品制作6	卒業進級制作のメインビジュアル制作
11	作品制作7	制作物についての説明。ランディングページデザインキャンプ制作
12	作品制作8	ランディングページデザインキャンプ制作
13	作品制作9	ランディングページデザインキャンプ制作
14	プレゼンテーション	ランディングページデザインキャンプ制作について発表を行う。
15	総評・コンテスト制作	後期授業の総評。Tシャツデザインコンテスト課題に参加

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21ST/システム開発入門		271
授業概要	Webアプリ開発を通じてシステム開発を学ぶ		担当教員 八木
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	情報処理・ネットワーク専攻		
達成目標	システム開発基礎を理解すること		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 20ページ:優、15ページ:良、10ページ:可、9ページ:不可	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業で得た技術情報をブログにまとめ、そのページ数により評価します。	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、本授業で勉強する内容の概要説明
2	PHPプログラミングの復習	簡単なPHPプログラムを作る
3	制御構造とコントロール	HTMLとPHPを合わせてプログラムを作る
4	関数を使いこなす	PHPを関数化するための方法を学ぶ
5	データベースの基本と操作①	データベースの基礎を学ぶ
6	データベースの基本と操作②	SQLの基礎学ぶ
7	データベースの基本と操作③	SQL(SELECT文、INSERT文)
8	データベースの基本と操作④	SQL(UPDATE文、DELETE文)
9	データベースの基本と操作⑤	PHPからSQL(SELECT文、INSERT文)を操作する
10	データベースの基本と操作⑥	PHPからSQL(UPDATE文、DELETE文)を操作する
11	PHP演習課題①	date関数を使用した演習課題を実施する
12	PHP演習課題②	rand関数を使用した演習課題を実施する
13	PHP演習課題③	文字列操作関数を使用した演習課題を実施する
14	PHP演習課題④	GETデータを使用した演習課題を実施する
15	PHP演習課題⑤	POSTデータを使用した演習課題を実施する

※実務家教員授業（担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/ウェブアプリケーション開発入門		272
授業概要	Webアプリの作り方を学ぶ	担当教員	八木 勇貴
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	1年生		
達成目標	PHPとSQLの基礎を理解すること		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 進級制作発表会の展示可否	50 %
	2 授業態度	50 %
	3	
	4	
評価観点	進級制作発表会に展示でき、かつ授業態度が良ければ「優」、進級制作発表会に展示でき、かつ授業態度が悪ければ「良」、それ以外は「可」とする(授業態度が悪いと判定する行為は、居眠り、授業と関係のないWebサイトの閲覧、授業と関係のない私語)	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、本授業で勉強する内容の概要説明
2	イントロダクション	PHPとはなにか
3	環境構築と動作確認	PHPが動く環境を作り、動作を確認する
4	最初のPHPプログラミング	簡単なPHPプログラムを作る
5	制御構造とコントロール	HTMLとPHPを合わせてプログラムを作る
6	関数を使いこなす	PHPを関数化するための方法を学ぶ
7	データベースの基本と操作①	データベースの基礎を学ぶ
8	データベースの基本と操作②	SQLの基礎学ぶ
9	データベースの基本と操作③	SQL(SELECT文、INSERT文)
10	データベースの基本と操作④	SQL(UPDATE文、DELETE文)
11	データベースの基本と操作⑤	PHPからSQL(SELECT文、INSERT文)を操作する
12	データベースの基本と操作⑥	PHPからSQL(UPDATE文、DELETE文)を操作する
13	実用的なスクリプト①	簡単なショッピングサイトを作る
14	実用的なスクリプト②	簡単なショッピングサイトを作る
15	実用的なスクリプト③	簡単なショッピングサイトを作る

※実務家教員授業 (担当教員職歴:システムエンジニア・プログラマ)

科目名	21ST/基礎学力養成ⅡA		273
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する		担当教員 林
			開校時期 後期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて数学の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	60 %
	2	進捗状況	40 %
	3 4		
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭などでも行い、評価は「合」「不」とする		
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	プレ・レッスン①	分数の計算
2	プレ・レッスン②	割合・比・速さ
3	プレ・レッスン③	複雑な図形の面積
4	Stage0 Lesson5・9・10	正負の数
5	Stage1 Lesson3	数の性質
6	Stage2 Lesson1-4	文字と式
7	Stage3 Lesson1・4～6	一次方程式
8	Stage4 Lesson3	連立方程式
9	Stage7 Lesson1	平方根
10	Stage9 Lesson1～5	比例・反比例
11	Stage10 Lesson1～3	一次関数
12	Stage14 Lesson1～8	図形の基本的性質
13	Stage16 Lesson1～6	平面図形
14	Stage19 Lesson1～3	資料の整理
15	Stage20 Lesson1～4	確立と標本調査

科目名	21ST/基礎学力養成講座A		274
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて国語の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	60 %
	2 進捗状況	40 %
	3 4	
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭等でも行ない、評価は「合」「不」とする。	
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	Stage1 Lesson1～3	主語・述語・言葉と言葉のつながりの把握
2	Stage1 Lesson4～6	文末表現、一文の図式化
3	Stage1 Lesson7～9	一文の要約、単文・複文の違い
4	Stage1 Lesson10～12	文末表現
5	Stage1 Lesson13～15	一分のキーワード
6	Stage2 Lesson16～18	文脈把握
7	Stage2 Lesson19～20	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握①
8	Stage2 Lesson21～22	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握②
9	Stage2 Lesson23～24	文章の論理構造の図式化
10	Stage2 Lesson25～27	長文要約、筋道を意識して文章を書く
11	Stage3 Lesson33	評論長文の論理構造①
12	Stage3 Lesson34	評論長文の論理構造②
13	Stage3 Lesson35	評論長文の論理構造③
14	Stage3 Lesson36	評論長文の論理構造④
15	Stage3 Lesson37	長文の要約

科目名	21ST/基礎学力養成ⅡB		275
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて数学の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	出席率	60 %
	2	進捗状況	40 %
	3 4		
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭などでも行い、評価は「合」「不」とする		
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	プレ・レッスン①	分数の計算
2	プレ・レッスン②	割合・比・速さ
3	プレ・レッスン③	複雑な図形の面積
4	Stage0 Lesson5・9・10	正負の数
5	Stage1 Lesson3	数の性質
6	Stage2 Lesson1-4	文字と式
7	Stage3 Lesson1・4～6	一次方程式
8	Stage4 Lesson3	連立方程式
9	Stage7 Lesson1	平方根
10	Stage9 Lesson1～5	比例・反比例
11	Stage10 Lesson1～3	一次関数
12	Stage14 Lesson1～8	図形の基本的性質
13	Stage16 Lesson1～6	平面図形
14	Stage19 Lesson1～3	資料の整理
15	Stage20 Lesson1～4	確立と標本調査

科目名	21ST/基礎学力養成ⅡC		276
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて数学の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	60 %
	2 進捗状況	40 %
	3 4	
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭などでも行い、評価は「合」「不」とする	
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	プレ・レッスン①	分数の計算
2	プレ・レッスン②	割合・比・速さ
3	プレ・レッスン③	複雑な図形の面積
4	Stage0 Lesson5・9・10	正負の数
5	Stage1 Lesson3	数の性質
6	Stage2 Lesson1-4	文字と式
7	Stage3 Lesson1・4～6	一次方程式
8	Stage4 Lesson3	連立方程式
9	Stage7 Lesson1	平方根
10	Stage9 Lesson1～5	比例・反比例
11	Stage10 Lesson1～3	一次関数
12	Stage14 Lesson1～8	図形の基本的性質
13	Stage16 Lesson1～6	平面図形
14	Stage19 Lesson1～3	資料の整理
15	Stage20 Lesson1～4	確立と標本調査

科目名	21ST/基礎学力養成講座B		277
授業概要	基礎学力を身に付け直す為にインターネットにおける学習教材を利用する	担当教員	林
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	1年生		
達成目標	就職試験に向けて国語の基礎を強化する		
前提条件	特になし		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 出席率	60 %
	2 進捗状況	40 %
	3 4	
評価観点	インターネット利用の為に個人のペースを重視し、遅れている場合は家庭等でも行ない、評価は「合」「不」とする。	
特記事項	欠席の場合でも家での進捗状況を考慮する。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	Stage1 Lesson1～3	主語・述語・言葉と言葉のつながりの把握
2	Stage1 Lesson4～6	文末表現、一文の図式化
3	Stage1 Lesson7～9	一文の要約、単文・複文の違い
4	Stage1 Lesson10～12	文末表現
5	Stage1 Lesson13～15	一分のキーワード
6	Stage2 Lesson16～18	文脈把握
7	Stage2 Lesson19～20	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握①
8	Stage2 Lesson21～22	文脈把握の要約、話題と著者の主張の把握②
9	Stage2 Lesson23～24	文章の論理構造の図式化
10	Stage2 Lesson25～27	長文要約、筋道を意識して文章を書く
11	Stage3 Lesson33	評論長文の論理構造①
12	Stage3 Lesson34	評論長文の論理構造②
13	Stage3 Lesson35	評論長文の論理構造③
14	Stage3 Lesson36	評論長文の論理構造④
15	Stage3 Lesson37	長文の要約

科目名	21ST/UXデザインⅡ		278
授業概要	Webデザイン上級レベル(下)	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	2-3学年		
達成目標	企画立案からそれを「形」にする思考とスキル		
前提条件	スマートフォンやpcなどの多様なデバイスに対応している		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	10 %
	2 企画立案	40 %
	3 意欲/姿勢	10 %
	4 作品完成度	40 %
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」プレゼンテーション・全体構成・完成度・意欲・作品に対する拘り	
特記事項	スマートフォン、タブレットなどあらゆるデバイスに対応したレイアウトを完成させることができる。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	レスポンスデザイン	サイト演習(サンプル問題)
2	レスポンスデザイン	サイト演習(サンプル問題)
3	Wordpress基礎1	Wordpressとは/管理画面
4	Wordpress基礎1	Wordpressのテーマについて
5	Wordpress基礎1	テンプレートテーマを作ろう
6	Wordpress基礎II	サンプルカンパニーテンプレート構築
7	Wordpress基礎II	サンプルカンパニーテンプレート構築
8	Wordpress基礎II	サンプルカンパニーテンプレート構築
9	テーマ企画課題	秋の味覚・ファッション・観光デザイン
10	テーマ企画課題	秋の味覚・ファッション・観光デザイン
11	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
12	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
13	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
14	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
15	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築

※実務家教員授業 (担当教員職歴:Webデザイナー)

科目名	21ST/WEBディレクションⅡ		279
授業概要	企画のコンセプト・ターゲットの整合	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	2-3学年		
達成目標	コンセプトメイキング・デザイン構成によるアクションプラン		
前提条件	スマートフォンやpcなどの多様なデバイスに対応したレイアウト。		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	20 %
	2 企画立案	40 %
	3 意欲/姿勢	10 %
	4 作品完成度	40 %
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」プレゼンテーション・全体構成・完成度・意欲・作品に対する拘り	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	レスポンスデザイン	サイト演習(サンプル問題)
2	レスポンスデザイン	サイト演習(うさぎ先生の英会話教室)(演習問題中級レベル)
3	バナー演習II	課題を出し価値をPRできる広告物を作る
4	レスポンスデザイン	サイト演習(Cat&Rabbit)(演習問題中級レベル)
5	レスポンスデザイン	ペットショップサイト構築
6	テーマ企画課題	ハローウィンのテーマ
7	テーマ企画課題	大阪マラソンの告知デザイン
8	テーマ企画課題	クリスマス・お正月課題制作
9	テーマ企画課題	クリスマス・お正月課題制作
10	テーマ企画課題	新春企画課題制作
11	テーマ企画課題	バレンタインデー課題制作
12	Webサイト構築II(企画+WEB)	企画発表
13	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
14	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
15	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/WEBデザインⅡ		280
授業概要	顧客の心理段階にあわせたアクションプラン	担当教員	中田 ミツヨ
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	2-3学年		
達成目標	コンセプトメイキング・デザイン構成によるアクションプラン。見る人の心を動かし行動につなげることができるデザインと成果目標を意識したサイトを創り上げることができる。		
前提条件	HTML言語とCSS基礎		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題・宿題提出率	20 %
	2 企画立案	40 %
	3 意欲/姿勢	10 %
4 作品完成度	40 %	
評価観点	100点満点中、90点以上「優」、65点以上「良」、50点以上「可」プレゼンテーション・全体構成・完成度・意欲・作品に対する拘り	
特記事項	見る人の心を動かし行動につなげることができるデザインと成果目標を意識したサイトを創り上げることができる。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	レスポンシブデザイン	サイト演習(サンプル問題)
2	レスポンシブデザイン	サイト演習(うさぎ先生の英会話教室)(演習問題中級レベル)
3	バナー演習II	課題を出し価値をPRできる広告物を作る
4	レスポンシブデザイン	サイト演習(Cat&Rabbit)(演習問題中級レベル)
5	レスポンシブデザイン	ペットショップサイト構築
6	テーマ企画課題	ハローウィンのテーマ
7	テーマ企画課題	大阪マラソン告知デザイン
8	テーマ企画課題	バレンタインテーマ制作
9	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
10	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
11	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
12	Webサイト構築II(企画+WEB)	企画発表
13	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
14	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築
15	Webサイト構築II(企画+WEB)	課題:カルチャースクール及び地域活性化のWebサイト構築

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/コミュニケーションデザイン戦略Ⅱ		281
授業概要	チーム制作を主体にして各自の役割と責任を明確化し、設定された課題の解決に取り組む。今までの個々の制作のやり方や領域を超えて、多様化するメディアやツールの連携の最適化を図り、時代が求める新しいコミュニケーションデザインのあり方を追究します。	担当教員	酢谷 征男
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻生		
達成目標	・企業の戦略としてのコミュニケーションデザインのあり方を考える。・時代を見据えたクリエイティブとメディアの関係性の追究。・チームワーク力(共創力)とコミュニケーション力の強化。		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 企画力、発想力	30 %
	2 チーム対応力	30 %
	3 個々の作品表現力	40 %
評価観点	課題解決に向けた商品開発、Shop展開、Webメディア、プリントメディアなどジャンルを問わずトータルなコミュニケーション戦略の最適化の実現。	
特記事項	総合的なコミュニケーションの戦略としての企画力と、個々の作品のクオリティおよびチームワークによる制作対応能力。	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	年末～新年のデジカメ拡売プロモーション策(Canon vs NIKON編)	
2	年末～新年のデジカメ拡売プロモーション策(Canon vs NIKON編)	
3	年末～新年のデジカメ拡売プロモーション策(Canon vs NIKON編)	
4	年末～新年のデジカメ拡売プロモーション策(Canon vs NIKON編)	
5	年末～新年のデジカメ拡売プロモーション策(Canon vs NIKON編)	
6	2/14ギフトコミュニケーション策(モロゾフ vs GODIVA編)	
7	2/14ギフトコミュニケーション策(モロゾフ vs GODIVA編)	
8	2/14ギフトコミュニケーション策(モロゾフ vs GODIVA編)	
9	2/14ギフトコミュニケーション策(モロゾフ vs GODIVA編)	
10	2/14ギフトコミュニケーション策(モロゾフ vs GODIVA編)	
11	暮らしの道具・ブランド戦略(通信機器 or 家電機器編)	
12	暮らしの道具・ブランド戦略(通信機器 or 家電機器編)	
13	暮らしの道具・ブランド戦略(通信機器 or 家電機器編)	
14	暮らしの道具・ブランド戦略(通信機器 or 家電機器編)	
15	暮らしの道具・ブランド戦略(通信機器 or 家電機器編)	

※実務家教員授業 (担当教員職歴:デザイナー)

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		282
授業概要	学んだ知識・技術の集大成として作品制作を行う。世の中のトレンドを理解し自身が解決するテーマを設定し制作を行い発表する。	担当教員	岩本 中田
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻生		
達成目標	課題解決型の企画が行え、目的を達成できるソリューションの開発、デザインの展開が行えること。またそれらを卒業進級制作発表会で発表を行うことを目標とする。		
前提条件			
教室外学習	有り		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 テーマ性	30 %
	2 プレゼンテーション	30 %
	3 作品	40 %
	4	
評価観点	企画審査・中間審査・最終審査・発表会での発表を通じ、いかに課題解決が行える作品に仕上がっているかを観点に評価する。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	中間発表	
2	作品制作	
3	作品制作	
4	作品制作	
5	作品制作	
6	作品制作	
7	作品制作	
8	作品制作	
9	作品制作	
10	作品制作	
11	作品制作	
12	作品制作	
13	作品制作	
14	作品制作	
15	最終審査	

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/WordPress実践Ⅱ		283
授業概要	WordPressの操作と仕組みを構築の仕組みを体験する。		担当教員 岩本・中田ミ
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業 科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	デザインイラスト専攻2・3学年		
達成目標	仕組みを理解してオペレーションが行えるようになること。		
前提条件	WordPressのテーマについて構造を理解し、自分自身でカスタマイズできるようになる		
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 提出物	70 %
	2 取り組み姿勢	30 %
	3 4	
評価観点	制作物と授業に対する取り組み姿勢にて判定を行う。	
特記事項	提出物が無い場合は評価しない。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	WordPressの復習、テーマの編集	前期で行った授業を元に復習を行う。
3	WordPressの復習、テーマの編集	前期で行った授業を元に復習を行う。
4	WordPressの復習、テーマの編集	前期で行った授業を元に復習を行う。
5	演習①	新規テーマ作成、テーマに沿った演習
6	演習②	テーマに沿った演習
7	演習③	テーマに沿った演習
8	演習④	テーマに沿った演習
9	演習⑤	テーマに沿った演習
10	演習⑥	テーマに沿った演習、仕上がった作品の提出を行う。
11	演習⑦	新規テーマの作成、テーマに沿った演習
12	演習⑧	テーマに沿った演習
13	演習⑨	テーマに沿った演習
14	演習⑩	テーマに沿った演習・仕上がった作品の提出を行う。
15	総括	後期の総括を行う

※実務家教員授業（担当教員職歴：Webデザイナー）

科目名	21ST/販促デザイン・情報デザインⅡ		284
授業概要	この時間では、時代や社会の動きをしっかりと見据えて個々の課題に向き合い、実技を通してその役割やポジションの理解力を高め、多様な表現技術を習得。企業経営やこの社会を大きく変えていく原動力としての広告、販促、情報デザインの最前線とこれからの展望します。	担当教員	酢谷 征男
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻生		
達成目標	・クリエイティブとメディアの関係性理解と最適化を考える。・統合型マーケティングにおけるデザイン表現能力の開発。・専門的な知識と多様な表現技術の習得。		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 企画力、発想力	30 %
	2 個々の作品表現力	60 %
	3 取り組み姿勢	10 %
評価観点	プリントメディア課題制作を中心に、さらにコミュニケーションの最適化を考えた+1・2=ネットとリアルの融合を考えた作品づくりを展開する。	
特記事項	クロスメディア対応によるデザイン思考力と表現力の総合評価。	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	タブロイド版情報紙企画制作(中面の展開)	
2	タブロイド版情報紙企画制作(中面の展開)	
3	BOOKデザイン制作(小説+デザイン書またはビジネス書の計2作)	
4	BOOKデザイン制作(小説+デザイン書またはビジネス書の計2作)	
5	BOOKデザイン制作(小説+デザイン書またはビジネス書の計2作)	
6	BOOKデザイン制作(小説+デザイン書またはビジネス書の計2作)	
7	BOOKデザイン制作(小説+デザイン書またはビジネス書の計2作)	
8	パッケージデザイン企画制作+1・2	
9	パッケージデザイン企画制作+1・2	
10	パッケージデザイン企画制作+1・2	
11	パッケージデザイン企画制作+1・2	
12	春旅企画制作+1・2	
13	春旅企画制作+1・2	
14	春旅企画制作+1・2	
15	春旅企画制作+1・2	

※実務家教員授業（担当教員職歴：デザイナー）

科目名	21ST/デザインマネジメント		285
授業概要	近年、デザインという言葉の意味は拡大し、商品やサービスの分野だけではなく、今までにない価値を生み出すものとして、新しいビジネスモデルの創出や環境保全、社会システムの構築といった分野にまでその役割が広がってます。この時間は、そんな時代のためのデザイン学習として、デザインを「経営」という視点から捉えてみる「マネジ	担当教員	酢谷
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	デザイナー		
対象学生	デザイン・イラスト専攻専攻		
達成目標	・プロとしての専門性と幅広い知識、見識の習得。(思考力強化)・時代や社会を見据えたタイムリーな視点と対応。(発想力&表現力向上)・大きな志を持って夢をカタチにする。(意志力強化)		
前提条件			
教室外学習			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 筆記テスト	80 %
	2 学習態度、取り組み姿勢	20 %
	3 4	
評価観点	GAFA、BATH、IOT、AI…加速する時代の中で人と企業とデザインの関係性の理解を深め、デザイン表現力に加え、ビジネスとしての展開力の強化を図る。	
特記事項	期末の筆記テストと日常の学習態度、取り組み姿勢	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	デザインマネジメントとは？	次代へ、人へ
2	デザインマネジメントとは？	経営はデザインそのものである。
3	いま、世界の最前線では何が起きているのか？	経営を読み解くキーワード
4	いま、世界の最前線では何が起きているのか？	世界トップ企業の戦略とは？
5	デザイン思考とは？	なぜ、デザインシンキング？
6	デザイン思考とは？	ビジネスの武器としてのデザイン。
7	ビッグバンイノベーション	AI時代の企業のこれから
8	ビッグバンイノベーション	イノベーションの本質
9	MOON SHOT !	企業再生、スタートアップに向けて。
10	MOON SHOT !	つなぐ力、夢をカタチにする力＝プロデュース能力。
11	もっと、デザイン力、ビジネス力、人間力を！	カタイ話から柔らかい話も…、デザインよもやま話など。
12	もっと、デザイン力、ビジネス力、人間力を！	ワイガヤ、デザインおもしろ情報、経営用語の解説など。
13	もっと、デザイン力、ビジネス力、人間力を！	
14	もっと、デザイン力、ビジネス力、人間力を！	
15	15. 筆記テスト実施	

※実務家教員授業 (担当教員職歴: デザイナー)

科目名	21ST/作品制作		286
授業概要	進級制作発表会に向けて各チームで作品を作る	担当教員	八木 勇貴
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	1年生		
達成目標	進級制作発表会で展示できる作品を作る		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 進級制作発表会の展示可否	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	進級制作発表会に展示できれば「優」、できない場合は「可」とする	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	進級制作についての説明
2	企画審査	学生の企画を審査する
3	制作時間	企画した内容の作品を作る
4	制作時間①	企画した内容の作品を作る
5	制作時間②	企画した内容の作品を作る
6	制作時間③	企画した内容の作品を作る
7	制作時間④	企画した内容の作品を作る
8	中間審査	作品制作の途中経過を確認する
9	制作時間⑤	企画した内容の作品を作る
10	制作時間⑥	企画した内容の作品を作る
11	制作時間⑦	企画した内容の作品を作る
12	制作時間⑧	企画した内容の作品を作る
13	制作時間⑨	企画した内容の作品を作る
14	制作時間⑩	企画した内容の作品を作る
15	最終審査	進級制作発表会で展示できる・できないを審査する

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/進級制作(S)		287
授業概要	進級制作発表会に向けて各チームで作品を作る	担当教員	八木 勇貴
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	システムエンジニア・プログラマ		
対象学生	1年生		
達成目標	進級制作発表会で展示できる作品を作ること		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 進級制作発表会の展示可否	100 %
	2	
	3	
	4	
評価観点	進級制作発表会に展示できれば「優」、できない場合は「可」とする	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	オリエンテーション	進級制作についての説明
2	企画審査	学生の企画を審査する
3	制作時間	企画した内容の作品を作る
4	制作時間①	企画した内容の作品を作る
5	制作時間②	企画した内容の作品を作る
6	制作時間③	企画した内容の作品を作る
7	制作時間④	企画した内容の作品を作る
8	中間審査	作品制作の途中経過を確認する
9	制作時間⑤	企画した内容の作品を作る
10	制作時間⑥	企画した内容の作品を作る
11	制作時間⑦	企画した内容の作品を作る
12	制作時間⑧	企画した内容の作品を作る
13	制作時間⑨	企画した内容の作品を作る
14	制作時間⑩	企画した内容の作品を作る
15	最終審査	進級制作発表会で展示できる・できないを審査する

※実務家教員授業（担当教員職歴：システムエンジニア・プログラマ）

科目名	21ST/作品制作		288
授業概要	ハード制御による製作物の作成	担当教員	上野 勝彦
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	本科生		
達成目標	自らの企画で作品を制作		
前提条件	インターネット基礎操作		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 完成したか、失敗の場合その経緯を確実に説明できるか	70 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	自分のアイデアで作品の作成	
特記事項	作成方法の自主調査	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	現在の実習の点検	現状で進めるか方針変換するか
3	第2案の選定	バックアップシステムの構築
4	中間検査	現行方針の発表
5	方針変換検討	現行進行か方針変換か
6	卒業進級製作テーマ確定	何を作るかテーマを選定
7	類似製作品再検索	特許検索と新特許検討
8	進級製作	実作業
9	進級製作	実作業
10	進級製作	実作業
11	進級製作	実作業
12	進級製作	実作業
13	進級製作	実作業
14	進級製作	最終仕上げ
15	作品評価	最終講評

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21ST/ハードウェア基礎Ⅱ		289
授業概要	自作ハードの設計	担当教員	上野 勝彦
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生		
達成目標	ハード設計		
前提条件	基礎ハード設定の習得		
教室外学習	日本橋での部品検索(ネット代用の場合あり)		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 PC設定技術	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	自作pCできるか	
特記事項	PC設定技術、動作安定性	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	PC電源	電源不良判定と修理方法
3	マウス、キーボード	分解と構造学習
4	マザーボード	分解と再組立て、メモリーの相性とBIOS設定
5	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイの分解と構造理解
6	CD/DVD/BR	ディスクの構造と分解
7	HDD	インターフェースの違いと、故障予測
8	OSインストール	OSのクリーンインストール
9	OSインストール2	ドライバーの設定と解決方法
10	各種ソフト	フリーソフトと試用版の実習
11	実用ソフト	試用インストールとライセンスの説明
12	トラブル設定	トラブルシューティング
13	安定度とアップデート	アップデートと最新状態への維持
14	カスタマイズ	使いやすくカスタマイズを行う。
15	作品評価	自作PC評価

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21ST/Iot基礎Ⅱ		290
授業概要	Meshなどの無線通信を使ったIotの基礎	担当教員	上野 勝彦
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生		
達成目標	Iotに関する知識の習得		
前提条件	インターネット基礎の習得		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 アイデア内容の具体性と実現性	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	Iotを利用したアイデア提案の実施	
特記事項	アイデア提出とその内容	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	アイデアブレインストーミング	アイデア設計の方法と具体例紹介
3	アイデアシート作成	独自アイデアを出す練習
4	アイデアブラッシュアップ	独自アイデアの実現可能性を検証
5	無線通信方式概論	無線通信の基礎講義
6	赤外線無線通信	リモコンの赤外線通信の実習
7	電波法と無線通信方式	電波法に絡む既存通信方式の説明
8	無線使用アイデアシート作成	アイデアシートに無線を追加
9	インターネット基礎の習得	ネットでの通信基礎
10	Iotにおけるソケット通信	TCP,UDPなどの通信基礎
11	通信基礎とインターネット	ネットを通じてのデータ通信
12	総合アイデアシート作成	インターネット、無線、ハートの融合
13	アイデアシート提出案作成	作品としてのアイデアシート作成
14	提出すべきIOTアイデアの作成	IOTアイデアの作成
15	作品評価	アイデアシート評価

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21ST/ハードウェア応用Ⅱ		291
授業概要	ワンチップCPUを利用した制御機器の開発実習	担当教員	上野 勝彦
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生		
達成目標	C言語を使ったプログラムのデバッグ		
前提条件	ハンダ付け技術		
教室外学習	日本橋での部品調達		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 動作安定性	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	制御機器が作成できるまで	
特記事項	ハンダ技術、動作安定性	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	後期授業の概論	授業の目的と目標の説明
2	回路設計概論	回路設計の基礎と電子部品の復習
3	LED表示回路	スタティック表示と回路の作成
4	LED表示回路2	LEDダイナミックドライブ回路
5	モーター制御応用	PWM制御と発振回路
6	シフトレジスタ	発振回路、シフトレジスタ、LEDでの順送り回路
7	フリップフロップ	その応用と、メモリーの基礎
8	ドライバー回路	トランジスタアレイ、モータードライバ、ステップモータードライブ回路
9	ドライバー回路2	トランジスタアレイ、モータードライバ、ステップモータードライブ回路実習
10	WIFI制御システム	WIFIでの通信実習
11	SDとファイルシステム	SDファイルシステム実習
12	WEBカメラ制御	aduninoカメラ制御
13	WIFIカメラ	WIFIカメラ構築実習
14	作品の仕上げ	作品最終仕上げ(事前評価指導)
15	作品評価	プログラムとハードの評価

※実務家教員授業（担当教員職歴：技術営業、システムエンジニア）

科目名	21ST/Eagle実践Ⅱ		292	
授業概要	電子回路、新規電子部品デザインの作成		担当教員	上野 勝彦
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業 科目等との関連	技術営業、システムエンジニア			
対象学生				
達成目標	新規電子部品ライブラリの作成			
前提条件	Eagle CADの基本操作			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 Eagle CADの操作	60 %
	2 新規電子部品ライブラリの作成	40 %
	3	
	4	
評価観点	新規電子部品ライブラリの作成	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	EAGLE準備	Eagle CADのインストールと設定
3	部品配置	8万点の部品ライブラリから必要の部品を選定
4	回路図作成	結線、位置修正、配線確認
5	基板配置図作成	回路図のネットリストを基に基板作成
6	基板配置図作成2	グリッドによる作図、交差配線、ビア作成
7	回路図、基板、検討と修正	基板の不具合を回路図から修正
8	LED表示回路の設計	LED表示回路作成、基板設計
9	CPUを使った回路の設計	AtmelCPUを使用した回路作成、基板設計
10	モーター回路の設計	モーターを使用した回路作成、基板設計
11	独自回路の設計	ネット参考に回路図を設計
12	独自回路の基板設計	ネット参考に独自基板を設計
13	ネット参考に独自基板を設計	評価用作品を作成
14	最終作品回路完成	評価用作品を完成
15	作品評価	ライブラリ作成の評価

※実務家教員授業（担当教員職歴：技術営業、システムエンジニア）

科目名	21ST/電子回路Ⅱ		293
授業概要	デジタル基本回路の習得	担当教員	上野 勝彦
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生		
達成目標	LEDなどの回路設計		
前提条件	基礎計算力		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 回路の作成、実際の動作	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	適切な回路定数の計算	
特記事項	計算での数字を具体回路に展開できるか	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	LED電流	絶対規格と目標値計算
3	電池容量	電池の使用時間計算
4	電力計算	抵抗値と電力の計算
5	LC共振	共振周波数の計算
6	トランジスター、FETの増幅	HFEパラメーターと最大電流、耐電圧
7	電源ユニット算定	必要電源ユニットとDCプラグ
8	ダイナミックドライブと抵抗	ダイナミックドライブ時のLED挙動
9	PC電源選定	最大電力と電力平準化
10	シュミレーター	回路シュミレーター設定
11	シュミレーター2	シュミレーターの挙動確認
12	シュミレーター3	シュミレーター設定
13	実回路検討	回路設計
14	実回路シュミレート	シュミレーターでの実行
15	作品評価	LED回路評価

※実務家教員授業（担当教員職歴：技術営業、システムエンジニア）

科目名	21ST/進級制作(H)		294
授業概要	ハード制御による製作物の作成	担当教員	上野
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	自らの企画で作品を制作		
前提条件	机上論でないものづくり		
教室外学習	雑貨卸問屋見学		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 完成したか、失敗の場合その経緯を確実に説明できるか	70 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	自分のアイデアで作品の作成	
特記事項	独自性と完成度	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	既成機器の分解法	特殊ドライバの使い方説明
3	分解による部品収集	作品制作の部品収集
4	部品知識	部品の実物を知る
5	部品知識習得	日本橋パーツショップ見学
6	進級製作テーマ確定	何を作るかテーマを選定
7	類似製作品詮索	類似品の存在を検索
8	進級製作	実作業
9	進級製作	実作業
10	卒業進級製作	実作業
11	進級製作	実作業
12	進級製作	実作業
13	進級製作	実作業
14	進級製作	実作業
15	作品中間評価	中間講評

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21ST/作品制作		295
授業概要	作品制作の作業時間	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	1年生		
達成目標	課題・個人作品の制作のクオリティ向上		
前提条件	ゲーム専攻志望の本科1年生のみ		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	作品制作に真剣に取り組んでいる「合」	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	作品制作1	課題・個人作品の制作
2	作品制作2	課題・個人作品の制作
3	作品制作3	課題・個人作品の制作
4	作品制作4	課題・個人作品の制作
5	作品制作5	課題・個人作品の制作
6	作品制作6	課題・個人作品の制作
7	作品制作7	課題・個人作品の制作
8	作品制作8	課題・個人作品の制作
9	作品制作9	課題・個人作品の制作
10	作品制作10	課題・個人作品の制作
11	作品制作11	課題・個人作品の制作
12	作品制作12	課題・個人作品の制作
13	作品制作13	課題・個人作品の制作
14	作品制作14	課題・個人作品の制作
15	作品制作15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業（担当教員職歴:プログラマ）

科目名	21ST/ゲームプログラム基礎AⅡ		296
授業概要	WindowsAPIを用いて2Dゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻ゲームプログラムコース 志望者		
達成目標	WindowsAPIを使用した2Dゲームの作成		
前提条件	C言語の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	40 %
	3 授業態度	10 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	シューティングゲーム2	テキストの表示、画像の表示(背景と自機)
2	シューティングゲーム4	背景のスクロール、自機の弾を飛ばす
3	シューティングゲーム6	自機の弾の増加、敵機の増加
4	シューティングゲーム8	BGMの追加
5	シューティングゲーム10	コントローラーによる操作(DirectInput8)
6	課題制作2	課題制作
7	課題発表	課題発表
8	シミュレーションロールプレイングゲーム2	自機の表示と移動、ステータス設定と構造体
9	シミュレーションロールプレイングゲーム4	マップによる自機の移動制限、自機の移動範囲を表示
10	シミュレーションロールプレイングゲーム6	ターン制の導入、敵軍ターンの処理
11	アクションゲーム2	自キャラの表示と移動、ジャンプ処理
12	アクションゲーム4	自キャラのアニメーション、キャラクタの向き
13	アクションゲーム6	自キャラの攻撃
14	アクションゲーム8	コマンド入力
15	アクションゲーム10	コードの整理(クラス化)

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム基礎BⅡ		297
授業概要	WindowsAPIを用いて2Dゲームプログラムの技術及び知識の向上		担当教員 中野 敦史
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻ゲームプログラムコース 志望者		
達成目標	WindowsAPIを使用した2Dゲームの作成		
前提条件	C言語の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 課題の提出	50 %
	2 作品へのこだわり	40 %
	3 授業態度	10 %
	4	
評価観点	課題の提出:期限内に提出したか、提示された課題の最低限の条件を満たしているか。作品へのこだわり:こだわりを持って作品を制作しているか。授業態度:授業を受ける態度として問題ないか、積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	シューティングゲーム1	標準的なウィンドウの作成
2	シューティングゲーム3	キー操作による自機の移動、画像の透過表示
3	シューティングゲーム5	敵機の表示と移動、当たり判定、爆発処理
4	シューティングゲーム7	シーンの切り分け、シーンごとの処理
5	シューティングゲーム9	スレッド対応とコードの移植
6	課題制作1	課題制作
7	課題制作3	課題制作
8	シミュレーションロールプレイングゲーム1	マップチップ(テキストデータの読み込み、背景の表示)
9	シミュレーションロールプレイングゲーム3	マップカーソル(カーソル位置の表示、半透明化)
10	シミュレーションロールプレイングゲーム5	メニューの表示・非表示、メニューの項目ごとの処理を作成
11	アクションゲーム1	C++クラスについて、基本部分の作成
12	アクションゲーム3	背景のスクロール、影の表示
13	アクションゲーム5	敵キャラの表示と移動
14	アクションゲーム7	円運動、残像
15	アクションゲーム9	コードの整理(クラス化)

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲーム企画Ⅱ		298
授業概要	企画立案・資料作成練習		担当教員 長井
			開校時期 後期
			単位数 4
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻志望		
達成目標	卒業進級制作に向けた資料作成		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出	50 %
	2	作品へのこだわり	30 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	ゲームの要素立案が出来るか。人に伝えることを意識した書類になっているか。		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己紹介を考える1	自分の特徴を3つ挙げ、pptにまとめる
2	自己紹介を考える2	全員の前で発表する
3	企画の基礎説明1	目的・項目・書き方の解説
4	ボタン1つで遊べるゲームの企画書作成1	ミニゲームを1つ考える
5	ボタン1つで遊べるゲームの企画書作成	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
6	シューティングゲームの企画書作成1	最低限のルールを伝え、要素を1つ足した企画書を作成する
7	シューティングゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
8	チームでシューティングゲームの企画書作成1	ランダムにチームを作成し、企画書を作成する
9	チームでシューティングゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
10	すごろくのマスを考える	面白さに直結するマスはマイナスかプラスか考えさせる
11	チップを取り合うゲームを考える	5枚チップを渡し、どのルールなら他の人が勝負してくれるか考える
12	スケジュール管理の説明	各自の作業時間を認識させ、全体作業に割り当てる解説
13	チームで好きなゲームの企画書作成1	ランダムにチームを作成し、企画書を作成する
14	チームで好きなゲームの企画書作成2	全員の企画書をチェックし修正点を伝える
15	進級制作の企画書を作成	チーム交渉用に先に企画書を作成する

※実務家教員授業（担当教員職歴：ゲームグラフィッカー）

科目名	21ST/進級制作(G)		299
授業概要	進級制作の作業時間		担当教員 長井 大輔
			開校時期 後期
			単位数 10
実務家教員としての授業科目等との関連	ゲームグラフィッカー		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻志望		
達成目標	進級制作のクオリティ向上		
前提条件	ゲーム科志望の本科1年生のみ		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 作品制作に真剣に取り組んでいる「合」	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	進級制作1	進級制作の作業
2	進級制作2	進級制作の作業
3	進級制作3	進級制作の作業
4	進級制作4	進級制作の作業
5	進級制作5	進級制作の作業
6	進級制作6	進級制作の作業
7	進級制作7	進級制作の作業
8	進級制作8	進級制作の作業
9	進級制作9	進級制作の作業
10	進級制作10	進級制作の作業
11	進級制作11	進級制作の作業
12	進級制作12	進級制作の作業
13	進級制作13	進級制作の作業
14	進級制作14	進級制作の作業
15	進級制作15	進級制作の作業

※実務家教員授業 (担当教員職歴: ゲームグラフィッカー)

科目名	21ST/ゲームグラフィック基礎Ⅱ		300	
授業概要	3Dモデリング、テクスチャについての理解を深める		担当教員	山田 真歩
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標	3Dモデリングに慣れ、人物のモデリングが出来るようになる			
前提条件	前期の3Dモデリング基礎Ⅰを受講していること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	夏休み課題修正	課題の講評・修正
2	夏休み課題修正	修正
3	夏休み課題修正	修正・講評
4	背景作成	夏休み課題で作成したキャラに合う背景をモデリング作成
5	背景作成	夏休み課題で作成したキャラに合う背景をモデリング作成
6	背景作成	夏休み課題で作成したキャラに合う背景をモデリング作成
7	ねんどろいどをモデリング	市販されているねんどろいどを見ながら、そっくりにモデル作成をする
8	ねんどろいどをモデリング	市販されているねんどろいどを見ながら、そっくりにモデル作成をする
9	ねんどろいどをモデリング	市販されているねんどろいどを見ながら、そっくりにモデル作成をする
10	ねんどろいどをモデリング	市販されているねんどろいどを見ながら、そっくりにモデル作成をする
11	ねんどろいどをモデリング	市販されているねんどろいどを見ながら、そっくりにモデル作成をする・講評
12	修正期間	前回のじゅぎょうで制作したモデルの修正
13	背景作成	前回作成したモデルに合う背景の作成
14	背景作成	前回作成したモデルに合う背景の作成
15	背景作成	前回作成したモデルに合う背景の作成

科目名	21ST/デッサン初級Ⅱ		301
授業概要	人物のバランス等のキャラクターデザインの要素、画面上での背景やキャラクター等の構図について学ぶ	担当教員	秦野 聖
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	人間や動物のキャラクターデザインや、イラスト全般について理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 デザインや構図などのアイデア出しをその都度チェック	30 %
	2 用紙にペン入れまでした完成原稿を描き提出し、採点。	60 %
	3 授業への取り組み、能動的態度等	10 %
	4	
評価観点	人物や動物などの形を描くデッサン力、大まかに案を考え出すアイデア力、丁寧に作品を描く仕上げ力、の3点からくる総合力を評価。	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	構図	人物のアオリとフカンを描く
2	構図	人物のアオリとフカンを描く
3	コスチュームデザイン	制服キャラを描く
4	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
5	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
6	コスチュームデザイン	シワを描く練習
7	動物を描く	動物の骨格を描く
8	動物を描く	色々な動物をスケッチ
9	動物を描く	動物園に行き、クロッキー練習
10	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
11	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
12	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
13	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
14	作品制作	自由なテーマで制作
15	作品制作	自由なテーマで制作

※実務家教員授業（担当教員職歴:看板描画、漫画家）

科目名	21ST/アナログイラストⅡ		302
授業概要	人物のバランス等のキャラクターデザインの要素、画面上での背景やキャラクター等の構図について学ぶ	担当教員	秦野 聖
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	看板描画、漫画家		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者		
達成目標	人間や動物のキャラクターデザインや、イラスト全般について理解する。		
前提条件	なし		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 デザインや構図などのアイデア出しをその都度チェック	30 %
	2 用紙にペン入れまでした完成原稿を描き提出し、採点。	60 %
	3 授業への取り組み、能動的態度等	10 %
	4	
評価観点	人物や動物などの形を描くデッサン力、大まかに案を考え出すアイデア力、丁寧に作品を描く仕上げ力、の3点からくる総合力を評価。	
特記事項	なし	

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	構図	人物のアオリとフカンを描く
2	構図	人物のアオリとフカンを描く
3	コスチュームデザイン	制服キャラを描く
4	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
5	コスチュームデザイン	私服のキャラを描く
6	コスチュームデザイン	シワを描く練習
7	動物を描く	動物の骨格を描く
8	動物を描く	色々な動物をスケッチ
9	動物を描く	動物園に行き、クロッキー練習
10	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
11	動物キャラクターを描く	動物キャラクターを描く
12	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
13	クリーチャーデザイン	クリーチャーデザイン
14	作品制作	自由なテーマで制作
15	作品制作	自由なテーマで制作

※実務家教員授業（担当教員職歴：看板描画、漫画家）

科目名	21ST/デジタルイラスト基礎Ⅱ		303	
授業概要	前期にゲームグラフィック関係の授業を受けていること		担当教員	山田 真歩
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標	Photoshopでイラストの着色になれる			
前提条件	Photoshopを使用できること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	夏休み課題講評・修正	夏休み期間の課題の講評・修正
2	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、別アニメのテイストに合せ着色する
3	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、別アニメのテイストに合せ着色する
4	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、別アニメのテイストに合せ着色する
5	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、別アニメのテイストに合せ着色する
6	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
7	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
8	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
9	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
10	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
11	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
12	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
13	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
14	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成
15	コンテスト作品	コンテストに応募する作品を作成

科目名	21ST/3Dモデリング基礎Ⅱ		304	
授業概要	前期にゲームグラフィック関係の授業を受けていること		担当教員	山田 真歩
			開校時期	後期
			単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連				
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻グラフィック・アニメーションコース 志望者			
達成目標				
前提条件	3Dソフト・Photoshopを使用できること			
教室外学習	なし			

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	作品完成度	30 %
	2	クオリティ	50 %
	3	授業態度	20 %
	4		
評価観点	作品の完成度、クオリティ、授業態度		
特記事項	なし		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	夏休み課題講評・修正	夏休み期間の課題の講評・修正
2	進級制作に向けての練習	実際にドット絵を作成し、歩くアニメーションを作成。プログラマーに渡す用の画像に仕上げる
3	進級制作に向けての練習	実際にドット絵を作成し、歩くアニメーションを作成。プログラマーに渡す用の画像に仕上げる
4	進級制作に向けての練習	実際にドット絵を作成し、歩くアニメーションを作成。プログラマーに渡す用の画像に仕上げる
5	進級制作に向けての練習	実際にドット絵を作成し、歩くアニメーションを作成。プログラマーに渡す用の画像に仕上げる
6	進級制作に向けての練習	実際にドット絵を作成し、歩くアニメーションを作成。プログラマーに渡す用の画像に仕上げる
7	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、質感を意識しながら着色する
8	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、質感を意識しながら着色する
9	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、質感を意識しながら着色する
10	アニメイラストトレース	アニメのイラストをトレースし、質感を意識しながら着色する
11	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
12	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
13	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
14	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる
15	オリジナルイラストの着色	別授業で描いたイラストを着色し、完成させる

科目名	21ST/作品制作		305
授業概要	進級制作の制作を行う。		担当教員 岩本 大毅
			開校時期 後期
			単位数 2
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生デザイン系学生		
達成目標	卒業進級制作発表会で発表を行う。		
前提条件			
教室外学習	無し		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 計画性	50 %
	2 作品	50 %
	3 4	
評価観点	計画的に制作を進行で来ているかを観点に評価を行う。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	作品制作	
3	作品制作	
4	作品制作	
5	作品制作	
6	作品制作	
7	作品制作	
8	作品制作	
9	作品制作	
10	作品制作	
11	作品制作	
12	作品制作	
13	作品制作	
14	作品制作	
15	最終審査	

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/就職試験対策Ⅱ		306
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21ST/就職試験対策Ⅱ		307
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21ST/就職試験対策Ⅱ		308
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21ST/就職試験対策Ⅱ		309
授業概要	基礎学力を伸ばし、技術者の基礎となる一般常識を知り、SPIなどの各試験を知り、対策を立てて入社試験に備える。	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	SPIに対応できる基礎学力と一般常識を身につける		
前提条件	指定教材購入学生		
教室外学習	特になし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	SPI言語準備テスト	20 %
	2	SPI非言語準備テスト	20 %
	3	一般常識準備テスト	20 %
	4	各テストの伸び率	40 %
評価観点	二回目の基礎学力、一般常識の試験結果正答率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、二回のテストでの成績の伸び率を加味して評価する		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	SPI言語準備テスト1	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
2	SPI非言語準備テスト1	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
3	一般常識準備テスト1	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
4	リメディアル1	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
5	リメディアル2	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
6	SPI言語準備テスト2	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
7	SPI非言語準備テスト2	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
8	一般常識準備テスト2	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する
9	リメディアル3	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
10	リメディアル4	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
11	リメディアル5	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
12	リメディアル6	各自がまとめた弱点をEラーニング教材を活用して学びなおしを行う
13	SPI言語準備テスト3	中学数学までの基礎学力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
14	SPI非言語準備テスト3	読解力を確認するテストを受け、自己の弱点を把握する
15	一般常識準備テスト3	時事問題を中心とした一般常識のテストを受け、自己の弱点を把握する

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		310
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	後期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		311
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査について
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		312
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21ST/就職活動実践Ⅱ		313
授業概要	就活進捗を振り返りつつ、自己分析、企業研究を深め、内定を勝ち取る	担当教員	友金 牧人
		開校時期	前期
		単位数	2
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	就職予定の専攻生		
達成目標	自分に合った企業を見つけ、内定を勝ち取る		
前提条件	履歴書が書け、自己PRができる		
教室外学習	企業見学、就活関連のフェア、セミナー参加など適時		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	課題提出率	40 %
	2	就活、授業への取り組み	40 %
	3	各種課題の完成度	20 %
	4		
評価観点	課題提出率80%以上「優」、65%以上「良」、50%以上「可」とし、課題の完成度、就活、授業への取り組みを加味して評価する。		
特記事項	期間内に就職先が決定した学生は100点とする		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	自己の就活を振り返る1	今までの自己の就活を学生同士で話し合い、改善点を見つける
2	PDCA実践1/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
3	集団面接演習1-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
4	集団面接演習1-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
5	時事問題対策1-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
6	時事問題対策1-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
7	論文演習1-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
8	PDCA実践2/改善点報告	前回の話し合いの結果を得て、これからの就活への取り組み方法を発表する
9	集団面接演習2-1	今までの活動で困った面接時の質問を発表し合い、想定問答を組み立てる
10	集団面接演習2-2	前回の授業を経て、面接官役と学生役を交代しながら、模擬集団面接を行う
11	時事問題対策2-1	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
12	時事問題対策2-2	注目している時事ニュースについて、グループでリサーチし発表。質疑応答。各グループの調査についてレ
13	論文演習2-1	出題に沿った論文を制限時間内に仕上げる。
14	面接演習	外部の人材を招いて、模擬面接を行い、フィードバックをもらう
15	PDCA実践3/就活を総括する	今までの就活を振り返り、今後の学習の方向性を立てるとともに、これから就活を行う後輩へのアドバイスをま

科目名	21ST/進級制作(D)		314
授業概要	学んだ知識・技術の集大成として作品制作を行う。世の中のトレンドを理解し自身が解決するテーマを設定し制作を行い発表する。	担当教員	岩本 大毅
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	Webデザイナー		
対象学生	本科生デザイン系学生		
達成目標	課題解決型の企画が行え、目的を達成できるソリューションの開発、デザインの展開が行えること。またそれらを卒業進級制作発表会で発表を行うことを目標とする。		
前提条件			
教室外学習	有り		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 テーマ性	10 %
	2 プレゼンテーション	40 %
	3 作品	50 %
	4	
評価観点	企画審査・最終審査・発表会での発表を通じ、いかに課題解決が行える作品に仕上がっているかを観点に評価する。	
特記事項		

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	ガイダンス	授業の目的及び進行方法について
2	個人考察	自分の制作テーマアイデアをまとめる
3	プレゼンテーション	全体に向け個人発表を行い、その後個人同士で説明を行う。
4	チーム編成	前回の発表を受けて自分のテーマや意見に近いものでグループを編成する
5	企画制作	グループにて企画制作
6	企画審査	制作した企画のプレゼンテーション
7	作品制作	
8	作品制作	
9	作品制作	
10	作品制作	
11	作品制作	
12	作品制作	
13	作品制作	
14	作品制作	
15	最終審査	

※実務家教員授業（担当教員職歴:Webデザイナー）

科目名	21ST/ゲームプログラム基礎実習AⅡ		315
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻ゲームプログラムコース 志望者		
達成目標	なし		
前提条件	C言語の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/ゲームプログラム基礎実習BⅡ		316
授業概要	プログラム実習	担当教員	中野 敦史
		開校時期	後期
		単位数	4
実務家教員としての授業科目等との関連	プログラマ		
対象学生	本科1年生 ゲーム専攻ゲームプログラムコース 志望者		
達成目標	なし		
前提条件	C言語の履修終了状態		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 授業態度	100 %
	2	
	3	
4		
評価観点	授業態度: 授業を受ける態度として問題ないか、プログラム実習に積極的に取り組んでいるか。	
特記事項	なし	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	プログラム実習1	課題・個人作品の制作
2	プログラム実習2	課題・個人作品の制作
3	プログラム実習3	課題・個人作品の制作
4	プログラム実習4	課題・個人作品の制作
5	プログラム実習5	課題・個人作品の制作
6	プログラム実習6	課題・個人作品の制作
7	プログラム実習7	課題・個人作品の制作
8	プログラム実習8	課題・個人作品の制作
9	プログラム実習9	課題・個人作品の制作
10	プログラム実習10	課題・個人作品の制作
11	プログラム実習11	課題・個人作品の制作
12	プログラム実習12	課題・個人作品の制作
13	プログラム実習13	課題・個人作品の制作
14	プログラム実習14	課題・個人作品の制作
15	プログラム実習15	課題・個人作品の制作

※実務家教員授業 (担当教員職歴:プログラマ)

科目名	21ST/卒業進級制作Ⅱ		317
授業概要	ハード制御による製作物の作成	担当教員	上野
		開校時期	後期
		単位数	10
実務家教員としての授業科目等との関連	技術営業、システムエンジニア		
対象学生	専攻生及び本科生(本科生は事前審査あり)		
達成目標	自らの企画で作品を制作		
前提条件	机上論でないものづくり		
教室外学習	雑貨卸問屋見学		

成績評価方法	評価方法	評価観点ごとの割合
	1 完成したか、失敗の場合その経緯を確実に説明できるか	100 %
	2 授業態度(上記評価が基準に満たない場合)	30 %
	3	
	4	
評価観点	自分のアイデアで作品の作成	
特記事項	独自性と完成度	

詳細計画 (各回(週)の具体的な授業内容、目標など)		
回	授業タイトル	授業内容
1	講義概論	授業の目的と目標の説明
2	既成機器の分解法	特殊ドライバの使い方説明
3	分解による部品収集	作品制作の部品収集
4	部品知識	部品の実物を知る
5	部品知識習得	日本橋パーツショップ見学
6	卒業進級製作テーマ確定	何を作るかテーマを選定
7	類似製作品詮索	類似品の存在を検索
8	卒業進級製作	実作業
9	卒業進級製作	実作業
10	卒業進級製作	実作業
11	卒業進級製作	実作業
12	卒業進級製作	実作業
13	卒業進級製作	実作業
14	卒業進級製作	実作業
15	作品中間評価	中間講評

※実務家教員授業 (担当教員職歴:技術営業、システムエンジニア)

科目名	21ST/マイコン制御Ⅱ		318
授業概要	マイコンを使って、多彩な機器の制御方法を学ぶ	担当教員	老田 進
		開校時期	後期
		単位数	8
実務家教員としての授業科目等との関連			
対象学生	留学生		
達成目標	言語Cを用いてMPUのArduinoを制御するプログラムが作成できること		
前提条件	言語Cが習得済みであること		
教室外学習	なし		

成績評価方法	評価方法		評価観点ごとの割合
	1	ペーパー試験	80 %
	2	取り組み意欲	20 %
	3		
	4		
評価観点	ペーパー試験で80点以上を優、65点以上を良、40点以上を可とする		
特記事項			

詳細計画（各回(週)の具体的な授業内容、目標など）		
回	授業タイトル	授業内容
1	1桁LEDセグメントディスプレイ	7セグメントLEDで数字を表示させる
2	4桁セグメントディスプレイ	各桁の7セグメントLEDを高速に切り替えて4桁数字を表示させる
3	4桁セグメントディスプレイとシフトレジスタ	シフトレジスタを使用して4桁セグメントLEDを表示させる
4	4桁セグメントディスプレイとシフトレジスタ(2)	シフトレジスタを使用して4桁セグメントLEDを表示させる
5	4桁セグメントディスプレイとシフトレジスタ(3)	シフトレジスタを使用して4桁セグメントLEDを表示させる
6	サーボモータ	腕のついたサーボモータをコントロールする
7	サーボモータと可変抵抗器	可変抵抗器のつまみでサーボモータを制御する
8	ステップモータ	ステップモータをステップモータボードで制御する
9	ステップモータ(2)	ステップモータをステップモータボードで制御する
10	超音波距離測定	超音波モジュールを使って距離を測定する
11	IRリモコン実験	IRリモコンの押されたボタンを赤外線受信機を介してデコードする
12	IRリモコン実験(2)	IRリモコンの押されたボタンを赤外線受信機を介してデコードする
13	DHT11	DHT11を用いて湿度と温度を測定する
14	LCD1602	液晶ディスプレイLCD1602の使い方を学ぶ
15	温度と湿度のモニタリング	LCD1602とLLHT11を用いて現在の温度と湿度を液晶ディスプレイに表示する